

玄海原子力発電所

第 4 号機

点検計画

計画期間中における点検の実施状況等

(第 1 5 保全サイクル)

# 点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下の設備を対象に記載している。

① 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第二において、設計及び工事の計画に記載が要求されている設備<sup>\*1</sup>（事後保全を実施する資機材等を除く）

② 保全重要度が高い設備

※1：基本設計方針にのみ記載する設備も含む

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・定期事業者検査に係る点検
- ・定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備<sup>\*2</sup>の点検等）については、「**保守基準（3，4号）**」及び「**玄海原子力発電所 土木建築基準**」に基づき策定している。なお、基本的に設計基準事故及び重大事故等、双方に対処する設備は、点検計画の設計基準事故対処設備等に記載し、重大事故等にのみ対処する設備は、重大事故等対処設備に記載している。

※2：附帯設備の例

潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス、レギュレータ、フローグラス等

(3) 保全重要度について

「**保守基準（3，4号）**」及び「**玄海原子力発電所 土木建築基準**」の考え方に従い、「高」又は「低」の何れかで表記している。

なお、保全重要度「高」の設備については、保全方式として予防保全のうち時間基準保全を選定し、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・時間基準保全を採用しているもの：点検頻度

(5) 点検頻度について

次の整理により「M」：月、「C」：保全サイクル、「Y」・「F」：年度及び「年間」で表記している。

- ・性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度は、運転期間（総合負荷性能検査から解列）に対応した値を示している。また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短から最長を記載している。
- ・性能維持のための措置を伴わない点検については、「C」<sup>※3</sup>又は「F」<sup>※3</sup>により表記している。
- ・供用期間中検査のように年管理するものについては、「年間」により表記している。
- ・このほか「**「** 修基準（3，4号）」に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では、「余寿命による」と表記している。

※3：「C」又は「F」により表記しているものは、性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検や定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

設計基準事故対処設備等の点検については、「定検起動後」<sup>※4</sup>、「プラント運転中」<sup>※4</sup>の表現により、備考欄に実施時期を記載している。

なお、これらの記載がないものについては、「定検停止中」<sup>※4</sup>に実施することとしている。

※4：「定検起動後」、「プラント運転中」、「定検停止中」のプラント状態は、以下のとおり。

- ・「定検起動後」とは、原子炉起動後の定期事業者検査期間中をいう。
- ・「プラント運転中」とは、原子炉の運転中（定期事業者検査期間を除く。）をいう。
- ・「定検停止中」とは、定期事業者検査のための原子炉の停止中をいう。

(7) 状態監視方法の記載について

保全方式として時間基準保全を選定した機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。

(8) 今回の実施計画について

第15保全サイクル中に点検を計画するものに「○」を記載している。

なお、複数の機器や複数のタスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクル中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

簡易点検については、点検内容が分解点検・開放点検に包含されるが、分解点検・開放点検を実施する場合についても「○」と記載している。

(9) 前回実施時期について

当該点検の前回実績（定検回数又は実施年度）を記載している。



## 目 次

### 1. 点検計画 設計基準事故対処設備等(1/2)

機器又は系統名	ページ
原子炉本体（炉心）	1/85
原子炉本体（原子炉容器）	1/85
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（燃料取扱設備）	1/85
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備）	1/85
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（燃料取替用水設備）	2/85
原子炉冷却系統施設（一次冷却材の循環設備）	2/85
原子炉冷却系統施設（主蒸気・主給水設備）	5/85
原子炉冷却系統施設（余熱除去設備）	12/85
原子炉冷却系統施設（非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備）	15/85
原子炉冷却系統施設（化学体積制御設備）	21/85
原子炉冷却系統施設（原子炉補機冷却水設備）	27/85
原子炉冷却系統施設（原子炉補機冷却海水設備）	33/85
原子炉冷却系統施設（原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置）	34/85
計測制御系統施設（制御材）	34/85
計測制御系統施設（制御棒駆動装置）	35/85
計測制御系統施設（ほう酸注入機能を有する設備）	35/85
計測制御系統施設（制御用空気設備）	37/85
計測制御系統施設（その他設備）	39/85
計測制御系統施設（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置）	41/85
放射性廃棄物の廃棄施設（気体、液体又は固体廃棄物処理設備）	41/85
放射性廃棄物の廃棄施設（原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの流体状の放射性廃棄物の漏えい検出装置又は自動警報装置）	44/85
放射線管理施設（放射線管理用計測装置）	44/85
放射線管理施設（換気設備）	44/85
原子炉格納施設（原子炉格納容器）	56/85
原子炉格納施設（圧力低減設備その他の安全設備）	56/85
原子炉施設（その他設備）	60/85
蒸気タービン（車室、円板、隔板、噴口）	63/85
蒸気タービン（調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁）	63/85
蒸気タービン（復水器）	65/85
蒸気タービン（蒸気タービンに附属する熱交換器）	66/85
蒸気タービン（蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備）	67/85
蒸気タービン（蒸気タービンに附属する管等）	74/85
その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備）	75/85
その他発電用原子炉の附属施設（常用電源設備）（発電機、変圧器 他）	81/85
その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備）（その他の電源装置）	82/85

### 1. 点検計画 設計基準事故対処設備等(2/2)

機器又は系統名	ページ
火災防護設備（消火設備）	84/85
火災防護設備（その他設備）	84/85
浸水防護設備（外郭浸水防護設備）（内郭浸水防護設備）	85/85
浸水防護設備（その他設備）	85/85
非常用取水設備（取水設備）	85/85
土木建築設備	85/85
プラント総合全般機器	85/85
竜巻防護設備	85/85

### 2. 点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	ページ
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯蔵設備）	1/4
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備）	1/4
原子炉冷却系統施設（非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備）	1/4
原子炉冷却系統施設（原子炉補機冷却設備）	1/4
計測制御系統施設（計測装置）	2/4
計測制御系統施設（工学的安全施設等の作動信号）	2/4
計測制御系統施設（制御用空気設備）	2/4
計測制御系統施設（その他設備）	3/4
放射線管理施設（放射線管理用計測装置）	3/4
原子炉格納施設（圧力低減設備）	3/4
原子炉施設（その他設備）	3/4
非常用電源設備	4/4

### 3. 原子力規制委員会の内規に従い実施する点検計画

### 4. 長期保守管理方針に基づく点検計画

別紙ー 1 クラス 1 機器、Ni 基合金溶接部（供用期間中検査対象）

別紙ー 2 クラス 2 機器（供用期間中検査対象）

別紙ー 3 クラス 2 管（原子炉格納容器内）のうち

一次冷却材と同温・同圧の流体が流れる系統（供用期間中検査対象）

別紙ー 4 重大事故等クラス 2 機器（供用期間中検査対象）

別紙ー 5 重大事故等クラス 3 機器（供用期間中検査対象）

## 1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 順 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
原子炉本体 (炉心)	再使用予定の燃料集合体 1式密	外観点検	高	1C	○	14	GN4-2 燃料集合体外観検査	※:炉心設計による
	取出し燃料集合体 1式密	外観点検	高	1C	○	14		※:炉心設計による
	燃料集合体 193体	外観点検	高	1C	○	14	GN4-3 燃料集合体内配置検査	※:炉心設計による
	内挿物 1. 制御棒クラスタ 2. バーナブルボイスン 3. プラギングデバイス 4. 2次中性子源 } 1式密							
	原子炉本体のうち炉心	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-81 炉物理検査 GN4-4 原子炉停止余裕検査	定検起動後 定検起動後
原子炉本体 (原子炉容器)	原子炉容器本体	開放点検	高	13M	○	14		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取扱設備)	燃料移送装置	分解点検	高	13M	○	14		一部プラント運転中
	燃料移送装置制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C	○	14		一部プラント運転中
	燃料取替クレーン	分解点検	高	13M	○	14		
	燃料取替クレーン制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	使用済燃料ビットクレーン	分解点検	高	13M	○	14		一部プラント運転中
	使用済燃料ビットクレーン制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C	○	14		一部プラント運転中
	1. 燃料移送装置(リフティングフレーム) 2台 2. 燃料取替クレーン 3. 使用済燃料ビットクレーン	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-36 燃料取扱装置機能検査	
	1. 新燃料エレベータ 2. 燃料取扱機クレーン	機能・性能試験	低	1C	○	14	GN4-75 燃料取扱設備検査	
	1. 燃料取替クレーン 2. 燃料移送装置 3. 使用済燃料ビットクレーン	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-95 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	
	1. 燃料取扱機クレーン 2. 新燃料エレベータ	機能・性能試験	低	1C	○	14		
	原子炉キャビティ	外観点検	高	1C	○	14		
	燃料取替チャンネル(原子炉格納容器内/燃料取扱機内)	外観検査	高	1C	○	14		
	キャスクビット	外観検査	高	1C	○	14		
	新燃料貯蔵庫	外観検査	低	1C	○	14		
	1. 新燃料取扱工具 2. 使用済燃料取扱工具 3. 燃料仮置ラック	外観点検	低	1C	○	14	GN4-95 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	
	使用済燃料運搬用容器(NFT-14P型22号機)	外観点検	高	1F	○	2021年度		
	使用済燃料運搬用容器(NFT-14P型23号機)	外観点検	高	1F	○	2021年度		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備)	使用済燃料ビット浄化冷却設備	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-202 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	使用済燃料ビット含む
	4A 使用済燃料ビットポンプ	簡易点検(油入替他)	低	1Y	○	2021年度		プラント運転中
		分解点検			○	2018年度		
	4A 使用済燃料ビットポンプ用電動機	分解点検	低	4Y	○	2018年度		プラント運転中
	4B 使用済燃料ビットポンプ	簡易点検(油入替他)	低	1Y	○	2021年度		プラント運転中
		分解点検			○	2019年度		
	4B 使用済燃料ビットポンプ用電動機	分解点検	低	4Y	○	2019年度		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4 A 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	高	10Y	—	2021年度		プラント運転中	
	4 B 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	高	10Y	○	2012年度		プラント運転中	
	4 A 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	10Y	—	2019年度		プラント運転中	
	4 B 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	10Y	—	2020年度		プラント運転中	
	4 A 使用済燃料ピット脱塩塔	外観点検	低	1C	○	14			
	4 B 使用済燃料ピット脱塩塔	外観点検	低	1C	○	14			
	4V-SF-011 4 A AM用SFPポンプ出口弁	駆動部点検	低	10Y	—	2016年度		GN4-85 1次系弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2016年度			
		機能・性能試験		10F	—	2016年度			
		電動機分解点検		10Y	—	2016年度			
4V-SF-094 4号SFPポンプ脱塩水補給ライン逆止弁	分解点検	低	130M	—	8	GN4-87 1次系逆止弁検査			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取替用水設備)	4 A 燃料取替用水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	1Y	○	2021年度	GN4-84 1次系ポンプ機能検査	プラント運転中 (振動診断・切替毎)	
		分解点検		4Y	—	2021年度			
		機能・性能試験		4F	—	2021年度			
	4 A 燃料取替用水ポンプ用電動機	分解点検	高	4Y	—	2021年度		プラント運転中 (振動診断・切替毎)	
	4 B 燃料取替用水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	1Y	○	2021年度	GN4-84 1次系ポンプ機能検査	プラント運転中 (振動診断・切替毎)	
		分解点検		4Y	○	2018年度			
		機能・性能試験		4F	○	2018年度			
	4 B 燃料取替用水ポンプ用電動機	分解点検	高	4Y	○	2019年度		プラント運転中 (振動診断・切替毎)	
	燃料取替用水ピット	開放点検	高	130M	—	13			
	原子炉冷却系統施設 (一次冷却材の循環設備)	4 A 蒸気発生器本体	開放点検(2次側管板上水洗含む)	高	13M	○	14		
4 B 蒸気発生器本体		開放点検(2次側管板上水洗含む)	高	13M	○	14			
4 C 蒸気発生器本体		開放点検(2次側管板上水洗含む)	高	13M	○	14			
4 D 蒸気発生器本体		開放点検(2次側管板上水洗含む)	高	13M	○	14			
4 A 蒸気発生器伝熱管 3,382本		非破壊試験	高	26M	—	14	GN4-6 蒸気発生器伝熱管体積検査		
		非破壊試験	高	26M	○	13	GN4-6 蒸気発生器伝熱管体積検査		
4 C 蒸気発生器伝熱管 3,382本		非破壊試験	高	26M	○	13	GN4-6 蒸気発生器伝熱管体積検査		
		非破壊試験	高	26M	—	14	GN4-6 蒸気発生器伝熱管体積検査		
4 A 1次冷却材ポンプ		分解点検	高	10年間	—	12		一部プラント運転中	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後	
4 A 1次冷却材ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14			
		分解点検		52M	—	12			
4 B 1次冷却材ポンプ		分解点検	高	10年間	—	13		一部プラント運転中	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後	
4 B 1次冷却材ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14			
		分解点検		52M	—	13			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査者	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4C 1次冷却材ポンプ		分解点検	高	10年間	—	14		一部プラント運転中
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
4C 1次冷却材ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		
		分解点検		52M	○	10		
4D 1次冷却材ポンプ		分解点検	高	10年間	○	7		一部プラント運転中
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
4D 1次冷却材ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		
		分解点検		52M	○	11		
4A 1次冷却材ポンプメカニカルシール		分解点検	高	26M	—	14	GN4-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
4B 1次冷却材ポンプメカニカルシール		分解点検	高	26M	○	13	GN4-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
4C 1次冷却材ポンプメカニカルシール		分解点検	高	26M	—	14	GN4-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
4D 1次冷却材ポンプメカニカルシール		分解点検	高	26M	○	13	GN4-91 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
加圧器本体		開放点検	高	13M	○	14		
炉内計装用シンプルチューブ 58本		非破壊試験	高	78M	—	14	GN4-110 炉内計装用シンプルチューブ体積検査	
4V-RC-055 4号 加圧器安全弁A		分解点検	高	13M	○	14	GN4-10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	14	GN4-9 加圧器安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-8 加圧器安全弁機能検査	
4V-RC-056 4号 加圧器安全弁B		分解点検	高	13M	○	14	GN4-10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	14	GN4-9 加圧器安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-8 加圧器安全弁機能検査	
4V-RC-057 4号 加圧器安全弁C		分解点検	高	13M	○	14	GN4-10 加圧器安全弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	14	GN4-9 加圧器安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-8 加圧器安全弁機能検査	
4PCV-452A 4号 加圧器逃がし弁A		駆動部点検	高	52M	○	11		
		分解点検		13M	○	14	GN4-13 加圧器逃がし弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	14	GN4-12 加圧器逃がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-11 加圧器逃がし弁機能検査	
4PCV-452B 4号 加圧器逃がし弁B		駆動部点検	高	52M	○	11		
		分解点検		13M	○	14	GN4-13 加圧器逃がし弁分解検査	
		漏えい試験		1C	○	14	GN4-12 加圧器逃がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-11 加圧器逃がし弁機能検査	
4V-RC-054A 4号 加圧器逃がし弁A元弁		駆動部点検	高	130M	○	11		
		分解点検		130M	○	5		
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-14 加圧器逃がし弁元弁機能検査	
		電動機分解点検		130M	○	5		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-RC-054B 4号 加圧器逃がし弁 B元弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	6		
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-14 加圧器逃がし弁元弁機能検査	
		電動機分解点検		130M	—	6		
4PCV-451A 4号 加圧器スプレイ弁A		駆動部点検	高	26M	○	13		
		分解点検		26M	○	13		
		機能・性能試験		2C	○	13	GN4-85 1次系弁検査	
4PCV-451B 4号 加圧器スプレイ弁B		駆動部点検	高	26M	—	14		
		分解点検		26M	—	14		
		機能・性能試験		2C	—	14	GN4-85 1次系弁検査	
4V-RC-017 4号 抽出ライン元弁		分解点検	高	65M	○	10		
4V-RC-019A 4号 Aループ第一ドレン弁		分解点検	高	39M	—	14		
4V-RC-019B 4号 Dループ第一ドレン弁		分解点検	高	39M	—	14		
4V-RC-019C 4号 Cループ第一ドレン弁		分解点検	高	39M	○	12		
4V-RC-019D 4号 Dループ第一ドレン弁		分解点検	高	39M	○	12		
4V-RC-077 4号 PRT自動ガス分析ライン内隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	14		
		分解点検		130M	—	12		
4V-RC-078 4号 PRT自動ガス分析ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
4V-RC-084 4号 PRT N <sub>2</sub> ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	6		
4V-RC-095 4号 PRT補給水ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	6	GN4-85 1次系弁検査	
4V-RC-088 4号 PRT N <sub>2</sub> ライン逆止弁		分解点検	低	130M	—	7	GN4-87 1次系逆止弁検査	
加圧器比例ヒータ 1式		機能・性能試験	低	1C	○	14		
加圧器後備ヒータ 1式		機能・性能試験	高	1C	○	14		
4V-BD-101A 4A SGBD外隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	14		
		分解点検		130M	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
4V-BD-101B 4B SGBD外隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	14		
		分解点検		130M	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
4V-BD-101C 4C SGBD外隔離弁		駆動部点検	高	52M	○	11		
		分解点検		130M	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
4V-BD-101D 4D SGBD外隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	14		
		分解点検		130M	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
4V-BD-016A 4A S/Gサンプラライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-85 1次系弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-BD-016B 4 B S/G サンプルライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-BD-016C 4 C S/G サンプルライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-BD-016D 4 D S/G サンプルライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-BD-039 4号 SGBDモニタ出口逃がし弁	分解点検	低	130M	—	9		
		漏えい試験		10C	—	9	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	9		
	4V-BD-103A 4 A SGBD止弁	駆動部点検	高	65M	—	12		
		分解点検		130M	—	14		
	4V-BD-103B 4 B SGBD止弁	駆動部点検	高	65M	—	13		
		分解点検		130M	—	14		
	4V-BD-103C 4 C SGBD止弁	駆動部点検	高	65M	—	12		
分解点検		130M		—	9			
4V-BD-103D 4 D SGBD止弁	駆動部点検	高	65M	—	12			
	分解点検		130M	—	9			
4V-BD-117 4号 BDTドレンライン逆止弁	分解点検	低	130M	—	9	GN4-87 1次系逆止弁検査		
原子炉冷却系統施設 (主蒸気・主給水設備)	4PCV-3610 4 A 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	26M	○	13		
		分解点検		13M	○	14		
		漏えい試験		1C	○	14	GN4-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-27 主蒸気逃がし弁機能検査 GN4-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	
	4PCV-3620 4 B 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	26M	—	14		
		分解点検		13M	○	14		
		漏えい試験		1C	○	14	GN4-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-27 主蒸気逃がし弁機能検査 GN4-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	
	4PCV-3630 4 C 主蒸気逃がし弁	駆動部点検	高	26M	○	13		
		分解点検		13M	○	14		
		漏えい試験		1C	○	14	GN4-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-27 主蒸気逃がし弁機能検査 GN4-206 最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4PCV-3640 4 D 主蒸気逃がし弁		駆動部点検	高	26M	—	14		
		分解点検		13M	○	14		
		漏えい試験		1C	○	14	GN4-28 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-27 主蒸気逃がし弁機能検査 GN4-206 最終ヒートシンク熟輸送設備作動検査	
4RCV-3615 4 A 主蒸気隔離弁バイパス弁		簡易点検(グラントパッキン取替)	高	26M	○	13		
		駆動部点検		52M	—	13		
		分解点検		130M	—	11	GN4-85	
		機能・性能試験		10C	—	11	1次系弁検査	
4RCV-3625 4 B 主蒸気隔離弁バイパス弁		簡易点検(グラントパッキン取替)	高	26M	—	14		
		駆動部点検		52M	—	14		
		分解点検		130M	—	12	GN4-85	
		機能・性能試験		10C	—	12	1次系弁検査	
4RCV-3635 4 C 主蒸気隔離弁バイパス弁		簡易点検(グラントパッキン取替)	高	26M	○	13		
		駆動部点検		52M	○	11		
		分解点検		130M	—	13	GN4-85	
		機能・性能試験		10C	—	13	1次系弁検査	
4RCV-3645 4 D 主蒸気隔離弁バイパス弁		簡易点検(グラントパッキン取替)	高	26M	—	14		
		駆動部点検		52M	—	12		
		分解点検		130M	—	14	GN4-85	
		機能・性能試験		10C	—	14	1次系弁検査	
4V-MS-523A 4 A 主蒸気逃がし弁元弁		簡易点検(グラントパッキン取替)	高	65M	—	12		
		駆動部点検		65M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85	
		電動機分解点検		130M	—	10	1次系弁検査	
4V-MS-523B 4 B 主蒸気逃がし弁元弁		簡易点検(グラントパッキン取替)	高	65M	—	13		
		駆動部点検		65M	—	13		
		分解点検		130M	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13	GN4-85	
		電動機分解点検		130M	—	13	1次系弁検査	
4V-MS-523C 4 C 主蒸気逃がし弁元弁		簡易点検(グラントパッキン取替)	高	65M	—	14		
		駆動部点検		65M	—	14		
		分解点検		130M	—	14		
		機能・性能試験		10C	—	14	GN4-85	
		電動機分解点検		130M	—	14	1次系弁検査	



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-MS-523D 4 D 主蒸気逃がし弁元弁	簡易点検(グラウンドパッキン取替)	高	65M	○	11		
		駆動部点検		65M	○	12		
		分解点検		130M	○	5		
		機能・性能試験		10C	○	5	GN4-85 1 改善弁検査	
		電動機分解点検		130M	○	5		
	4V-MS-526A 4 A 1 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	○	13		
		漏えい試験		2C	○	13	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
	4V-MS-526B 4 B 1 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	○	13		
		漏えい試験		2C	○	13	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
	4V-MS-526C 4 C 1 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	14		
		漏えい試験		2C	—	14	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
	4V-MS-526D 4 D 1 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	14		
		漏えい試験		2C	—	14	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
	4V-MS-527A 4 A 2 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	○	13		
		漏えい試験		2C	○	13	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-527B 4 B 2 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	○	13			
	漏えい試験		2C	○	13	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査		
4V-MS-527C 4 C 2 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	14			
	漏えい試験		2C	—	14	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査		
4V-MS-527D 4 D 2 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	—	14			
	漏えい試験		2C	—	14	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査		
4V-MS-528A 4 A 3 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	○	13			
	漏えい試験		2C	○	13	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査		
4V-MS-528B 4 B 3 主蒸気安全弁	分解点検	高	26M	○	13			
	漏えい試験		2C	○	13	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査		
	機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査者	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-MS-528C 4 C 3 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	14		
		漏えい試験		2C	—	14	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-528D 4 D 3 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	14		
		漏えい試験		2C	—	14	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-529A 4 A 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	13		
		漏えい試験		2C	○	13	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-529B 4 B 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	13		
		漏えい試験		2C	○	13	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-529C 4 C 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	14		
		漏えい試験		2C	—	14	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-529D 4 D 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	14		
		漏えい試験		2C	—	14	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-530A 4 A 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	13		
		漏えい試験		2C	○	13	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-530B 4 B 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	13		
		漏えい試験		2C	○	13	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-530C 4 C 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	14		
		漏えい試験		2C	—	14	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-530D 4 D 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	14		
		漏えい試験		2C	—	14	GN4-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-25 主蒸気安全弁機能検査	
4V-MS-533A 4 A 主蒸気隔離弁		駆動部点検	高	52M	○	11		
		分解点検		26M	○	13	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-29 主蒸気隔離弁機能検査	
4V-MS-533B 4 B 主蒸気隔離弁		駆動部点検	高	52M	○	11		
		分解点検		26M	○	13	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-29 主蒸気隔離弁機能検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-MS-533C 4 C 主蒸気隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	14		
		分解点検		26M	—	14	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-29 主蒸気隔離弁機能検査	
4V-MS-533D 4 D 主蒸気隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	14		
		分解点検		26M	—	14	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-29 主蒸気隔離弁機能検査	
4V-MS-536A 4 A 主蒸気逆止弁		分解点検	高	26M	○	13		
4V-MS-536B 4 B 主蒸気逆止弁		分解点検	高	26M	○	13		
4V-MS-536C 4 C 主蒸気逆止弁		分解点検	高	26M	—	14		
4V-MS-536D 4 D 主蒸気逆止弁		分解点検	高	26M	—	14		
4V-MS-570A 4号 T/D AFWP駆動蒸気入口弁A		駆動部点検	高	65M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		電動機分解点検		130M	—	11		
4V-MS-570B 4号 T/D AFWP駆動蒸気入口弁B		駆動部点検	高	65M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		電動機分解点検		130M	—	11		
4V-MS-575A 4号 T/D AFWP駆動蒸気元弁A		簡易点検(グラウンドパッキン取替)	高	65M	○	13		
		駆動部点検		65M	○	10		
		分解点検		130M	○	13		
		機能・性能試験		10C	○	10	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	○	13		
4V-MS-575B 4号 T/D AFWP駆動蒸気元弁B		簡易点検(グラウンドパッキン取替)	高	65M	○	12		
		駆動部点検		65M	○	10		
		分解点検		130M	○	12		
		機能・性能試験		10C	○	12	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	○	5		
4V-MS-576A 4号 T/D AFWP駆動蒸気逆止弁A		分解点検	高	39M	—	14		
4V-MS-576B 4号 T/D AFWP駆動蒸気逆止弁B		分解点検	高	39M	—	14		
4V-MS-585A 4 A 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁		駆動部点検	高	65M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	12		
4V-MS-585B 4 B 主蒸気隔離弁上流ドレン元弁		駆動部点検	高	65M	—	13		
		分解点検		130M	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	13		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-MS-585C 4 C 主蒸気隔離弁上流ドレン弁弁		駆動部点検	高	65M	—	14		
		分解点検		130M	—	14		
		機能・性能試験		10C	—	14	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	14		
4V-MS-585D 4 D 主蒸気隔離弁上流ドレン弁弁		駆動部点検	高	65M	○	10		
		分解点検		130M	○	5		
		機能・性能試験		10C	○	5	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	○	5		
4TCV-500A 4 A タービンバイパス弁		駆動部点検	低	26M	—	14		
		分解点検		13M	○	14		
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査	
4TCV-500B 4 B タービンバイパス弁		駆動部点検	低	26M	—	14		
		分解点検		13M	○	14		
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査	
4TCV-500C 4 C タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	—	13		
		簡易点検(グラントパッキン取替)		39M	—	13		
		分解点検		65M	—	11		
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査	
4TCV-500D 4 D タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	—	13		
		簡易点検(グラントパッキン取替)		39M	—	13		
		分解点検		65M	—	11		
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査	
4TCV-500E 4 E タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	—	14		
		簡易点検(グラントパッキン取替)		39M	—	14		
		分解点検		65M	—	12		
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査	
4TCV-500F 4 F タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	—	14		
		簡易点検(グラントパッキン取替)		39M	—	14		
		分解点検		65M	—	12		
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査	
4TCV-500G 4 G タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	○	13		
		簡易点検(グラントパッキン取替)		39M	○	13		
		分解点検		65M	○	13		
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4TCV-500H 4 H タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	○	13		
		簡易点検(グラッドパッキン取替)		39M	○	13		
		分解点検		65M	—	13		
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査	
4TCV-500J 4 J タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	—	14		
		簡易点検(グラッドパッキン取替)		39M	—	14		
		分解点検		65M	—	14		
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査	
4TCV-500K 4 K タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	—	14		
		簡易点検(グラッドパッキン取替)		39M	—	14		
		分解点検		65M	—	14		
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査	
4TCV-500L 4 L タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	○	12		
		簡易点検(グラッドパッキン取替)		39M	○	12		
		分解点検		65M	○	10		
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査	
4TCV-500M 4 M タービンバイパス弁		駆動部点検	低	39M	○	12		
		簡易点検(グラッドパッキン取替)		39M	○	12		
		分解点検		65M	○	10		
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-62 タービンバイパス弁機能検査	
4FCV-460 4 A 主給水制御弁		駆動部点検	高	13M	○	14		
		分解点検		13M	○	14		
4FCV-470 4 B 主給水制御弁		駆動部点検	高	13M	○	14		
		分解点検		13M	○	14		
4FCV-480 4 C 主給水制御弁		駆動部点検	高	13M	○	14		
		分解点検		13M	○	14		
4FCV-490 4 D 主給水制御弁		駆動部点検	高	13M	○	14		
		分解点検		13M	○	14		
4FCV-461 4 A 主給水バイパス制御弁		駆動部点検	高	52M	—	12		
		分解点検		52M	—	12		
4FCV-471 4 B 主給水バイパス制御弁		駆動部点検	高	52M	—	13		
		分解点検		52M	—	13		
4FCV-481 4 C 主給水バイパス制御弁		駆動部点検	高	52M	○	11		
		分解点検		52M	○	11		
4FCV-491 4 D 主給水バイパス制御弁		駆動部点検	高	52M	○	11		
		分解点検		52M	○	11		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-FW-520A 4 A 主給水隔離弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	52M	—	13		
		駆動部点検		130M	—	13		
		分解点検		130M	—	13	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	13		
	4V-FW-520B 4 B 主給水隔離弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	52M	○	11		
		駆動部点検		130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
	4V-FW-520C 4 C 主給水隔離弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	52M	—	13		
		駆動部点検		130M	—	13		
		分解点検		130M	—	13	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	13		
	4V-FW-520D 4 D 主給水隔離弁	簡易点検(グラントパッキン取替)	高	52M	—	13		
		駆動部点検		130M	—	11		
		分解点検		130M	—	6	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	6		
原子炉冷却系統施設 (余熱除去系統)	4 A 余熱除去冷却器	開放点検	高	130M	—	11		
	4 B 余熱除去冷却器	開放点検	高	130M	—	11		
	4 A 余熱除去ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		
		分解点検		52M	—	13	GN4-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1ヶ月)
	4 A 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		
		分解点検		52M	—	13		(振動診断:1ヶ月)
	4 B 余熱除去ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		
		分解点検		52M	—	14	GN4-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断:1ヶ月)
	4 B 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		
		分解点検		52M	○	11		(振動診断:1ヶ月)
	4FCV-601 4 A 余熱除去ポンプミニフロー弁	駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
	4ICV-603 4 A 余熱除去冷却器出口流量設定弁	駆動部点検	高	130M	○	5		
		分解点検		130M	○	12		
機能・性能試験		10C		○	12	GN4-85 1次系弁検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4FCV-604 4 A 余熱除去冷却器バイパス流量制御弁	駆動部点検	高	130M	○	5			
		分解点検		130M	○	12			
		機能・性能試験		10C	○	12	GN4-85 1次系弁検査		
	4FCV-611 4 B 余熱除去ポンプミニフロー弁	駆動部点検	高	130M	—	8			
		分解点検		130M	—	8			
		機能・性能試験		10C	—	8	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	8			
	4KCV-613 4 B 余熱除去冷却器出口流量設定弁	駆動部点検	高	130M	—	14			
		分解点検		130M	—	14			
		機能・性能試験		10C	—	14	GN4-85 1次系弁検査		
	4FCV-614 4 B 余熱除去冷却器バイパス流量制御弁	駆動部点検	高	130M	—	14			
		分解点検		130M	—	14			
		機能・性能試験		10C	—	14	GN4-85 1次系弁検査		
	4PCV-420 4 A 余熱除去ラインBループ高温側出口弁	駆動部点検	高	130M	—	11			
		分解点検		130M	—	11	GN4-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	11			
		電動機分解点検		130M	—	11			
	4PCV-430 4 B 余熱除去ラインCループ高温側出口弁	駆動部点検	高	130M	○	5			
		分解点検		130M	○	5	GN4-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	○	5			
		電動機分解点検		130M	—	8			
	4V-RH-002A 4 A 余熱除去ポンプ入口内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	7			
		分解点検		130M	—	11	GN4-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	11			
電動機分解点検		130M		—	7				
4V-RH-002B 4 B 余熱除去ポンプ入口内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	8				
	分解点検		130M	—	11	GN4-85 1次系弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	11				
	電動機分解点検		130M	—	8				
4V-RH-004A 4 A 余熱除去ポンプ入口逃がし弁	分解点検	高	130M	—	13				
	漏えい試験		10C	—	13	GN4-86 1次系安全弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	13				
4V-RH-004B 4 B 余熱除去ポンプ入口逃がし弁	分解点検	高	130M	—	13				
	漏えい試験		10C	—	13	GN4-86 1次系安全弁検査			
	機能・性能試験		10C	—	13				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
4V-RH-005A 4 A 余熱除去ポンプ入口弁		駆動部点検	高	130M	—	—		第11回定検より追加	
		分解点検		130M	—	—			
4V-RH-005B 4 B 余熱除去ポンプ入口弁		駆動部点検	高	130M	—	—		第11回定検より追加	
		分解点検		130M	—	—			
4V-RH-012A 4 A 余熱除去ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	13			
4V-RH-012B 4 B 余熱除去ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	14			
4V-RH-018A 4 A 余熱除去ポンプRWS P側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	7			
		分解点検		130M	—	7			
		電動機分解点検		130M	—	7			
4V-RH-018B 4 B 余熱除去ポンプRWS P側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	6			
		分解点検		130M	—	6			
		電動機分解点検		130M	—	6			
4V-RH-026A 4 A 余熱除去冷却器出口低圧抽出ライン止弁		駆動部点検	高	130M	—	6			
		分解点検		130M	—	6			
		機能・性能試験		10C	—	6			GN4-85 1次系弁検査
4V-RH-026B 4 B 余熱除去冷却器出口低圧抽出ライン止弁		駆動部点検	高	130M	—	14			
		分解点検		130M	—	14			
		機能・性能試験		10C	—	14			GN4-85 1次系弁検査
4V-RH-042A 4 A 余熱除去冷却器出口逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11			
		漏えい試験		10C	—	11			GN4-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		10C	—	11			
4V-RH-042B 4 B 余熱除去冷却器出口逃がし弁		分解点検	低	130M	—	14			
		漏えい試験		10C	—	14			GN4-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		10C	—	14			
4V-RH-043A 4 A 余熱除去冷却器出口外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	12			
		分解点検		130M	—	12			
		機能・性能試験		10C	—	12			GN4-85 1次系弁検査
		電動機分解点検		130M	—	13			
4V-RH-043B 4 B 余熱除去冷却器出口外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	13			
		分解点検		130M	—	13			
		機能・性能試験		10C	—	13			GN4-85 1次系弁検査
		電動機分解点検		130M	—	13			
4V-RH-045A 4 A 余熱除去冷却器出口隔離逆止弁		分解点検	高	130M	—	13			
4V-RH-045B 4 B 余熱除去冷却器出口隔離逆止弁		分解点検	高	130M	—	12			



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備)	4V-RH-047A 4 A B 余熱除去冷却器出口連絡弁 A	駆動部点検	高	130M	○	5		
		分解点検		130M	○	5		
		電動機分解点検		130M	○	5		
	4V-RH-047B 4 A B 余熱除去冷却器出口連絡弁 B	駆動部点検	高	130M	—	14		
		分解点検		130M	—	14		
		電動機分解点検		130M	—	14		
	4V-RH-048A 4 A 余熱除去ライン B ループ高温側入口弁	駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		電動機分解点検		130M	—	12		
	4V-RH-048B 4 B 余熱除去ライン C ループ高温側入口弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
		電動機分解点検		130M	—	9		
	4V-RH-050A 4号 余熱除去ライン A ループ低温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	—	6	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-RH-050B 4号 余熱除去ライン B ループ低温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-RH-050C 4号 余熱除去ライン C ループ低温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-RH-050D 4号 余熱除去ライン D ループ低温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	—	13	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-RH-051A 4号 余熱除去ライン B ループ高温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-RH-051B 4号 余熱除去ライン C ループ高温側入口逆止弁	分解点検	高	130M	—	14	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	4V-RH-071 4号 AM用代替再循環ポンプ出口第一逆止弁	分解点検	高	130M	○	5		
	4V-RH-072 4号 AM用代替再循環ポンプ出口弁	駆動部点検	高	130M	○	5		
		分解点検		130M	○	5		
電動機分解点検		130M		○	5			
4V-RH-073 4号 AM用代替再循環ポンプ出口第二逆止弁	分解点検	高	130M	○	5			
AM用代替再循環ポンプ	分解点検	高	130M	—	11			
	電動機簡易点検		1C	○	14			
1. 高圧及び低圧注入系 ・高圧注入ポンプ 2台 ・余熱除去ポンプ 2台 ・モード切替弁 18個 2. 蓄圧注入系 ・蓄圧タンク 4基	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-16 非常用炉心冷却系機能検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4 A 高圧注入ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検(メカニカルシール取替)		52M	—	12		
		分解点検		104M	—	12		
4 A 高圧注入ポンプ用電動機		分解点検	高	78M	—	13		(振動診断:1ヶ月)
4 B 高圧注入ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検(メカニカルシール取替)		52M	—	13		
		分解点検		104M	—	13		
4 B 高圧注入ポンプ用電動機		分解点検	高	78M	—	14		(振動診断:1ヶ月)
4 A 蓄圧タンク		開放点検	高	130M	—	12		
4 B 蓄圧タンク		開放点検	高	130M	—	11		
4 C 蓄圧タンク		開放点検	高	130M	—	11		
4 D 蓄圧タンク		開放点検	高	130M	—	11		
4 A 格納容器再循環サンプ		外観点検	高	1C	○	14		
4 B 格納容器再循環サンプ		外観点検	高	1C	○	14		
4 A 格納容器再循環サンプスクリーン		外観点検	高	1C	○	14		
4 B 格納容器再循環サンプスクリーン		外観点検	高	1C	○	14		
4V-SI-002A 4 A 安全注入系ポンプRWS P側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	12		
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-SI-002B 4 B 安全注入系ポンプRWS P側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	12		
		電動機分解点検		130M	—	11		
4V-SI-004A 4 A 安全注入系ポンプ入口逃がし弁		分解点検	高	130M	○	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	○	11		
		機能・性能試験		10C	○	11		
4V-SI-004B 4 B 安全注入系ポンプ入口逃がし弁		分解点検	高	130M	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-SI-011A 4 A 高圧注入ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	14		
4V-SI-011B 4 B 高圧注入ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	○	5		
4V-SI-014A 4 A 高圧注入ポンプミニフロー逆止弁		分解点検	高	130M	—	14		
4V-SI-014B 4 B 高圧注入ポンプミニフロー逆止弁		分解点検	高	130M	○	5		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-SI-015A 4 A 高压注入ポンプ第一ミニフロー弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		電動機分解点検		130M	—	11		
4V-SI-015B 4 B 高压注入ポンプ第一ミニフロー弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		電動機分解点検		130M	—	12		
4V-SI-016A 4 A 高压注入ポンプ第二ミニフロー弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		電動機分解点検		130M	—	11		
4V-SI-016B 4 B 高压注入ポンプ第二ミニフロー弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		電動機分解点検		130M	—	12		
4V-SI-026A 4 A 高压注入ポンプ封水注入ライン止弁		駆動部点検	低	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	11		
4V-SI-026B 4 B 高压注入ポンプ封水注入ライン止弁		駆動部点検	低	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	12		
4V-SI-062A 4 A 高压注入ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	14		
4V-SI-062B 4 B 高压注入ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	12		
4V-SI-064A 4 A 高压注入ライン隔離逆止弁		分解点検	高	195M	—	7		
4V-SI-064B 4 B 高压注入ライン隔離逆止弁		分解点検	高	195M	—	6		
4V-SI-066A 4 A B 高压注入ポンプ出口連絡弁 A		駆動部点検	高	130M	—	13		
		分解点検		130M	—	13		
		電動機分解点検		130M	—	13		
4V-SI-066B 4 A B 高压注入ポンプ出口連絡弁 B		駆動部点検	高	130M	—	14		
		分解点検		130M	—	14		
		電動機分解点検		130M	—	14		
4V-SI-067A 4号 A B ループ高温側高压注入ライン止弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		電動機分解点検		130M	—	7		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-SI-067B 4号 C Dループ高温側高圧注入ライン止弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	11		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-SI-072A 4号 Aループ低温側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	7	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-072B 4号 Bループ低温側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	14	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-072C 4号 Cループ低温側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	○	5	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-072D 4号 Dループ低温側高圧注入ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	6	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-079A 4号 Aループ高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	7	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-079B 4号 Bループ高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	8	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-079C 4号 Cループ高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	9	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-079D 4号 Dループ高温側高圧注入ライン第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	10	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-082A 4号 Aループ高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	12	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-082B 4号 Bループ高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-082C 4号 Cループ高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-082D 4号 Dループ高温側高圧注入ライン第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	8	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-093A 4 A C/V再循環サンプ外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-SI-093B 4 B C/V再循環サンプ外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
		電動機分解点検		130M	—	10		
4V-SI-095A 4 A 安全注入系ポンプC/V再循環サンプ側入口逆止弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
4V-SI-095B 4 B 安全注入系ポンプC/V再循環サンプ側入口逆止弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
4V-SI-132A 4 A 蓄圧タンク出口弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		電動機分解点検		130M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-SI-132B 4 B 蓄圧タンク出口弁		駆動部点検	高	130M	—	13		
		分解点検		130M	—	13	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	○	13		
4V-SI-132C 4 C 蓄圧タンク出口弁		駆動部点検	高	130M	—	14		
		分解点検		130M	—	14	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	14		
4V-SI-132D 4 D 蓄圧タンク出口弁		駆動部点検	高	130M	○	5		
		分解点検		130M	○	5	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	○	5		
4V-SI-133A 4 A 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-133B 4 B 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	—	13		
		分解点検		130M	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-133C 4 C 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	—	14		
		分解点検		130M	—	14		
		機能・性能試験		10C	—	14	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-133D 4 D 蓄圧タンク出口第一逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	○	5		
		分解点検		130M	○	5		
		機能・性能試験		10C	○	5	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-134A 4 A 蓄圧タンク出口第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	13	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-134B 4 B 蓄圧タンク出口第一逆止弁		分解点検	高	130M	○	5	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-134C 4 C 蓄圧タンク出口第一逆止弁		分解点検	高	130M	—	7	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-134D 4 D 蓄圧タンク出口第一逆止弁		分解点検	高	130M	○	5	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-135A 4 A 蓄圧タンク出口第二逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7	GN4-85 1次系弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-SI-135B 4 B 蓄圧タンク出口第二逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	—	13		
		分解点検		130M	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-135C 4 C 蓄圧タンク出口第二逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	—	14		
		分解点検		130M	—	14		
		機能・性能試験		10C	—	14	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-135D 4 D 蓄圧タンク出口第二逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	130M	○	5		
		分解点検		130M	○	5		
		機能・性能試験		10C	○	5	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-136A 4 A 蓄圧タンク出口第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	12	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-136B 4 B 蓄圧タンク出口第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-136C 4 C 蓄圧タンク出口第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-136D 4 D 蓄圧タンク出口第二逆止弁		分解点検	高	130M	—	11	GN4-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GN4-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
4V-SI-143 4号 安全注入系逆止弁テストライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	6	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-144 4号 安全注入系逆止弁テストライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	6	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-154 4号 蓄圧タンク補給ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SI-165 4号 蓄圧タンク窒素供給ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		65M	—	11		
4V-SI-169 4号 蓄圧タンク窒素供給ライン安全弁		分解点検	低	130M	—	7		
		漏えい試験		10C	—	7	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	7		
4V-SI-172A 4 A 蓄圧タンク安全弁		分解点検	低	130M	—	11		
		漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-SI-172B 4 B 蓄圧タンク安全弁		分解点検	低	130M	—	11		
		漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-SI-172C 4 C 蓄圧タンク安全弁	分解点検	低	130M	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
	4V-SI-172D 4 D 蓄圧タンク安全弁	分解点検	低	130M	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
原子炉冷却系統施設 (化学体積制御系統設備)	4 A 充てんポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14	GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断・切替毎)
		分解点検		39M	—	13		
		機能・性能試験		1C	○	14		
	4 A 充てんポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		52M	—	13		
	4 B 充てんポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14	GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断・切替毎)
		分解点検		39M	—	14		
		機能・性能試験		1C	○	14		
	4 B 充てんポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		52M	—	12		
	4 C 充てんポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14	GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断・切替毎)
		分解点検		39M	○	12		
		機能・性能試験		1C	○	14		
	4 C 充てんポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		52M	○	11		
	4号 体積制御タンク	開放点検	高	130M	—	11		
	4号 非再生冷却器	開放点検	高	130M	—	11		
	4号 余剰抽出冷却器	開放点検	高	130M	○	9		
	4号 再生熱交換器	外観点検	高	1C	○	14		
	4号 封水冷却器	開放点検	高	130M	—	12		
	4号 冷却材フィルタ	開放点検	高	26M	—	14		
	4 A 冷却材脱塩塔入口フィルタ	開放点検	高	39M	—	14		
	4 B 冷却材脱塩塔入口フィルタ	開放点検	高	39M	○	12		
	4 A 封水注入フィルタ	開放点検	高	39M	—	14		
	4 B 封水注入フィルタ	開放点検	高	39M	○	12		
	4号 封水ストレーナ	開放点検	高	78M	—	11		
	4 A 冷却材混床式脱塩塔	外観点検	高	1C	○	14		
	4 B 冷却材混床式脱塩塔	外観点検	高	1C	○	14		
	4号 冷却材陽イオン脱塩塔	外観点検	高	1C	○	14		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4FCV-138 4号 充てんライン流量制御弁		駆動部点検	高	52M	○	11		
		分解点検		13M	○	14		
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-85 1次系弁検査	
4FCV-140 4号 封水注入ライン流量制御弁		駆動部点検	高	52M	—	14		
		分解点検		13M	○	14		
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-85 1次系弁検査	
4RCV-190 4号 余剰抽出流量設定弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
4LCV-451 4号 抽出ライン第一止弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		39M	—	14	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		3C	—	14		
4LCV-452 4号 抽出ライン第二止弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		39M	—	14	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		3C	—	14		
4FCV-104 4号 抽出ライン圧力制御弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		13M	○	14		
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-85 1次系弁検査	
4TCV-104 4号 冷却材脱塩塔入口三方弁		駆動部点検	高	52M	—	13		
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11	GN4-85 1次系弁検査	
4RCV-102 4号 低圧抽出ライン流量設定弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11	GN4-85 1次系弁検査	
4RCV-108 4号 冷却材陽イオン脱塩塔通水流量設定弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11	GN4-85 1次系弁検査	
4LCV-121A 4号 VCT入口三方弁		駆動部点検	高	130M	—	14		
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1次系弁検査	



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4LCV-121B 4号 VCT第一出口弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	14		
4LCV-121C 4号 VCT第二出口弁		駆動部点検	高	130M	—	13		
		分解点検		130M	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	13		
4LCV-121D 4号 CHP非常用補給弁A		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	6	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	6		
4LCV-121E 4号 CHP非常用補給弁B		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	6	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	6		
4V-CS-005A 4 A 抽出オリフイス出口内隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	13		
		分解点検		130M	—	11	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-CS-005B 4 B 抽出オリフイス出口内隔離弁		駆動部点検	高	52M	○	11		
		分解点検		130M	—	10	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-CS-005C 4 C 抽出オリフイス出口内隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	12		
		分解点検		130M	—	10	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-CS-006 4号 抽出オリフイス逃がし弁		分解点検	低	130M	—	12		
		漏えい試験		10C	—	12	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	12		
4V-CS-008 4号 抽出ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-CS-022 4号 抽出ライン逃がし弁		分解点検	低	130M	—	7		
		漏えい試験		10C	—	7	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	7		
4V-CS-025 4号 冷却材脱塩塔入口逆止弁		分解点検	高	130M	○	5		
4V-CS-026A 4 A 冷却材混床式脱塩塔入口弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	6		
		機能・性能試験		10C	—	6	GN4-85 1次系弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4V-CS-026B 4号 冷却材混床式脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M	—	7			
		分解点検		130M	—	7			
		機能・性能試験		10C	—	7			GN4-85 1次系弁検査
	4V-CS-038 4号 冷却材陽イオン脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M	—	7			
		分解点検		130M	—	7			
		機能・性能試験		10C	—	7			GN4-85 1次系弁検査
	4V-CS-048 4号 冷却材脱塩塔出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	12			
	4V-CS-090 4号 抽出ラインVCT移送逆止弁	分解点検	高	130M	○	5			
	4V-CS-128 4号 VCTカバガス供給ライン逆止弁	分解点検	低	130M	○	5		GN4-87 1次系逆止弁検査	
	4V-CS-134 4号 VCT逃がし弁	分解点検	低	130M	—	11			
		滲えい試験		10C	—	11			
		機能・性能試験		10C	—	11			GN4-86 1次系安全弁検査
	4V-CS-152 4号 VCT出口逆止弁	分解点検	高	130M	○	5			
	4V-CS-162A 4号A CHPミニフローライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	7			
	4V-CS-162B 4号B CHPミニフローライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	8			
	4V-CS-162C 4号C CHPミニフローライン逆止弁	分解点検	高	130M	—	9			
	4V-CS-165A 4号A CHP出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	7			
	4V-CS-165B 4号B CHP出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	8			
	4V-CS-165C 4号C CHP出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	9			
	4V-CS-215 4号 充てん流量制御補助オリフィス切替弁	駆動部点検	高	130M	—	13			
		分解点検		130M	—	13			
		機能・性能試験		10C	—	13			GN4-85 1次系弁検査
	4V-CS-217 4号 充てんライン止弁	駆動部点検	高	130M	—	12			
		分解点検		130M	—	12			
		機能・性能試験		10C	—	12			GN4-85 1次系弁検査
		電動機分解点検		130M	—	12			
	4V-CS-220 4号 充てんライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	12			
分解点検		130M		—	12	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
電動機分解点検		130M		—	12				
4V-CS-222 4号 充てんライン隔離逆止弁	分解点検	高	130M	○	5				
4V-CS-227 4号 加圧器補助スプレイ弁	駆動部点検	高	130M	—	11				
	分解点検		130M	—	11				
	機能・性能試験		10C	—	11			GN4-85 1次系弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-CS-229 4号 加圧器補助スプレイ逆止弁	分解点検	高	130M	—	8		GN4-85 1次系弁検査
	4V-CS-233 4号 Dループ充てんライン第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	14		GN4-85 1次系弁検査
	4V-CS-235 4号 Dループ充てんライン第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	14		GN4-85 1次系弁検査
	4V-CS-236 4号 Dループ充てんライン弁	駆動部点検	高	130M	—	10		
分解点検		65M		○	11			
機能・性能試験		5C		○	10	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-CS-253 4号 封水注入流量制御補助オリフィス切替弁	駆動部点検	高	130M	—	7		
分解点検		130M		—	7			
	4V-CS-271A 4A R C P封水注入ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	11		
分解点検		130M		—	11			
機能・性能試験		10C		—	11	GN4-85 1次系弁検査		
電動機分解点検		130M		—	11			
	4V-CS-271B 4B R C P封水注入ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	12		
分解点検		130M		—	12			
機能・性能試験		10C		—	12	GN4-85 1次系弁検査		
電動機分解点検		130M		—	12			
	4V-CS-271C 4C R C P封水注入ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	13		
分解点検		130M		—	13			
機能・性能試験		10C		—	13	GN4-85 1次系弁検査		
電動機分解点検		130M		—	13			
	4V-CS-271D 4D R C P封水注入ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	14		
分解点検		130M		—	14			
機能・性能試験		10C		—	14	GN4-85 1次系弁検査		
電動機分解点検		130M		—	14			
	4V-CS-276A 4A R C P封水注入ライン第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	8		GN4-85 1次系弁検査
	4V-CS-276B 4B R C P封水注入ライン第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	9		GN4-85 1次系弁検査
	4V-CS-276C 4C R C P封水注入ライン第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	6		GN4-85 1次系弁検査
	4V-CS-276D 4D R C P封水注入ライン第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	7		GN4-85 1次系弁検査
	4V-CS-278A 4A R C P封水注入ライン第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	8		GN4-85 1次系弁検査
	4V-CS-278B 4B R C P封水注入ライン第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	9		GN4-85 1次系弁検査
	4V-CS-278C 4C R C P封水注入ライン第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	6		GN4-85 1次系弁検査
	4V-CS-278D 4D R C P封水注入ライン第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	7		GN4-85 1次系弁検査
	4V-CS-283 4号 R C Pバージ水ヘッドタンク逃がし弁	分解点検	低	130M	○	5		
漏えい試験		10C		○	5	GN4-86 1次系安全弁検査		
機能・性能試験		10C		○	5			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-CS-294A 4 A 封水戻りオリフィスバイパス弁		駆動部点検	高	130M	—	13		
		分解点検		130M	—	13		
4V-CS-294B 4 B 封水戻りオリフィスバイパス弁		駆動部点検	高	130M	—	13		
		分解点検		130M	—	13		
4V-CS-294C 4 C 封水戻りオリフィスバイパス弁		駆動部点検	高	130M	—	14		
		分解点検		130M	—	14		
4V-CS-294D 4 D 封水戻りオリフィスバイパス弁		駆動部点検	高	130M	—	14		
		分解点検		130M	—	14		
4V-CS-301 4号 余剰抽出ライン第一止弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	8		
4V-CS-302 4号 余剰抽出ライン第二止弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	8		
4V-CS-306 4号 余剰抽出冷却器出口三方弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8	GN4-85 1次系弁検査	
4V-CS-307 4号 RCP封水戻りライン逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11		
		漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-CS-310 4号 RCP封水戻りライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	11		
4V-CS-311 4号 RCP封水戻りライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	12		
4V-CS-322 4号 封水冷却器入口戻り水逃がし弁		分解点検	低	130M	—	10		
		漏えい試験		10C	—	10	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	10		
4PCV-0122A 4号 VCT水素放出ライン止弁		駆動部点検	高	130M	○	5		
		分解点検		65M	○	10		
4PCV-0122B 4号 VCT窒素放出ライン止弁		駆動部点検	高	130M	○	5		
		分解点検		65M	○	10		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査者	備考 ( )内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備)	原子炉補機冷却水系 弁 9個	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-15 原子炉補機冷却系機能検査	
	4 A 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		52M	—	13		
		機能・性能試験		4C	—	13	GN4-84 1次系ポンプ機能検査	
	4 A 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		52M	—	13		
	4 B 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		52M	—	14		
		機能・性能試験		4C	—	14	GN4-84 1次系ポンプ機能検査	
	4 B 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		52M	—	13		
	4 C 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		52M	○	11		
		機能・性能試験		4C	○	11	GN4-84 1次系ポンプ機能検査	
	4 C 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		52M	—	13		
	4 D 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		52M	—	12		
		機能・性能試験		4C	—	12	GN4-84 1次系ポンプ機能検査	
	4 D 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		52M	—	12		
	4 A 原子炉補機冷却水冷却器	簡易点検(亜鉛板取替他)	高	13M	○	14		第1.5回定検で伝熱管取替 (定期事業者検査は実施しない)
		開放点検		26M	○	14	GN4-92 1次系熱交換器検査	
非破壊試験		52M		○	12			
4 B 原子炉補機冷却水冷却器	簡易点検(亜鉛板取替他)	高	13M	○	14		第1.5回定検で伝熱管取替 (定期事業者検査は実施しない)	
	開放点検		26M	○	13	GN4-92 1次系熱交換器検査		
	非破壊試験		52M	○	13			
原子炉補機冷却水サージタンク	開放点検	高	65M	○	11			
4LCV-1200 4号 C C Wサージタンク水位制御弁	駆動部点検	高	130M	—	10			
	分解点検		130M	—	10			
4V-CCT-101 原子炉補機冷却水サージタンク真空逃がし弁	分解点検	低	130M	—	10	GN4-88 1次系真空破壊弁検査		
	外観点検		10C	—	10			
4V-CC-010 4号 C C Wサージタンク逃がし弁	分解点検	低	195M	○	11			
	漏えい試験		15C	○	11	GN4-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験		15C	○	11			
4V-CC-014A 4号 C C Wサージライン止弁A	分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加	
4V-CC-014B 4号 C C Wサージライン止弁B	分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-CC-024 4号 C C Wサージタンク補給ライン連絡弁	分解点検	高	195M	○	—		第14回定検より追加
	4V-CC-025 4号 C C WサージタンクB側補給ライン切替弁	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
	4V-CC-026 4号 C C WサージタンクA側補給ライン切替弁	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
	4V-CC-042 4 C C C W戻り母管止弁	駆動部点検	高	195M	—	11		GN4-85 1次系弁検査
分解点検		195M		—	11			
電動機分解点検		130M		—	10			
	4V-CC-043A 4 A C C C W戻り母管連絡弁	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
	4V-CC-043B 4 B C C C W戻り母管連絡弁	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
	4V-CC-052A 4 A C C W P 出口逆止弁	分解点検	高	195M	—	1		
	4V-CC-052B 4 B C C W P 出口逆止弁	分解点検	高	195M	—	2		
	4V-CC-052C 4 C C C W P 出口逆止弁	分解点検	高	195M	—	11		
	4V-CC-052D 4 D C C W P 出口逆止弁	分解点検	高	195M	—	13		
	4RCV-056 4号 C C Wサージタンク逃がしライン止弁	駆動部点検	低	130M	—	10		GN4-85 1次系弁検査
分解点検		195M		—	10			
機能・性能試験		15C		—	10			
	4V-CC-056A 4 A C C C W供給母管連絡弁	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
	4V-CC-056B 4 B C C C W供給母管連絡弁	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
	4V-CC-057A 4号 C C W P 出口連絡弁A	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
	4V-CC-057B 4号 C C W P 出口連絡弁B	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
	4V-CC-058 4 C C C W供給母管止弁	駆動部点検	高	195M	—	11		GN4-85 1次系弁検査
分解点検		195M		—	11			
電動機分解点検		130M		—	10			
	4V-CC-063A 4 A C C W P 出口弁	駆動部点検	高	195M	—	5		GN4-85 1次系弁検査
分解点検		195M		—	5			
機能・性能試験		15C		—	5			
電動機分解点検		130M		○	5			
	4V-CC-063B 4 B C C W P 出口弁	駆動部点検	高	195M	—	5		GN4-85 1次系弁検査
分解点検		195M		—	5			
機能・性能試験		15C		—	5			
電動機分解点検		130M		○	5			
	4V-CC-063C 4 C C C W P 出口弁	駆動部点検	高	195M	—	4		GN4-85 1次系弁検査
分解点検		195M		—	4			
機能・性能試験		15C		—	4			
電動機分解点検		130M		—	14			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
4V-CC-063D 4D C C W P 出口弁		駆動部点検	高	195M	—	4			
		分解点検		195M	—	4			
		機能・性能試験		15C	—	4			GN4-85 1次系弁検査
		電動機分解点検		130M	—	14			
4V-CC-064A 4A C C W 冷却器C C W 入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-064B 4B C C W 冷却器C C W 入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-065 4号 C C W 戻り母管逃がし弁		分解点検	低	195M	—	11			
		漏えい試験		15C	—	11			GN4-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		15C	—	11			
4V-CC-083 4号 AM用窒素マニホールド出口弁		分解点検	高	195M	—	10			
4V-CC-082 4号 AM用窒素マニホールド出口ライン安全弁		分解点検	高	195M	—	7			
		漏えい試験		15C	—	7			GN4-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		15C	—	7			
4V-CC-106A 4A B C C W P モータC C W 出口止弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-107A 4A R H R 冷却器C C W 入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-107B 4B R H R 冷却器C C W 入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-114A 4A R H R 冷却器C C W 第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	5			
		分解点検		195M	—	5			
		機能・性能試験		15C	—	5			GN4-85 1次系弁検査
		電動機分解点検		130M	○	5			
4V-CC-114B 4B R H R 冷却器C C W 第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	10			
		分解点検		195M	—	10			
		機能・性能試験		15C	—	10			GN4-85 1次系弁検査
		電動機分解点検		130M	—	10			
4V-CC-118B 4B S I P モータC C W 出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-119B 4B S I P 油冷却器C C W 出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-120B 4B S I P C C W 出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-124A 4A R H R P、ポンプ、モータC C W 入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-127A 4A S I P、ポンプ、モータC C W 出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-127B 4B S I P、ポンプ、モータC C W 出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-133 4号 AM用4A R H R Pポンプ、モータC C W 第1入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-134 4号 AM用4A R H R Pポンプ、モータC C W 第2入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-135 4号 AM用4A R H R Pポンプ、モータC C W 第1出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-136 4号 AM用4A R H R Pポンプ、モータC C W 第2出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
4V-CC-137 4号 AM用4A R H R Pポンプ、モータC C W 出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-CC-149A 4 A S F P 冷却器 C C W 第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	7		
		分解点検		195M	—	7		
		機能・性能試験		15C	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
4V-CC-149B 4 B S F P 冷却器 C C W 第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	10		
		分解点検		195M	—	10		
		機能・性能試験		15C	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	10		
4V-CC-165 4号 封水冷却器 C C W 出口止弁 A		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
4V-CC-178A 4 A C/V スプレイ冷却器 C C W 第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	7		
		分解点検		195M	—	7		
		機能・性能試験		15C	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
4V-CC-178B 4 B C/V スプレイ冷却器 C C W 第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	10		
		分解点検		195M	—	10		
		機能・性能試験		15C	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	10		
4V-CC-189A 4 A B C/V 再循環ユニット C C W 入口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	7		
		分解点検		195M	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
4V-CC-189B 4 C D C/V 再循環ユニット C C W 入口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	3		
		分解点検		195M	—	3	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
4V-CC-195A 4 A B C/V 再循環ユニット C C W 入口ライン逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11		
		漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-CC-195B 4 C D C/V 再循環ユニット C C W 入口ライン逃がし弁		分解点検	低	130M	—	12		
		漏えい試験		10C	—	12	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	12		



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-CC-198A 4 A C/V再循環ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	1		
		分解点検		195M	—	1	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-CC-198B 4 B C/V再循環ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	1		
		分解点検		195M	—	1	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-CC-198C 4 C C/V再循環ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	10		
		分解点検		195M	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	10		
4V-CC-198D 4 D C/V再循環ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	10		
		分解点検		195M	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	10		
4V-CC-207A 4 A 制御用空気圧縮装置CCW出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
4V-CC-207B 4 B 制御用空気圧縮装置CCW出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
4V-CC-210 4号 AM用代替再循環ポンプCCW入口弁		駆動部点検	高	130M	○	8		
		分解点検		130M	○	5		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CC-211 4号 AM用代替再循環ポンプCCW出口弁		駆動部点検	高	130M	○	8		
		分解点検		130M	○	5		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CC-212 4号 AM用代替再循環ポンプCCW出口逆止弁		分解点検	高	130M	○	5		
4V-CC-213 4号 AM用代替再循環ポンプCCW入口ライン逃がし弁		分解点検	高	130M	○	5		
		漏えい試験		10C	○	5	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	5		
4V-CC-222B 4 B CHP CCW入口ライン第2切替弁B		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
4V-CC-223A 4 A CHP ポンプ、モータCCW出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
4V-CC-223C 4 C CHP ポンプ、モータCCW出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
4V-CC-229B 4 B CHPモータCCW入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
4V-CC-235B 4 B CHP CCW出口ライン第1切替弁B		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
4V-CC-348 4号 CRDM冷却ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	9		
		分解点検		195M	—	9	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-CC-401 4号 RCP、余剰抽出冷却器CCW入口ライン止弁		駆動部点検	高	195M	—	8		
		分解点検		195M	—	5	GN4-46 原子燃料格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
4V-CC-403 4号 RCP, 余剰抽出冷却器CCW入口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	3			
		分解点検		195M	—	3			GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
		電動機分解点検		130M	—	13			
4V-CC-405 4号 RCP, 余剰抽出冷却器CCW入口ライン隔離逆止弁		分解点検	高	130M	○	5			
4FCV-1319 4A RCP熱遮へい装置CCW出口流量制御弁		駆動部点検	高	130M	—	8			
		分解点検		130M	—	8			
4FCV-1320 4B RCP熱遮へい装置CCW出口流量制御弁		駆動部点検	高	130M	—	8			
		分解点検		130M	—	8			
4FCV-1321 4C RCP熱遮へい装置CCW出口流量制御弁		駆動部点検	高	130M	—	7			
		分解点検		130M	—	7			
4FCV-1322 4D RCP熱遮へい装置CCW出口流量制御弁		駆動部点検	高	130M	—	7			
		分解点検		130M	—	7			
4V-CC-421A 4A RCP熱遮へい装置CCW逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11			
		漏えい試験		10C	—	11			GN4-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		10C	—	11			
4V-CC-421B 4B RCP熱遮へい装置CCW逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11			
		漏えい試験		10C	—	11			GN4-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		10C	—	11			
4V-CC-421C 4C RCP熱遮へい装置CCW逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11			
		漏えい試験		10C	—	11			GN4-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		10C	—	11			
4V-CC-421D 4D RCP熱遮へい装置CCW逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11			
		漏えい試験		10C	—	11			GN4-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		10C	—	11			
4V-CC-425 4号 RCP, 余剰抽出冷却器CCW出口ライン逃がし弁		分解点検	低	130M	—	11			
		漏えい試験		10C	—	11			GN4-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		10C	—	11			
4V-CC-427 4号 RCP, 余剰抽出冷却器CCW出口ライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	14			
		分解点検		130M	—	14			GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
		電動機分解点検		130M	—	9			
4V-CC-429 4号 RCP, 余剰抽出冷却器CCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195M	—	7			
		分解点検		195M	—	7			GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
		電動機分解点検		130M	—	7			
4V-PS-002B 4B・CHPスタフィンボックス冷却水入口弁(護手側)		分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加	
4V-PS-006B 4B・CHPスタフィンボックス冷却水入口弁(軸端側)		分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却海水設備)	原子炉補機冷却海水系 弁 4個	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-15 原子炉補機冷却系機能検査	
	4 A 海水ポンプ	簡易点検(グランドパッキン取替他)	高	13M	—	14		第1.5回定検で取替
		分解点検		26M	—	14	GN4-121 2次系ポンプ分解検査	
		外観点検		4C	—	12		保温材施工附属配管
		機能・性能試験		2C	—	14	GN4-122 2次系ポンプ機能検査	第1.5回定検で取替
	4 A 海水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		普通点検(軸受点検)		26M	○	14		
		分解点検		52M	○	12		
	4 B 海水ポンプ	簡易点検(グランドパッキン取替他)	高	13M	—	14		第1.5回定検で取替
		分解点検		26M	—	14	GN4-121 2次系ポンプ分解検査	
		外観点検		4C	—	12		保温材施工附属配管
		機能・性能試験		2C	—	14	GN4-122 2次系ポンプ機能検査	第1.5回定検で取替
	4 B 海水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		普通点検(軸受点検)		26M	○	13		
		分解点検		52M	—	13		
	4 C 海水ポンプ	簡易点検(グランドパッキン取替他)	高	13M	—	14		第1.5回定検で取替
		分解点検		26M	—	13	GN4-121 2次系ポンプ分解検査	
		外観点検		4C	—	13		保温材施工附属配管
		機能・性能試験		2C	—	13	GN4-122 2次系ポンプ機能検査	第1.5回定検で取替
	4 C 海水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		普通点検(軸受点検)		26M	○	13		
		分解点検		52M	—	13		
	4 D 海水ポンプ	簡易点検(グランドパッキン取替他)	高	13M	—	14		第1.5回定検で取替
		分解点検		26M	—	13	GN4-121 2次系ポンプ分解検査	
		外観点検		4C	—	13		保温材施工附属配管
		機能・性能試験		2C	—	13	GN4-122 2次系ポンプ機能検査	第1.5回定検で取替
	4 D 海水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		普通点検(軸受点検)		26M	○	13		
分解点検		52M		○	12			
4V-SW-502A 4 A S W P 出口逆止弁	分解点検	高	65M	—	13			
4V-SW-502B 4 B S W P 出口逆止弁	分解点検	高	65M	—	13			
4V-SW-502C 4 C S W P 出口逆止弁	分解点検	高	65M	—	12			
4V-SW-502D 4 D S W P 出口逆止弁	分解点検	高	65M	—	12			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 (原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを 監視する装置)	4S-SW-507A 4 A 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	14		
	4S-SW-507B 4 B 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	14		
	4S-SW-507C 4 C 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	14		
	4S-SW-507D 4 D 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	14		
	4V-SW-509A 4 A S W P 出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M	—	14		
	4V-SW-509B 4 B S W P 出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M	○	10		
	4V-SW-509C 4 C S W P 出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M	—	14		
	4V-SW-509D 4 D S W P 出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M	○	10		
	4V-SW-590A 4号 海水供給母管連絡弁A	駆動部点検	高	130M	—	9	GN4-123 2次系弁検査	
		分解点検		65M	—	14		
		電動機分解点検		130M	—	8		
	4V-SW-590B 4号 海水供給母管連絡弁B	駆動部点検	高	130M	—	9	GN4-123 2次系弁検査	
		分解点検		65M	—	14		
		電動機分解点検		130M	—	9		
	4V-SW-570A 4 A C C W 冷却器海水第二出口止弁	駆動部点検	高	130M	—	12	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	9		
		電動機分解点検		130M	—	9		
	4V-SW-570B 4 B C C W 冷却器海水第二出口止弁	駆動部点検	高	130M	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	10		
		電動機分解点検		130M	—	7		
海水配管(屋外)	開放点検	高	39M	○	14			
海水配管(屋内)	開放点検	高	65M	—	14			
原子炉冷却系統施設 (原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを 監視する装置)	格納容器サンプ水位上昇率測定装置、格納容器内凝縮液量測定装置及び炉 内計装用シンブル配管室漏えい検出装置	機能・性能試験	低	1C	○	14	GN4-79 格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量 測定装置漏えい検出器機能検査	
		機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-30 制御棒駆動系機能検査 GN4-107 制御棒クラスタ動作検査	
計測制御系統施設 (制御材)	1. 停止グループ制御棒クラスタ 24本 2. 制御グループ制御棒クラスタ 29本	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-30 制御棒駆動系機能検査 GN4-107 制御棒クラスタ動作検査	
	1. 制御棒クラスタ 2. バーナブルボイズン 3. 2次中性子源 4. プラキングデバイス	外観点検	高	1C	○	14	GN4-108 制御棒クラスタ検査	※:炉心設計による

1式※

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
計測制御系統施設 (制御棒駆動装置)	制御棒位置指示装置	特性試験	低	13M	○	14	GN4-109 制御棒位置指示装置設定値検査	
	4 A MGセット用発電機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		普通点検(軸受点検)		39M	○	12		
		分解点検		65M	○	10		
	4 B MGセット用発電機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		普通点検(軸受点検)		39M	—	13		
		分解点検		65M	—	13		
	4 A MGセット用電動機	分解点検	低	39M	○	12		(振動診断:1ヶ月)
	4 B MGセット用電動機	分解点検	低	39M	—	13		(振動診断:1ヶ月)
	計測制御系統施設 (ほう酸注入機能を有する設備)	4 A ほう酸ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14	
分解点検			39M		—	13	GN4-31 ほう酸ポンプ分解検査	
機能・性能試験			1C		○	14	GN4-56 ほう酸ポンプ機能検査	
4 A ほう酸ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	—	13		(振動診断:1ヶ月)
4 B ほう酸ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		39M	—	14	GN4-31 ほう酸ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-56 ほう酸ポンプ機能検査	
4 B ほう酸ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	—	14		(振動診断:1ヶ月)
4 A ほう酸タンク		開放点検	高	130M	—	11		
4 B ほう酸タンク		開放点検	高	130M	—	11		
4号 ほう酸フィルタ		開放点検	高	65M	—	12		
4FCV-220A 4号 ほう酸補給ライン流量制御弁		駆動部点検	低	130M	—	14		GN4-85 1次系弁検査
		分解点検		130M	—	14		
		機能・性能試験		10C	—	14		
4FCV-220B 4号 ほう酸混合器V C T出口側補給弁		駆動部点検	低	130M	—	13		GN4-85 1次系弁検査
		分解点検		130M	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13		
4FCV-223A 4号 1次系純水補給ライン流量制御弁		駆動部点検	高	130M	—	11		GN4-85 1次系弁検査
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
4RCV-223B 4号 ほう酸混合器V C T入口側補給弁		駆動部点検	低	130M	—	13		GN4-85 1次系弁検査
		分解点検		39M	○	12		
		機能・性能試験		3C	○	12		
4V-CS-462A 4 A B A T入口弁		駆動部点検	低	130M	—	14		GN4-85 1次系弁検査
	分解点検	130M		—	14			
	機能・性能試験	10C		—	14			
4V-CS-462B 4 B B A T入口弁	駆動部点検	低	130M	—	13		GN4-85 1次系弁検査	
	分解点検		130M	—	13			
	機能・性能試験		10C	—	13			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-CS-473 4号 ほう酸補給タンク出口逆止弁	4V-CS-478A 4 A B A T 出口弁	駆動部点検	高	130M	—	8	GN4-87 1次系逆止弁検査	
		分解点検		130M	—	14		
		機能・性能試験		10C	—	14	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-478B 4 B B A T 出口弁	駆動部点検	高	130M	○	5		
		分解点検		130M	○	5		
		機能・性能試験		10C	○	5	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-486A ほう酸ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	10		
	4V-CS-486B ほう酸ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M	—	10		
	4V-CS-500A 4 A B A T 循環弁	駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-CS-500B 4 B B A T 循環弁	駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1次系弁検査	
	4V-CST-501A 4 A ほう酸タンク真空逃がし弁	分解点検	低	130M	—	10	GN4-88 1次系真空破壊弁検査	
		外観点検		10C	—	10		
	4V-CST-501B 4 B ほう酸タンク真空逃がし弁	分解点検	低	130M	—	10	GN4-88 1次系真空破壊弁検査	
		外観点検		10C	—	10		
	4V-CS-502 4号 B A T 窒素供給ライン逆止弁	分解点検	低	130M	—	6	GN4-87 1次系逆止弁検査	
	4V-CS-505A 4 A B A T 逃がし弁	分解点検	低	130M	—	6		
漏えい試験		10C		—	6	GN4-86 1次系安全弁検査		
機能・性能試験		10C		—	6			
4V-CS-505B 4 B B A T 逃がし弁	分解点検	低	130M	—	11			
	漏えい試験		10C	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	11			
4V-CS-526 4号 緊急ほう酸注入弁	駆動部点検	高	130M	—	14			
	分解点検		130M	—	14			
	機能・性能試験		10C	—	14	GN4-85 1次系弁検査		
	電動機分解点検		130M	—	14			
B 1次系純水タンク	開放点検	低	130M	—	13			
V-PMT-102B B 1次系純水タンク真空逃がし弁	分解点検	低	130M	—	11	GN4-88 1次系真空破壊弁検査		
V-PMT-106B B 1次系純水タンク真空逃がし弁	分解点検	低	130M	—	10	GN4-88 1次系真空破壊弁検査		
V-PM-505B B P M T 出口弁	駆動部点検	低	130M	—	8			
	分解点検		130M	—	8			
	機能・性能試験		10C	—	8	GN4-85 1次系弁検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	V-PM-517B B PMT ミニフロー切替弁	駆動部点検	低	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8		
	V-PM-545B 脱気水B PMT バイパス逆止弁	分解点検	低	130M	—	10	GN4-87 1次系逆止弁検査	
計測制御系統施設 (制御用空気設備)	1. 制御用空気圧縮機 2台 2. 所内用空気4号調速給弁 1台 3. 制御用空気供給母管速給弁 2台 4. 制御用空気格納容器内供給元弁 2台	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-32 制御用空気圧縮系機能検査	
	4 A 制御用空気圧縮機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		26M	—	14		
	4 A 制御用空気圧縮機用電動機	分解点検	高	26M	—	14		(振動診断・切替毎)
	4 B 制御用空気圧縮機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		26M	○	13		
	4 B 制御用空気圧縮機用電動機	分解点検	高	26M	○	13		(振動診断・切替毎)
	4 A 制御用空気圧縮機アフタークーラ	開放点検	高	52M	—	12		
	4 B 制御用空気圧縮機アフタークーラ	開放点検	高	52M	—	14		
	4 A 制御用空気圧縮機インタークーラ	開放点検	高	52M	—	12		
	4 B 制御用空気圧縮機インタークーラ	開放点検	高	52M	—	14		
	4 A 制御用空気だめ	開放点検	高	78M	○	11		
	4 B 制御用空気だめ	開放点検	高	78M	—	14		
	4 A 制御用空気除湿装置 A 1 吸着塔	開放点検	高	26M	—	14		
	4 A 制御用空気除湿装置 A 2 吸着塔	開放点検	高	26M	○	13		
	4 B 制御用空気除湿装置 B 1 吸着塔	開放点検	高	26M	—	14		
	4 B 制御用空気除湿装置 B 2 吸着塔	開放点検	高	26M	○	13		
	4 A 制御用空気除湿装置送風機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		
		分解点検		52M	—	13		
	4 A 制御用空気除湿装置送風機用電動機	分解点検	高	52M	—	13		
	4 B 制御用空気除湿装置送風機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		
		分解点検		52M	—	12		
	4 B 制御用空気除湿装置送風機用電動機	分解点検	高	52M	—	12		
	4V-1A-501A 4 A 制御用空気供給母管連絡弁	駆動部点検	高	130M	—	12	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	12		
		電動機分解点検		130M	—	9		
	4V-1A-501B 4 B 制御用空気供給母管連絡弁	駆動部点検	高	130M	—	12	GN4-85 1次系弁検査	
分解点検		130M		—	12			
電動機分解点検		130M		—	8			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-1A-505A 4 A 制御用空気主蒸気遮がし弁等供給弁弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
		機能・性能試験		10C	—	9	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-1A-505B 4 D 制御用空気主蒸気遮がし弁等供給弁弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-1A-505A 4 A 制御用空気供給ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	14		
		分解点検		130M	—	14	GN4-86 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	14		
4V-1A-505B 4 B 制御用空気供給ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	5		
		分解点検		130M	○	5	GN4-86 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	○	5		
4V-1A-510A 4 A 制御用空気格納容器内供給弁弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-1A-510B 4 D 制御用空気格納容器内供給弁弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-1C-003A 4 A インタークーラ安全弁		分解点検	低	130M	—	14		
		漏えい試験		10C	—	14	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	14		
4V-1C-003B 4 B インタークーラ安全弁		分解点検	低	130M	—	13		
		漏えい試験		10C	—	13	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	13		
4V-1C-005A 4 A ドレンセパレータ安全弁		分解点検	低	130M	—	9		
		漏えい試験		10C	—	9	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	9		
4V-1C-005B 4 B ドレンセパレータ安全弁		分解点検	低	130M	—	10		
		漏えい試験		10C	—	10	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	10		
4V-1C-014A 4 A 制御用空気ため安全弁		分解点検	低	130M	—	13		
		漏えい試験		10C	—	13	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	13		
4V-1C-014B 4 B 制御用空気ため安全弁		分解点検	低	130M	—	14		
		漏えい試験		10C	—	14	GN4-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	14		



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4V-1C-022A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 1 吸着塔入口弁	分解点検	高	26M	—	14			
	4V-1C-022B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 1 吸着塔入口弁	分解点検	高	26M	○	13			
	4V-1C-023A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 2 吸着塔入口弁	分解点検	高	26M	—	14			
	4V-1C-023B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 2 吸着塔入口弁	分解点検	高	26M	○	13			
	4V-1C-024A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 1 吸着塔再生空気出口弁	分解点検	高	26M	—	14			
	4V-1C-024B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 1 吸着塔再生空気出口弁	分解点検	高	26M	○	13			
	4V-1C-025A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 2 吸着塔再生空気出口弁	分解点検	高	26M	—	14			
	4V-1C-025B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 2 吸着塔再生空気出口弁	分解点検	高	26M	○	13			
	4V-1C-032A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 1 吸着塔再生空気入口弁	分解点検	高	26M	—	14			
	4V-1C-032B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 1 吸着塔再生空気入口弁	分解点検	高	26M	○	13			
	4V-1C-033A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 2 吸着塔再生空気入口弁	分解点検	高	26M	—	14			
	4V-1C-033B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 2 吸着塔再生空気入口弁	分解点検	高	26M	○	13			
	4V-1C-037A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 1 吸着塔出口逆止弁	分解点検	高	26M	—	14			
	4V-1C-037B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 1 吸着塔出口逆止弁	分解点検	高	26M	○	13			
	4V-1C-038A 4 A 制御用空気除湿装置 4 A 2 吸着塔出口逆止弁	分解点検	高	26M	—	14			
	4V-1C-038B 4 B 制御用空気除湿装置 4 B 2 吸着塔出口逆止弁	分解点検	高	26M	○	13			
	4V-1C-093A 4 A 制御用空気除湿装置冷却再生空気入口弁	分解点検	高	26M	—	14			
	4V-1C-093B 4 B 制御用空気除湿装置冷却再生空気入口弁	分解点検	高	26M	○	13			
	計測制御系統施設 (その他設備)	原子炉トリップ遮断器盤	機能・性能試験	高	1C	○	14		
		原子炉トリップ遮断器 (RTA-1)	機能・性能試験	高	1C	○	14		
			蓄勢部点検		78M	—	11		
		原子炉トリップ遮断器 (RTA-2)	機能・性能試験	高	1C	○	14		
			蓄勢部点検		78M	—	11		
		原子炉トリップ遮断器 (RTB-1)	機能・性能試験	高	1C	○	14		
			蓄勢部点検		78M	—	11		
		原子炉トリップ遮断器 (RTB-2)	機能・性能試験	高	1C	○	14		
			蓄勢部点検		78M	—	11		
		原子炉トリップ遮断器 (RTC-1)	機能・性能試験	高	1C	○	14		
			蓄勢部点検		78M	—	11		
		原子炉トリップ遮断器 (RTC-2)	機能・性能試験	高	1C	○	14		
			蓄勢部点検		78M	—	11		
	原子炉トリップ遮断器 (RTD-1)	機能・性能試験	高	1C	○	14			
蓄勢部点検		78M		—	11				
原子炉トリップ遮断器 (RTD-2)	機能・性能試験	高	1C	○	14				
	蓄勢部点検		78M	—	11				
1. 原子炉保護系ロジック回路 29回路 (原子炉トリップに係るもの) 2. 安全防護系ロジック回路 26回路	機能・性能試験	高	1C	○	14		GN4-33 安全保護系機能検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	1. 保安規定に定める原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器除塵等を行うためのすべての伝送器、設定器及び保護継電器 (1) 1次冷却材等計測装置 伝送器 68個 設定器(保護継電器含む) 146個 (2) 核計測装置 設定器 20個 2. 重要な指示計器 (1) 1次冷却材等計測装置 現場指示計 11個 中央制御室指示計 20個 (2) 核計測装置 中央制御室指示計 8個	特性試験	高	13M	○	14	GN4-34 安全保護系設定値確認検査	
	1. パーミッシュロジック回路 (原子炉保護系ロジック関連) 5回路 2. パーミッシュロジック回路 (安全防護系ロジック関連) 1回路	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-111 安全保護系機能検査(パーミッシュロジック検査)	
	事故時監視計器 指示計 35個	特性試験	高	13M	○	14	GN4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	事故時試料採取設備 ・格納容器雰囲気ガス試料採取設備 1台	機能・性能試験	低	1C	○	14		
	1. 制御棒制御系 2. 加圧器水位制御系 3. 加圧器圧力制御系 4. 蒸気発生器水位制御系	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-72 計測制御系機能検査	一部定検起動後
	1次系及び2次系計測制御装置	特性試験	高	13M	○	14	GN4-73 計測制御系監視機能検査	
	原子炉、タービン及び発電機相互の停止インターロック機構	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-113 総合インターロック検査	
	炉外核計測装置 1. 中性子濃縮度計測装置 2台 2. 中間領域計測装置 2台 3. 出力領域計測装置 4台	特性試験	高	13M	○	14	GN4-106 核計装設備検査	一部定検起動後
	炉内核計装装置 1式	機能・性能試験	低	1C	○	14	GN4-106 核計装設備検査	
	原子炉安全保護計装盤 1式	特性試験	高	13M	○	14		
	原子炉安全保護シーケンス盤 1式	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	原子炉安全保護ロジック盤 1式	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	炉外核計装保護盤 1式	特性試験	高	13M	○	14		
	6. 6 kV非常用母線電圧保護継電器 1式	特性試験	高	13M	○	14		
	1次冷却材ポンプ電源監視盤 1式	特性試験	高	13M	○	14		
	事故時放射線監視盤 1式	特性試験	高	13M	○	14		
	制御用空気圧縮機制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	14		
	制御用空気除湿装置制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	14		
	計装電源盤(後備電源盤・切替盤・分電盤含む) 1式	特性試験他	高	13M	○	14		
	ディーゼル発電機制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	14		
	中央制御室外原子炉停止盤 1式	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	中央制御室外換気空調盤 1式	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	主盤 1式	外観点検	高	1C	○	14		
	原子炉補助盤 1式	外観点検	高	1C	○	14		
	原子炉関連盤 1式	外観点検	高	1C	○	14		
	タービン発電機補助盤 1式	外観点検	高	1C	○	14		
	所内盤 1式	外観点検	高	1C	○	14		
	空調用冷凍機制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	14		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査者	備考 ( )内は適用する設備診断技術
	電気ベネトレーション 1式	外観点検	高	1C	○	14		
	AM設備制御盤 1式	特性試験	高	13M	○	14		
	その他設備 1式	特性試験	高	13M	○	14		
	運転指令設備(ページング装置)(3,4号機共用)	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	緊急時運転パラメータ伝送システム(SPDS)(3,4号機共用)	機能・性能試験	高	1C	○	14		定検停止中又はプラント運転中
計測制御施設 (発電用原子炉の運転を管理するための制御装置)	中央制御室外原子炉停止盤補機操作回路 27回路	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-74 原子炉の停止制御回路健全性確認検査	
	周辺監視カメラ他(3,4号機共用) 4台	機能・性能試験	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備)	4号 加圧器逃がしタンク	開放点検	低	39M	—	13		
	4号 格納容器冷却材ドレンタンク	開放点検	低	39M	○	12		
	4号 格納容器サンプ	外観点検	低	1C	○	14		
	4号 補助建屋サンプタンク	開放点検	低	3Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 補助建屋サンプフィルタ	開放点検	低	10Y	○	2012年度		プラント運転中
	4A 格納容器サンプポンプ	分解点検	低	39M	—	14		
		機能・性能試験		3C	—	14	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4A 格納容器サンプポンプ用電動機	分解点検	低	39M	—	14		
		機能・性能試験		3C	—	14	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4B 格納容器サンプポンプ	分解点検	低	39M	○	12		
		機能・性能試験		3C	○	12	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4B 格納容器サンプポンプ用電動機	分解点検	低	39M	○	12		
		機能・性能試験		3C	○	12	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4A 補助建屋サンプポンプ	分解点検	低	6Y	○	2016年度		
		機能・性能試験		6F	○	2016年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
	4A 補助建屋サンプポンプ用電動機	分解点検	低	6Y	○	2016年度		
		機能・性能試験		6F	○	2016年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
	4B 補助建屋サンプポンプ	分解点検	低	6Y	○	2017年度		
		機能・性能試験		6F	○	2017年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
	4B 補助建屋サンプポンプ用電動機	分解点検	低	6Y	○	2017年度		
		機能・性能試験		6F	○	2017年度	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
	4A 格納容器冷却材ドレンポンプ	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		
		分解点検		78M	—	12		
		機能・性能試験		6C	—	12	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4A 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機	分解点検	低	39M	○	12		
		機能・性能試験		3C	○	12	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4B 格納容器冷却材ドレンポンプ	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		
分解点検		78M		○	11			
機能・性能試験		6C		○	11	GN4-97 液体廃棄物処理系設備検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査者	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4 B 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機		分解点検	低	39M	○	12		
		機能・性能試験		3C	○	12		
A 洗浄排水モニタポンプ		簡易点検(油入替他)	低	1Y	○	2021年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2018年度		
		機能・性能試験		6F	—	2018年度		
A 洗浄排水モニタポンプ用電動機		分解点検	低	6Y	—	2018年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2018年度		
B 洗浄排水モニタポンプ		簡易点検(油入替他)	低	1Y	○	2021年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2019年度		
		機能・性能試験		6F	—	2019年度		
B 洗浄排水モニタポンプ用電動機		分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2019年度		
洗浄排水濃縮液移送ポンプ		分解点検	低	6Y	○	2017年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	○	2017年度		
雑固体溶解処理建屋床ドレンサンプタンク		開放点検	低	5Y	○	2018年度		プラント運転中
雑固体溶解処理建屋洗浄排水サンプタンク		開放点検	低	5Y	○	2017年度		プラント運転中
雑固体溶解処理建屋床ドレン送水ポンプ		分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2019年度		
雑固体溶解処理建屋床ドレン送水ポンプ用電動機		分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2019年度		
雑固体溶解処理建屋洗浄排水送水ポンプ		分解点検	低	6Y	—	2018年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2018年度		
雑固体溶解処理建屋洗浄排水送水ポンプ用電動機		分解点検	低	6Y	—	2018年度		プラント運転中
		機能・性能試験		6F	—	2018年度		
4V-WL-088 4号 CVD T G. Aライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		65M	—	12		
4V-WL-089 4号 CVD T G. Aライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		65M	—	12		
4V-WL-093 4号 CVD T ベントライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		65M	—	13		
4V-WL-094 4号 CVD T ベントライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		65M	—	13		
4V-WL-098 4号 CVD T 窒素供給ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		65M	—	14		
4V-WL-143 4号 C/Vサンプポンプ出口ライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
4V-WL-144 4号 C/Vサンポンプ出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	6			
		分解点検		130M	—	6			GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
4LCV-1000 4号 C/V冷却材ドレンポンプ出口ライン内隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	13			
		分解点検		130M	○	5			GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
4V-WL-043 4号 C/V冷却材ドレンポンプ出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	5			
		分解点検		130M	○	5			GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
4V-WL-008 4号 CVD T 逃がし弁		分解点検	低	130M	—	13			
		漏えい試験		10C	—	13			GN4-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		10C	—	13			
4V-WL-095 4号 CVD T 窒素供給ライン逆止弁		分解点検	低	130M	—	10		GN4-87 1次系逆止弁検査	
4V-WL-152 4号 凝縮液量測定装置脱塩水逆止弁		分解点検	低	130M	—	7		GN4-87 1次系逆止弁検査	
洗浄排水処理装置 1式		分解・開放点検	低	3Y~10Y	○	2022年度		プラント運転中	
A 洗浄排水モニタタンク		開放点検	低	10Y	—	2019年度		プラント運転中	
B 洗浄排水モニタタンク		開放点検	低	10Y	—	2020年度		プラント運転中	
洗浄排水濃縮液タンク		開放点検	低	10Y	—	2022年度		プラント運転中	
洗浄排水濃縮廃液移送容器		開放点検	低	10Y	○	2013年度		プラント運転中	
V-WF-332 洗浄排水処理装置コンデンサ安全弁		分解点検	低	10Y	—	2016年度		GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10F	—	2016年度			
		機能・性能試験		10F	—	2016年度			
V-WL-750 洗浄排水濃縮液タンク安全弁		分解点検	低	10Y	—	2015年度		GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10F	—	2015年度			
		機能・性能試験		10F	—	2015年度			
V-WF-306 洗浄排水処理装置薬品注入ライン逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度		GN4-87 1次系逆止弁検査	
V-WF-325 洗浄排水処理装置蒸発器洗浄水入口逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度		GN4-87 1次系逆止弁検査	
V-WF-326 洗浄排水処理装置蒸発器上部洗浄水入口逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度		GN4-87 1次系逆止弁検査	
V-WF-328 洗浄排水処理装置特留塔洗浄水入口逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度		GN4-87 1次系逆止弁検査	
V-WF-334 洗浄排水処理装置窒素供給逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度		GN4-87 1次系逆止弁検査	
V-WL-741 洗浄排水濃縮液タンク窒素供給逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度		GN4-87 1次系逆止弁検査	
V-WL-753 洗浄排水濃縮液移送ポンプ入口ライン洗浄逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度		GN4-87 1次系逆止弁検査	
V-WL-768 洗浄排水濃縮液移送ポンプ出口ライン洗浄逆止弁		分解点検	低	10Y	—	2017年度		GN4-87 1次系逆止弁検査	
雑固体溶解処理設備		機能・性能試験	低	1C	○	14		GN4-118 固体廃棄物処理系溶解炉運転性能検査	
雑固体溶解処理設備 1式		開放点検	低	2Y	○	2021年度		プラント運転中	
V-WM-200 溶解貯逃がし弁		分解点検	低	4Y	—	2020年度		GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		4F	—	2020年度			
		機能・性能試験		4F	—	2020年度			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
	V001A ドレンセパレータ A安全弁	分解点検	低	4Y	—	2020年度	GN4-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		4F	—	2020年度		
		機能・性能試験		4F	—	2020年度		
		外観点検		4F	—	2020年度		
	V001B ドレンセパレータ B安全弁	分解点検	低	4Y	—	2020年度	GN4-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		4F	—	2020年度		
		機能・性能試験		4F	—	2020年度		
		外観点検		4F	—	2020年度		
	V008 レシーバタンク安全弁	分解点検	低	4Y	—	2020年度	GN4-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		4F	—	2020年度		
		機能・性能試験		4F	—	2020年度		
		外観点検		4F	—	2020年度		
	V-WM-001 燃焼空気ファン出口逆止弁	分解点検	低	4Y	—	2020年度	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	V-WM-013 Ce/F入口給気逆止弁	分解点検	低	4Y	—	2020年度	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	V-WM-015 Ce/F灰取出装置バージ空気逆止弁	分解点検	低	4Y	—	2020年度	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
	V-WM-018 Ce/F逆洗ノズルバージ空気入口逆止弁	分解点検	低	4Y	—	2020年度	GN4-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
放射性廃棄物の廃棄施設 (原子炉格納容器本体以外の廃棄物貯蔵設備 又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置)	補助建屋サンブタンク	機能・性能試験	低	1C	○	14	GN4-69 液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査	プラント運転中
	格納容器サンブ	機能・性能試験	低	1C	○	14		
	罐固液溶解処理建屋サンブタンク室	機能・性能試験	低	1C	○	2021年度		
放射線管理施設 (放射線管理用計測装置)	格納容器内高レンジエリアモニタ 4台	特性試験	高	13M	○	14	GN4-209 エリアモニタ機能検査	
		1. エリアモニタ 8台 2. プロセスモニタ 17台	低	13M	○	14	GN4-77 放射線監視装置機能検査	
		機能・性能試験		1C	○	14		
放射線管理施設 (換気設備)	4V-HC-305A 4号 C/V水素バージ給気ライン外隔離弁A	駆動部点検	高	130M	—	6	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	6		
		機能・性能試験		10C	—	6		
	4V-HC-305B 4号 C/V水素バージ給気ライン外隔離弁B	駆動部点検	高	130M	—	6	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	6		
		機能・性能試験		10C	—	6		
	4V-HC-307A 4号 C/V水素バージ給気ライン内隔離弁A	駆動部点検	高	130M	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7		
		電動機分解点検		130M	—	7		
	4V-HC-307B 4号 C/V水素バージ給気ライン内隔離弁B	駆動部点検	高	130M	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	7		
機能・性能試験		10C		—	7			
電動機分解点検		130M		—	7			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	格納容器空調装置	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 格納容器給気ファン	分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
	4 A 格納容器給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2021年度		プラント運転中
	4 B 格納容器給気ファン	分解点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	4 B 格納容器給気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	○	2018年度		プラント運転中
	4 A 格納容器排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2021年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	—	2021年度		
	4 A 格納容器排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	○	2019年度		プラント運転中
	4 B 格納容器排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2020年度		プラント運転中
		分解点検		6Y	○	2016年度		
	4 B 格納容器排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	—	2020年度		プラント運転中
	4 A 格納容器給気ユニット	開放点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	4 B 格納容器給気ユニット	開放点検	低	6Y	—	2021年度		プラント運転中
	4 A 格納容器排気フィルタユニット	開放点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
	4 B 格納容器排気フィルタユニット	開放点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	4V-VS-054 4号 C/V給気ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
	4V-VS-055 4号 C/V給気ライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
	4V-VS-056 4号 C/V排気ライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	10		
	4V-VS-057 4号 C/V排気ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
	4D-VS-060A 4 A C/V排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4D-VS-060B 4 B C/V排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-061 4号 C/V排気ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-051A 4 A C/V給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	13		
	4D-VS-051B 4 B C/V給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	12		
	4D-VS-062A 4 A C/V給気系外気取入切替ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	13		
	4D-VS-062B 4 B C/V給気系外気取入切替ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	12		
	4D-VS-052 4号 C/V給気ラインアニュラス入口第一ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4D-VS-053 4号 C/V給気ラインアニュラス入口第二ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-058 4号 C/V排気ラインアニュラス出口第一ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4D-VS-059 4号 C/V排気ラインアニュラス出口第二ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	格納容器再循環装置	機能・性能試験	低	1C	○	14	GN4-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M	○	12		
	4 A 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	39M	○	12		
	4 B 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M	—	13		
	4 B 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	39M	—	13		
	4 C 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M	○	12		
	4 C 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	39M	○	12		
	4 D 格納容器再循環ファン	分解点検	低	39M	—	13		
	4 D 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	39M	—	13		
	4 A 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	14		冷却コイル点検含む
	4 B 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	14		冷却コイル点検含む
	4 C 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	14		冷却コイル点検含む
	4 D 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	14		冷却コイル点検含む
	格納容器空気浄化装置	機能・性能試験	低	1C	○	14	GN4-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 格納容器空気浄化ファン	分解点検	低	65M	—	13		
	4 A 格納容器空気浄化ファン用電動機	分解点検	低	65M	—	13		
	4 B 格納容器空気浄化ファン	分解点検	低	65M	—	14		
	4 B 格納容器空気浄化ファン用電動機	分解点検	低	65M	○	10		
	4号 格納容器空気浄化フィルタユニット	開放点検	低	26M	○	13		
	アニュラス空気浄化系	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-38 アニュラス循環排気系機能検査	
	4 A アニュラス空気浄化ファン	分解点検	高	65M	—	13		(振動診断:1ヶ月)
	4 A アニュラス空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	65M	—	13		(振動診断:1ヶ月)
	4 B アニュラス空気浄化ファン	分解点検	高	65M	—	12		(振動診断:1ヶ月)
	4 B アニュラス空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	65M	—	12		(振動診断:1ヶ月)
	4 A アニュラス空気浄化フィルタユニット	開放点検	高	26M	○	13		
		機能・性能試験		2C	○	13	GN4-39 アニュラス循環排気系フィルター性能検査	
	4 A アニュラス空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	4 B アニュラス空気浄化フィルタユニット	開放点検	高	26M	—	14		
		機能・性能試験		2C	—	14	GN4-39 アニュラス循環排気系フィルター性能検査	
	4 B アニュラス空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	4F-VS-101 4号 Bアニュラス空気浄化ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	14		
	4F-VS-102A 4 A アニュラス空気浄化フィルタユニット入口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	14		
	4F-VS-102B 4 B アニュラス空気浄化フィルタユニット入口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	14		
	4F-VS-103A 4 A アニュラス空気浄化フィルタユニット出口防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	14		
	4F-VS-103B 4 B アニュラス空気浄化フィルタユニット出口防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	14		



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査者	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4D-VS-101A 4 A アニュラス空気浄化ファン入口ダンパ	駆動部点検		高	52M	○	11		
					—	12		
4D-VS-101B 4 B アニュラス空気浄化ファン入口ダンパ	駆動部点検		高	52M	—	12		
					—	13		
4V-VS-102A 4 A アニュラス空気浄化全量排気弁	分解点検	駆動部点検	高	52M	—	13	GN4-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
					—	13		
4V-VS-102B 4 B アニュラス空気浄化全量排気弁	分解点検	駆動部点検	高	52M	—	12	GN4-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
					—	12		
4V-VS-103A 4 A アニュラス空気浄化少量排気弁	分解点検	駆動部点検	高	52M	—	13	GN4-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
					—	13		
4V-VS-103B 4 B アニュラス空気浄化少量排気弁	分解点検	駆動部点検	高	52M	—	12	GN4-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
					—	12		
4D-VS-104A 4 A アニュラス戻りダンパ	駆動部点検		高	52M	○	11		
					—	12		
4D-VS-104B 4 B アニュラス戻りダンパ	駆動部点検		高	52M	—	12		
					—	12		
補助建屋空調装置	機能・性能試験		高	1C	○	14	GN4-78 1次系換気空調設備検査	
4 A 補助建屋給気ファン	簡易点検(油入替他) 分解点検		低	2Y 6Y	○	2020年度		プラント運転中
					—	2020年度		
4 A 補助建屋給気ファン用電動機	分解点検		低	4Y	○	2018年度		プラント運転中
4 B 補助建屋給気ファン	簡易点検(油入替他) 分解点検		低	2Y 6Y	○	2021年度		プラント運転中
					—	2021年度		
4 B 補助建屋給気ファン用電動機	分解点検		低	4Y	○	2019年度		プラント運転中
4 C 補助建屋給気ファン	簡易点検(油入替他) 分解点検		低	2Y 6Y	○	2020年度		プラント運転中
					○	2016年度		
4 C 補助建屋給気ファン用電動機	分解点検		低	4Y	—	2020年度		プラント運転中
4 A 補助建屋排気ファン	簡易点検(油入替他) 分解点検		低	2Y 6Y	○	2020年度		プラント運転中
					—	2020年度		
4 A 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検		低	4Y	○	2018年度		プラント運転中
4 B 補助建屋排気ファン	簡易点検(油入替他) 分解点検		低	2Y 6Y	○	2021年度		プラント運転中
					—	2021年度		
4 B 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検		低	4Y	○	2019年度		プラント運転中
4 C 補助建屋排気ファン	簡易点検(油入替他) 分解点検		低	2Y 6Y	○	2020年度		プラント運転中
					○	2016年度		
4 C 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検		低	4Y	—	2020年度		プラント運転中
4 A 補助建屋排気フィルタユニット	開放点検		低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
4 B 補助建屋排気フィルタユニット	開放点検		低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
4 A 補助建屋給気ユニット	開放点検		低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
4 B 補助建屋給気ユニット	開放点検		低	6Y	—	2021年度		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査者	備考 ( )内は適用する設備診断技術
	4D-VS-105 4号 排気筒入口第一ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4D-VS-106 4号 排気筒入口第二ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-201A 4 A A/B給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	○	11		
	4D-VS-201B 4 B A/B給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	12		
	4D-VS-201C 4 C A/B給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	13		
	4D-VS-207A 4 A A/B排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	○	11		
	4D-VS-207B 4 B A/B排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	12		
	4D-VS-207C 4 C A/B排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	12		
	安全補機室空気浄化設備	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 安全補機室空気浄化ファン	分解点検	高	52M	—	13		(振動診断:1ヶ月)
	4 A 安全補機室空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	13		(振動診断:1ヶ月)
	4 B 安全補機室空気浄化ファン	分解点検	高	52M	—	13		(振動診断:1ヶ月)
	4 B 安全補機室空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	12		(振動診断:1ヶ月)
	4号 安全補機室空気浄化フィルタユニット	開放点検	高	26M	—	14		
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4号 安全補機室空気浄化フィルタユニットA電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	4号 安全補機室空気浄化フィルタユニットB電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	4F-VS-301 4号 安全補機室空気浄化フィルタユニット入口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	14		
	4F-VS-302 4号 安全補機室空気浄化フィルタユニット出口防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	14		
	4D-VS-310A 4 A 安全補機室空気浄化ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4D-VS-310B 4 B 安全補機室空気浄化ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-311A 4 A 安全補機室空気浄化ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4D-VS-311B 4 B 安全補機室空気浄化ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4 A 安全補機室冷却ファン	分解点検	高	52M	—	12	GN4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4 A 安全補機室冷却ファン用電動機	分解点検	高	39M	○	12		
	4 B 安全補機室冷却ファン	分解点検	高	52M	—	13	GN4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4 B 安全補機室冷却ファン用電動機	分解点検	高	39M	—	13		
	4 A 安全補機室冷却ユニット	開放点検	高	26M	—	14	GN4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4 B 安全補機室冷却ユニット	開放点検	高	26M	○	13	GN4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4F-VS-209 4号 A安全補機室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-210 4号 B安全補機室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-211 4号 充てんポンプバルブエリア給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-212A 4 A 充てんポンプ室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-212B 4 C 充てんポンプ室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4F-VS-213A 4号 B 充てんポンプ室給気防火兼流量設定ダンパA	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-213B 4号 B 充てんポンプ室給気防火兼流量設定ダンパB	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-214A 4号 充てんポンプバルブ操作エリア給気防火ダンパA	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-214B 4号 充てんポンプバルブ操作エリア給気防火ダンパB	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-228A 4 A 充てんポンプ室排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M	—	14		
	4F-VS-228B 4 C 充てんポンプ室排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M	—	14		
	4F-VS-229A 4号 D 充てんポンプ室排気防火兼流量設定ダンパA	機能点検	高	26M	—	14		
	4F-VS-229B 4号 D 充てんポンプ室排気防火兼流量設定ダンパB	機能点検	高	26M	—	14		
	4F-VS-232 4号 充てんポンプバルブエリア排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M	—	14		
	4F-VS-233 4号 A 安全補機室排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M	—	14		
	4F-VS-234 4号 B 安全補機室排気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	26M	—	14		
	4D-VS-301 4号 安全補機室給気第一ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4D-VS-302 4号 安全補機室給気第二ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4G-VS-303A 4 A 安全補機室冷却ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	○	7		
	4G-VS-303B 4 B 安全補機室冷却ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	○	7		
	4G-VS-304A 4 A 安全補機室給気逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	8		
	4G-VS-304B 4 B 安全補機室給気逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	9		
	4G-VS-306A 4 A 安全補機室排気逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	8		
	4G-VS-306B 4 B 安全補機室排気逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	9		
	4D-VS-307 4号 安全補機室排気第一ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-308 4号 安全補機室排気第二ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4 A 安全補機閉閉器室空調ファン	簡易点検(油入替他) 分解点検	高	26M 52M	— —	14 12		(振動診断・切替毎)
	4 A 安全補機閉閉器室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	12		(振動診断・切替毎)
	4 B 安全補機閉閉器室空調ファン	簡易点検(油入替他) 分解点検	高	26M 52M	○ —	13 13		(振動診断・切替毎)
	4 B 安全補機閉閉器室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	○	11		(振動診断・切替毎)
	4 A 安全補機閉閉器室空調ユニット	開放点検	高	26M	—	14		
	4 B 安全補機閉閉器室空調ユニット	開放点検	高	26M	○	13		
	4D-VS-532A 4 A S W G R 空調ユニット入口連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4D-VS-532B 4 B S W G R 空調ユニット入口連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-533A 4 A S W G R 空調ユニット入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4D-VS-533B 4 B S W G R 空調ユニット入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-534A 4 A S W G R 空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4D-VS-534B 4 B S W G R 空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4D-VS-535A 4 A SWGR 給気速絡ダンパ	駆動部点検	高	52M	○	11		
	4D-VS-535B 4 B SWGR 給気速絡ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4F-VS-531A 4 A SWGR 密給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-531B 4 B SWGR 密給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-532A 4 A SWGR 密給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-532B 4 B SWGR 密給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-533 4号 A E P 盤室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-534A 4 A E P 盤室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-534B 4 B E P 盤室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-535 4号 A 継電器室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-536A 4 A 継電器室給気第一防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-536B 4 B 継電器室給気第一防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-537A 4 A 継電器室給気第二防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-537B 4 B 継電器室給気第二防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-538A 4 A インバータ室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-538B 4 B インバータ室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-542A 4 A E P 盤室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-542B 4 B E P 盤室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-543 4号 A E P 盤室戻り防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-544A 4 A SWGR 室戻り防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-544B 4 B SWGR 室戻り防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-545A 4 A SWGR 室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-545B 4 B SWGR 室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-546A 4 A 継電器室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-546B 4 B 継電器室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-547 4号 A 継電器室戻り防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4F-VS-551 4号 トレイエリア給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2022年度		プラント運転中
	4 A 中間補機種空調ファン	簡易点検(油入替他)	高	26M	○	13		
		分解点検		52M	—	13		
	4 A 中間補機種空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	13		
	4 B 中間補機種空調ファン	簡易点検(油入替他)	高	26M	—	14		
		分解点検		52M	—	12		
	4 B 中間補機種空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	13		
	4 A 中間補機種空調ユニット	開放点検	高	52M	—	13		
	4 B 中間補機種空調ユニット	開放点検	高	52M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4G-VS-563A 4 A I/B空調ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	6		
	4G-VS-563B 4 B I/B空調ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	6		
	4D-VS-564A 4 A I/B給気連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-564B 4 B I/B給気連絡ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4F-VS-561A 4 A M/D A FWP室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	4F-VS-561B 4 B M/D A FWP室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	4F-VS-562A 4 A 制御用空気圧縮機室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	4F-VS-562B 4 B 制御用空気圧縮機室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	4F-VS-563A 4 A D/G電気盤室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	4F-VS-563B 4 B D/G電気盤室給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	4F-VS-565A 4 A M/D A FWP室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	4F-VS-565B 4 B M/D A FWP室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	4F-VS-566A 4 A 制御用空気圧縮機室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	4F-VS-566B 4 B 制御用空気圧縮機室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	4F-VS-567A 4 A D/G電気盤室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	4F-VS-567B 4 B D/G電気盤室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	中央制御室空調装置	機能・性能試験	高	1C	○	14	GM4-78 1 次系換気空調設備検査	
	4 A 中央制御室空調ユニット	開放点検	高	26M	—	14		
	4 B 中央制御室空調ユニット	開放点検	高	26M	○	13		
	4 A 中央制御室空調ファン	簡易点検(油入替他) 分解点検	高	26M 52M	— —	14 12		(振動診断・切替毎)
	4 A 中央制御室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	12		(振動診断・切替毎)
	4 B 中央制御室空調ファン	簡易点検(油入替他) 分解点検	高	26M 52M	○ —	14 14		(振動診断・切替毎)
	4 B 中央制御室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	13		(振動診断・切替毎)
	4 A 中央制御室循環ファン	分解点検	高	52M	—	12		
	4 A 中央制御室循環ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	12		
	4 B 中央制御室循環ファン	分解点検	高	52M	—	13		
	4 B 中央制御室循環ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	13		
	4D-VS-601A 4 A 中央制御室外気取入ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4D-VS-601B 4 B 中央制御室外気取入ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-606A 4 A 中央制御室空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4D-VS-606B 4 B 中央制御室空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4D-VS-607A 4 A 中央制御室循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4D-VS-607B 4 B 中央制御室循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4KCD-2840 4 A 中央制御室外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4KCD-2843 4 A 中央制御室外気放出流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4KCD-2844 4 A 中央制御室循環流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4KCD-2850 4 B 中央制御室外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4KCD-2853 4 B 中央制御室外気放出流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4KCD-2854 4 B 中央制御室循環流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4F-VS-601 4号 プラントデータ管理センタ室給気第一防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	14		
	4F-VS-602 4号 プラントデータ管理センタ室給気第二防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	14		
	4F-VS-603 4号 中央制御室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	14		
	4F-VS-606 4号 中央制御室戻り防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	14		
	4F-VS-607 4号 中央制御室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	14		
	4F-VS-611 4号 プラントデータ管理センタ室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	14		
	中央制御室非常用循環系	機能・性能試験	高	1C	○	14		GN4-40 中央制御室非常用循環系機能検査
	4号 中央制御室非常用循環フィルタユニット	開放点検	高	20M	—	14		
		機能・性能試験		1C	○	14		GN4-41 中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査
	4 A 中央制御室非常用循環ファン	分解点検	高	65M	—	13		(振動診断:1ヶ月)
	4 A 中央制御室非常用循環ファン用電動機	分解点検	高	65M	—	13		(振動診断:1ヶ月)
	4 B 中央制御室非常用循環ファン	分解点検	高	65M	—	11		(振動診断:1ヶ月)
	4 B 中央制御室非常用循環ファン用電動機	分解点検	高	65M	—	14		(振動診断:1ヶ月)
	4号 中央制御室非常用循環フィルタユニットA電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	4号 中央制御室非常用循環フィルタユニットB電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	4F-VS-604 4号 中央制御室給気第一防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	14		
	4F-VS-605 4号 中央制御室給気第二防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	14		
	4F-VS-608 4号 中央制御室非常用循環F/U入口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	14		
	4F-VS-609 4号 中央制御室非常用循環F/U出口防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	14		
	4D-VS-605A 4 A 中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4D-VS-605B 4 B 中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4KCD-2841 4 A 中央制御室非常時外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4KCD-2842 4 A 中央制御室非常時循環流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4KCD-2851 4 B 中央制御室非常時外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	4KCD-2852 4 B 中央制御室非常時循環流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4 A ほう酸ポンプ室空調ファン	分解点検	高	39M	○	12		
	4 A ほう酸ポンプ室空調ファン用電動機	分解点検	高	39M	○	12		
	4 B ほう酸ポンプ室空調ファン	分解点検	高	39M	—	13		
	4 B ほう酸ポンプ室空調ファン用電動機	分解点検	高	39M	—	13		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査者	備考 ( )内は適用する設備診断技術
	4 A ほう酸ポンプ室給気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	4 B ほう酸ポンプ室給気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	4F-VS-201 4号 ほう酸ポンプ室給気系防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	4F-VS-202 4号 ほう酸ポンプ室排気系防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	4G-VS-210A 4 A ほう酸ポンプ室空調ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	2008年度		
	4G-VS-210B 4 B ほう酸ポンプ室空調ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	2008年度		
	4 A ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	12		
	4 A ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	12		
	4 B ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	13		
	4 B ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	13		
	4 C ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	12		
	4 C ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	12		
	4 D ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	13		
	4 D ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	13		
	4F-VS-401A 4 A D/G室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	4F-VS-401B 4 B D/G室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	4F-VS-401C 4 C D/G室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	4F-VS-401D 4 D D/G室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2021年度		プラント運転中
	4D-VS-402A 4 A D/G室排気ダンパ	駆動部点検	高	65M	—	13		
	4D-VS-402B 4 B D/G室排気ダンパ	駆動部点検	高	65M	—	11		
	4G-VS-401A 4 A D/G室給気ファン入口逆止ダンパ	機能点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	4G-VS-401B 4 B D/G室給気ファン入口逆止ダンパ	機能点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	4G-VS-401C 4 C D/G室給気ファン入口逆止ダンパ	機能点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	4G-VS-401D 4 D D/G室給気ファン入口逆止ダンパ	機能点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	雑固体溶融処理建屋空調装置	機能・性能試験	低	1C	○	14		GN4-78 1次系換気空調設備検査 プラント運転中
	固化体冷却室空調装置	機能・性能試験	低	1C	○	14		GN4-78 1次系換気空調設備検査 プラント運転中
	A 雑固体溶融処理建屋給気ファン	分解点検	低	9Y	—	2021年度		プラント運転中
	A 雑固体溶融処理建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	B 雑固体溶融処理建屋給気ファン	分解点検	低	9Y	○	2016年度		プラント運転中
	B 雑固体溶融処理建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	6Y	—	2021年度		プラント運転中
	A 雑固体溶融処理建屋排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2021年度		プラント運転中
		分解点検		9Y	—	2018年度		プラント運転中
	A 雑固体溶融処理建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
	B 雑固体溶融処理建屋排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2021年度		プラント運転中
		分解点検		9Y	—	2019年度		プラント運転中
	B 雑固体溶融処理建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
C 雑固体溶融処理建屋排気ファン		簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2021年度		プラント運転中
		分解点検		9Y	○	2013年度		プラント運転中
C 雑固体溶融処理建屋排気ファン用電動機		分解点検	低	6Y	○	2018年度		プラント運転中
雑固体溶融処理建屋給気ユニット(Aバンク, Bバンク)		開放点検	低	9Y	○	2013年度		プラント運転中
雑固体溶融処理建屋排気フィルタユニット(Aバンク, Bバンク)		開放点検	低	9Y	—	2019年度		プラント運転中
D-MU-200 雑固体溶融処理建屋給気ファン入口ダンパ		駆動部点検	低	9Y	○	2016年度		プラント運転中
FCD-10502 雑固体溶融処理建屋排気風量制御ダンパ		駆動部点検	低	9Y	○	2017年度		プラント運転中
固化体冷却室排気ファン		簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2021年度		プラント運転中
		分解点検		3Y	○	2021年度		プラント運転中
固化体冷却室排気ファン用電動機		分解点検	低	6Y	○	2016年度		プラント運転中
固化体冷却室排気フィルタ		開放点検	低	3Y	—	2021年度		プラント運転中
4V-CHT-101 空調用冷水膨張タンク真空逃がし弁		分解点検	低	130M	—	10	GN4-88 1次系真空破壊弁検査	
4V-CH-262 4号 空調用冷水膨張タンク純水補給止弁		分解点検	高	195M	○	—		第14回定検より追加
4 A 空調用冷凍機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		
		分解点検		39M	—	13		
		非破壊試験		39M	—	13		
4 A 空調用冷凍機用電動機		分解点検	高	39M	—	13		
4 B 空調用冷凍機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		
		分解点検		39M	○	12		
		非破壊試験		39M	○	12		
4 B 空調用冷凍機用電動機		分解点検	高	39M	○	12		
4 C 空調用冷凍機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		
		分解点検		39M	—	13		
		非破壊試験		39M	—	13		
4 C 空調用冷凍機用電動機		分解点検	高	39M	—	13		
4 D 空調用冷凍機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		
		分解点検		39M	○	12		
		非破壊試験		39M	○	12		
4 D 空調用冷凍機用電動機		分解点検	高	39M	○	12		
4 A 空調用冷水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	—	13		
4 A 空調用冷水ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	—	13		(振動診断:切替毎)
4 B 空調用冷水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M	○	12		
4 B 空調用冷水ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	○	12		(振動診断:切替毎)



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4 C 空調用冷水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		39M	—	13		
4 C 空調用冷水ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	—	13		(振動診断・切替毎)
4 D 空調用冷水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		39M	○	12		
4 D 空調用冷水ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	○	12		(振動診断・切替毎)
4号 空調用冷水膨張タンク		開放点検	高	130M	—	10		
4V-CH-354 4号 DRP I 密冷却ユニット入口外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	12		GN4-85 1次系弁検査
		分解点検		130M	—	12		
4V-CH-358 4号 DRP I 密冷却ユニット出口外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	12		GN4-85 1次系弁検査
		分解点検		130M	—	12		
4V-CH-253 4号 空調用冷水膨張タンク N 2 供給逃がし弁		分解点検	低	130M	—	10		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	10		
		機能・性能試験		10C	—	10		
4V-CH-356 4号 DRP I 密冷却ユニット逃がし弁		分解点検	低	130M	—	12		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	10		
		機能・性能試験		10C	—	10		
4V-CH-500 4号 空調用冷水 C 母管逃がし弁		分解点検	低	130M	—	10		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	10		
		機能・性能試験		10C	—	10		
4TCV-2760 4 A I/B 空調ユニット冷却温度制御弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
4TCV-2770 4 B I/B 空調ユニット冷却温度制御弁		駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
4TCV-2780 4 A SWGR 空調ユニット冷却温度制御弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
4TCV-2790 4 B SWGR 空調ユニット冷却温度制御弁		駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
4TCV-2848 4 A 中央制御室空調ユニット冷却温度制御弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
4TCV-2858 4 B 中央制御室空調ユニット冷却温度制御弁		駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
4V-CH-016A 4 A 冷水供給弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		電動機分解点検		130M	—	7		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4V-CI-016B 4 B 冷水供給弁	駆動部点検	高	130M	—	8			
		分解点検		130M	—	8			
		電動機分解点検		130M	—	8			
	4V-CI-017A 4 A 冷水戻り弁	駆動部点検	高	130M	—	7			
		分解点検		130M	—	7			
		電動機分解点検		130M	—	7			
	4V-CI-017B 4 B 冷水戻り弁	駆動部点検	高	130M	—	8			
		分解点検		130M	—	8			
		電動機分解点検		130M	—	8			
	4V-CI-020 4号 C冷水供給弁	駆動部点検	高	130M	—	10			
		分解点検		130M	—	10			
		電動機分解点検		130M	—	10			
4V-CI-021 4号 C冷水戻り弁	駆動部点検	高	130M	—	10				
	分解点検		130M	—	10				
	電動機分解点検		130M	—	10				
原子炉格納施設 (原子炉格納容器)	1. 「T信号」及び「T信号とUV信号との一致」により隔離される弁 45個 2. 「P信号」により隔離される弁 16個	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-45 原子炉格納容器隔離弁機能検査		
		原子炉格納容器	漏えい試験	高	3C	○	14	GN4-43 原子炉格納容器全体漏えい率検査	
	非破壊検査		5年間		—	14	GN4-105 プレストレスコンクリート格納容器供用期間中検査		
	外観点検(アニュラスシール)		10C		—	10			
	通常用エアロック	漏えい試験	高	1C	○	14	GN4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M	○	14			
		分解点検(タイミングギア及び駆動部)		65M	—	11			
	非常用エアロック	漏えい試験	高	1C	○	14	GN4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M	○	14			
		分解点検(タイミングギア及び駆動部)		65M	—	11			
	機器搬入口	漏えい試験	高	1C	○	14	GN4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M	○	14			
	1. 配管貫通部 8個 2. 電線貫通部 46個	漏えい試験	高	1C	○	14	GN4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		燃料移送管	漏えい試験	高	1C	○	14	GN4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施
	開放点検		13M		○	14			
原子炉格納容器隔離弁 52個	漏えい試験	高	1C	○	14	GN4-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施		
原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備)	原子炉格納容器スプレイ系 ・格納容器スプレイポンプ 2台 ・モータ駆動弁 6個 ・常設電動注入ポンプ 1台	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-48 原子炉格納容器安全系機能検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4 A 格納容器スプレイポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検(メカニカルシール取替)		52M	—	13		
		分解点検		104M	—	13	GN4-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	
4 A 格納容器スプレイポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		78M	—	14		
4 B 格納容器スプレイポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検(メカニカルシール取替)		52M	—	12		
		分解点検		104M	—	12	GN4-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注入系ポンプ分解検査	
4 B 格納容器スプレイポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		78M	—	13		
4 A 格納容器スプレイ冷却器		開放点検	高	130M	—	11		
4 B 格納容器スプレイ冷却器		開放点検	高	130M	—	11		
よう素除去薬品タンク		開放点検	高	130M	—	13		
4V-CPT-101 よう素除去薬品タンク真空逃がし弁		分解点検	低	130M	—	10	GN4-88 1次系真空破壊弁検査	
4V-CPT-102 よう素除去薬品タンク真空逃がし弁		分解点検	低	130M	—	10	GN4-88 1次系真空破壊弁検査	
4V-CP-001A 4 A C/VスプレイポンプRWS P側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CP-001B 4 B C/VスプレイポンプRWS P側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CP-014A 4 A C/Vスプレイポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	8		
4V-CP-014B 4 B C/Vスプレイポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	9		
4V-CP-024A 4 A C/Vスプレイライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	5		
		分解点検		130M	○	5	GN4-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	○	5		
4V-CP-024B 4 B C/Vスプレイライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	6	GN4-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	6		
4V-CP-054A 4 A よう素除去薬品注入弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CP-054B 4 B よう素除去薬品注入弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GN4-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-CP-056A 4号 A よう素除去薬品注入弁後弁		駆動部点検	高	130M	—	8	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CP-056B 4号 B よう素除去薬品注入弁後弁		駆動部点検	高	130M	—	8	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CP-068 4号 よう素除去薬品タンク安全弁		分解点検	低	130M	—	11	GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-CP-084 4号 AM用水消火ライン止め弁		分解点検	高	130M	—	6		
4V-CP-085 4号 AM用水消火ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	6	GN4-87 1次系逆止弁検査	
格納容器減圧排気フィルタユニット		開放点検	低	13M	○	14	GN4-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
4号 A 格納容器減圧排気フィルタユニット電気加熱コイル		機能・性能試験	低	1C	○	14		
4号 B 格納容器減圧排気フィルタユニット電気加熱コイル		機能・性能試験	低	1C	○	14		
4V-DP-311A 4号 C/V減圧ライン内隔離弁A		駆動部点検	高	130M	—	8	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-DP-311B 4号 C/V減圧ライン内隔離弁B		駆動部点検	高	130M	—	8	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-DP-313A 4号 C/V減圧ライン外隔離弁A		駆動部点検	高	130M	—	7	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	—	7		
4V-DP-313B 4号 C/V減圧ライン外隔離弁B		駆動部点検	高	130M	—	7	GN4-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	—	7		
4V-PP-035 4号 A/L所内用空気加圧ライン安全弁		分解点検	低	130M	—	10	GN4-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	10		
		機能・性能試験		10C	—	10		
4V-RM-001 4号 C/V空気サンプル取出ライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	5		
		分解点検		130M	○	5		
		電動機分解点検		130M	○	5		
4V-RM-002 4号 C/V空気サンプル取出ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		65M	—	11		
4V-RM-008 4号 C/V空気サンプル戻りライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		65M	—	11		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査者	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-IG-009 4号 炉内核計測装置ガスバージライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
4V-IG-010 4号 炉内核計測装置ガスバージライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
4V-FS-502 4号 水消火ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10	GN4-85 1次系弁検査	
4V-FS-536 4号 AM用水消火ライン第一隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
		電動機分解点検		130M	—	10		
4V-FS-537 4号 AM用水消火ライン第二隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		130M	—	10		
		電動機分解点検		130M	—	10		
4 A サンプル冷却器		外観点検	高	1C	○	14		
4 B サンプル冷却器		外観点検	高	1C	○	14		
4V-SS-503 4号 加圧器気相部サンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	12		
		分解点検		130M	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SS-523 4号 加圧器液相部サンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	12		
		分解点検		65M	—	14	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SS-524 4号 加圧器、Aループサンプルライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		65M	—	14	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SS-543A 4号 Aループサンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
4V-SS-543B 4号 Bループサンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	○	5		
		分解点検		65M	○	10	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-SS-544 4号 Bループサンプルライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		65M	—	14	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SS-548A 4 A 余熱除去ポンプ出口サンプルライン元弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
4V-SS-548B 4 B 余熱除去ポンプ出口サンプルライン元弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
4V-SS-563A 4 A 蓄圧タンクサンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12	GN4-85 1次系弁検査	
4V-SS-563B 4 B 蓄圧タンクサンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	13	GN4-85 1次系弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4V-SS-563C 4 C 蓄圧タンクサンプルライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	9			
		分解点検		130M	—	9	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-SS-563D 4 D 蓄圧タンクサンプルライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	10			
		分解点検		130M	—	13	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-SS-564 4号 蓄圧タンクサンプルライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	8			
		分解点検		130M	—	8	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-SS-587 4号 V C T気相部サンプル元弁	駆動部点検	低	130M	○	5			
		分解点検		65M	○	10			
		機能・性能試験		5C	○	10	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-SS-620 4号 事故時1次冷却材サンプル戻りライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	10			
		分解点検		130M	—	10			
		機能・性能試験		10C	—	10	GN4-85 1次系弁検査		
	4V-SS-658 4号 C/V雰囲気ガスサンプルライン窒素供給ライン逆止弁	分解点検	低	130M	—	10	GN4-87 1次系逆止弁検査		
	4V-SS-691 4号 C/V雰囲気ガスサンプル戻りライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	6			
		分解点検		65M	—	11			
		機能・性能試験		5C	—	11	GN4-85 1次系弁検査		
	原子炉施設 (その他設備)	クラス1機器 (供用期間中検査対象) 1式	非破壊試験	高	10年間	○	14		
			漏えい試験		1C	○	14	GN4-1 クラス1機器供用期間中検査	
Ni基合金溶接部 1式		非破壊試験		10年間	○	14			
クラス2機器 (供用期間中検査対象) 1式		非破壊試験	高	10年間	○	14	GN4-5 クラス2機器供用期間中検査		
		漏えい試験			○	14			
クラス2管(原子炉格納容器内)のうち 一次冷却材と同温・同圧の流体が流れる系統 1式		非破壊試験			○	14	GN4-99 クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査		
C/V E.L. - 4.7m 【管内】		外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査		
C/V E.L. - 3.7m 【管内】		外観点検	高	10C	—	12	GN4-103 耐震健全性検査		
C/V E.L. - 1.3m以上 【管内】		外観点検	高	10C	—	13	GN4-103 耐震健全性検査		
R/B E.L. - 18.0m 【管内】		外観点検	高	10C	—	14	GN4-103 耐震健全性検査		
R/B E.L. - 18.0m(中間床) 【管内】		外観点検	高	10C	—	14	GN4-103 耐震健全性検査		
R/B E.L. - 11.0m 【管内】		外観点検	高	10C	○	9	GN4-103 耐震健全性検査		
R/B E.L. - 11.0m(中間床) 【管内】		外観点検	高	10C	○	9	GN4-103 耐震健全性検査		
R/B E.L. - 11.0m 【管外】		外観点検	高	10C	○	9	GN4-103 耐震健全性検査		
R/B E.L. - 3.5m 【管内】		外観点検	高	10C	—	10	GN4-103 耐震健全性検査		
R/B E.L. - 3.5m(中間床) 【管内】		外観点検	高	10C	—	10	GN4-103 耐震健全性検査		
R/B E.L. - 3.5m 【管外】		外観点検	高	10C	—	10	GN4-103 耐震健全性検査		
R/B E.L. - 3.7m 【管内】		外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備考 ( )内は適用する設備診断技術
	R/B E.L. 3.7m(中間床)【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	A/B E.L. 3.7m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m(中間床)【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m 【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m(中間床)【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	A/B E.L. 11.3m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 11.3m(中間床)【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 20.4m(屋上) 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	屋外(取水ビット, 海水管ダクト, 放水ビット)	外観点検	高	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	WM/B	外観点検	低	10C	—	11	GN4-103 耐震健全性検査	
	容器	—	—	—	—	—	—	—
	余熱除去冷却器(胴側)	非破壊試験	高	10年間	—	13	GN4-104 構造健全性検査	
	格納容器スプレイ冷却器(胴側)	非破壊試験	高	10年間	○	14	GN4-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却水冷却器	非破壊試験	高	10年間	—	12	GN4-104 構造健全性検査	
	D/G 潜水冷却器	非破壊試験	高	10年間	—	12	GN4-104 構造健全性検査	
	D/G 潤滑油冷却器	非破壊試験	高	10年間	—	13	GN4-104 構造健全性検査	
	ポンプ	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水ポンプ	非破壊試験	高	10年間	○	11	GN4-104 構造健全性検査	
	配管	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水系統	非破壊試験	高	10年間	—	14	GN4-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却海水系統	非破壊試験	高	10年間	○	13	GN4-104 構造健全性検査	
	支持構造物	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水系統	非破壊試験	高	10年間	○	14	GN4-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却海水系統	非破壊試験	高	10年間	○	14	GN4-104 構造健全性検査	
	漏えい検査	—	—	—	—	—	—	—
	A, B 使用済燃料ビットポンプ入口ライン	漏えい試験	高	10年間	○	11	GN4-104 構造健全性検査	
	A, B 使用済燃料ビットポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	12	GN4-104 構造健全性検査	
	A, B 原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	13	GN4-104 構造健全性検査	
	C, D 原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	漏えい試験	高	10年間	○	11	GN4-104 構造健全性検査	
	A, B 原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	12	GN4-104 構造健全性検査	
	C, D 原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却水サージタンク及び出入口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	13	GN4-104 構造健全性検査	
	A, B 海水ポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	14	GN4-104 構造健全性検査	
	C, D 海水ポンプ出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	12	GN4-104 構造健全性検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
A 制御用空気圧縮機出口ライン		漏えい試験	高	10年間	—	14	GN4-104 構造健全性検査	
B 制御用空気圧縮機出口ライン		漏えい試験	高	10年間	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
制御用空気Cヘッダーライン		漏えい試験	高	10年間	○	11	GN4-104 構造健全性検査	
A ディーゼル発電機始動空気ライン		漏えい試験	高	10年間	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
B ディーゼル発電機始動空気ライン		漏えい試験	高	10年間	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
A ディーゼル発電機冷却水ライン		漏えい試験	高	10年間	○	11	GN4-104 構造健全性検査	
B ディーゼル発電機冷却水ライン		漏えい試験	高	10年間	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
外観点検		—	—	—	—	—	—	—
C/V E.L. -4.7m 【管内】		外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
C/V E.L. 3.7m 【管内】		外観点検	高	10C	—	12	GN4-104 構造健全性検査	
C/V E.L. 11.3m以上 【管内】		外観点検	高	10C	—	13	GN4-104 構造健全性検査	
R/B E.L. -18.0m 【管内】		外観点検	高	10C	—	14	GN4-104 構造健全性検査	
R/B E.L. -18.0m(中間床) 【管内】		外観点検	高	10C	—	14	GN4-104 構造健全性検査	
R/B E.L. -11.0m 【管内】		外観点検	高	10C	○	9	GN4-104 構造健全性検査	
R/B E.L. -11.0m(中間床) 【管内】		外観点検	高	10C	○	9	GN4-104 構造健全性検査	
R/B E.L. -11.0m 【管外】		外観点検	高	10C	○	9	GN4-104 構造健全性検査	
R/B E.L. -3.5m 【管内】		外観点検	高	10C	—	10	GN4-104 構造健全性検査	
R/B E.L. -3.5m(中間床) 【管内】		外観点検	高	10C	—	10	GN4-104 構造健全性検査	
R/B E.L. -3.5m 【管外】		外観点検	高	10C	—	10	GN4-104 構造健全性検査	
R/B E.L. 3.7m 【管内】		外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
R/B E.L. 3.7m(中間床) 【管内】		外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
R/B E.L. 3.7m 【管外】		外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
A/B E.L. 3.7m 【管外】		外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
R/B E.L. 3.7m(中間床) 【管外】		外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
R/B E.L. 11.3m 【管内】		外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
R/B E.L. 11.3m(中間床) 【管内】		外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
R/B E.L. 11.3m 【管外】		外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
A/B E.L. 11.3m 【管外】		外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
R/B E.L. 11.3m(中間床) 【管外】		外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
R/B E.L. 20.4m(屋上) 【管外】		外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
屋外(取水ピット, 海水管ダクト, 放水ピット)		外観点検	高	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
WM/B		外観点検	低	10C	—	11	GN4-104 構造健全性検査	
排気筒		外観点検	高	10F	—	2015年度	GN4-104 構造健全性検査	プラント運転中
主蒸気配管レストレイント 8箇所		外観点検	高	10C	—	8	GN4-114 レストレイント検査	
主給水配管レストレイント 14箇所		外観点検	高	10C	—	8		



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備考 ( )内は適用する設備診断技術	
	2次系配管等	外観点検	高	1C	○	14	GN4-127 2次系配管検査	屋外保温材施工部	
		外観点検		4C	—	12			
	2次系配管	非破壊試験	高	余寿命による	○	14	GN4-127 2次系配管検査		
		非破壊試験		余寿命による	○	14			GN4-129 蒸気タービン開放検査
	主給水配管 (主給水隔離弁～S/G) 主蒸気配管 (S/G～主蒸気隔離弁)	非破壊試験	高	余寿命による	○	14	GN4-136 主蒸気・主給水配管検査		
蒸気タービン (車室、円板、隔板、噴口)	4号 高压タービン	開放点検(目視)	低	39M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		1C	○	14			
		開放点検(組立状況)		39M	—	14			
		開放点検(組立状況)		1C	○	14			
	4号 第1低圧タービン	開放点検(目視)	低	39M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		1C	○	14			
		開放点検(組立状況)		13M	○	14			
		開放点検(組立状況)		39M	○	12			
	4号 第2低圧タービン	開放点検(目視)	低	39M	—	13	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		1C	○	14			
		開放点検(組立状況)		13M	○	14			
		開放点検(組立状況)		39M	—	13			
	4号 第3低圧タービン	開放点検(目視)	低	39M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		1C	○	14			
		開放点検(組立状況)		13M	○	14			
		開放点検(組立状況)		39M	—	14			
	蒸気タービン本体及びその附属設備	機能・性能試験(保安装置)	低	1C	○	14	GN4-130 蒸気タービン性能検査	定検起動後	
		総合性能試験(負荷)		1C	○	14	GN4-55 総合負荷性能検査		
	蒸気タービン (調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁)	タービン調速装置・非常調速装置	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
			開放点検(非破壊)		39M	—	13		
		#1 主蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	—	13	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
			開放点検(非破壊)		39M	—	13		
			開放点検(組立状況)		3C	—	13		
			機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14		
#2 主蒸気止め弁		開放点検(目視)	低	39M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		39M	—	14			
		開放点検(組立状況)		3C	—	14			
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14			GN4-130 蒸気タービン性能検査

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
# 3 主蒸気止め弁		開放点検(目視)	低	39M	—	13	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	13		
		開放点検(組立状況)		3C	—	13		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14		
# 4 主蒸気止め弁		開放点検(目視)	低	39M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	12		
		開放点検(組立状況)		3C	○	12		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14		
# 1 蒸気加減弁		開放点検(目視)	低	39M	—	13	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	13		
		開放点検(組立状況)		3C	—	13		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14		
# 2 蒸気加減弁		開放点検(目視)	低	39M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	14		
		開放点検(組立状況)		3C	—	14		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14		
# 3 蒸気加減弁		開放点検(目視)	低	39M	—	13	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	13		
		開放点検(組立状況)		3C	—	13		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14		
# 4 蒸気加減弁		開放点検(目視)	低	39M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	12		
		開放点検(組立状況)		3C	○	12		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14		
A 再熱蒸気止め弁		開放点検(目視)	低	39M	—	13	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	13		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14		
B 再熱蒸気止め弁		開放点検(目視)	低	39M	—	13	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	13		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14		
C 再熱蒸気止め弁		開放点検(目視)	低	39M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	14		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14		
D 再熱蒸気止め弁		開放点検(目視)	低	39M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	14		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備考 ( )内は適用する設備診断技術
	E 再熱蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	12		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14		
	F 再熱蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	12		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14		
	A インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	—	13	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	13		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14		
	B インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	—	13	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	13		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14		
	C インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	14		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14		
	D インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	14		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14		
	E インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	12		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14		
	F インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	○	12	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	12		
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	14		
蒸気タービン (復水器)	A 復水器水室	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、ECT結果により施検を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	13		
	B 復水器水室	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、ECT結果により施検を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	14		
	C 復水器水室	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、ECT結果により施検を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	○	9		
	D 復水器水室	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、ECT結果により施検を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	10		
	E 復水器水室	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、ECT結果により施検を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	11		
	F 復水器水室	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、ECT結果により施検を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4 A 復水器ホットウェル	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
	4 B 復水器ホットウェル	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
	4 C 復水器ホットウェル	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交換器)	第1段 湿分離加熱器(A)	開放点検(目視)	低	26M	○	13	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	○	13		
	第1段 湿分離加熱器(B)	開放点検(目視)	低	26M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	—	14		
	第1段 湿分離加熱器(C)	開放点検(目視)	低	26M	○	13	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	○	13		
	第1段 湿分離加熱器(D)	開放点検(目視)	低	26M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	—	14		
	第2段 湿分離加熱器(A)	開放点検(目視)	低	26M	○	13	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	○	13		
	第2段 湿分離加熱器(B)	開放点検(目視)	低	26M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	—	14		
	第2段 湿分離加熱器(C)	開放点検(目視)	低	26M	○	13	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	○	13		
	第2段 湿分離加熱器(D)	開放点検(目視)	低	26M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	—	14		
	A 湿分離器	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		13M	○	14		
	B 湿分離器	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		13M	○	14		
	4 A 低圧第1給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	—	13	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	10		
	4 B 低圧第1給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	—	14	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	11		
4 C 低圧第1給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	○	12	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		78M	—	12			
4 A 低圧第2給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	—	13	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		78M	—	10			
4 B 低圧第2給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	—	14	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		78M	—	11			
4 C 低圧第2給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	○	12	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		78M	—	12			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4 A 低圧第3給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	○	13	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	11		
	4 B 低圧第3給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	—	14	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	12		
	4 A 低圧第4給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-126 2次系熱交換器検査	第11回定検で取替 開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	○	—		
	4 B 低圧第4給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	12		
	4 A 低圧第5給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	○	13	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	○	13		
	4 B 低圧第5給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	—	14	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	—	14		
4号 グランド蒸気復水器	開放点検(目視)	低	39M	—	13	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		39M	—	13			
4 A 高圧第7給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-126 2次系熱交換器検査	第13回定検で取替 開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		26M	○	—			
4 B 高圧第7給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		26M	—	14			
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備)	4 A 復水ポンプ	簡易点検(グランドパッキン取替他)	低	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		39M	—	13		
		機能・性能試験		3C	—	13		
	4 A 復水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		39M	—	13		
	4 B 復水ポンプ	簡易点検(グランドパッキン取替他)	低	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		39M	—	14		
		機能・性能試験		3C	—	14		
	4 B 復水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		39M	—	14		
	4 C 復水ポンプ	簡易点検(グランドパッキン取替他)	低	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		39M	○	12		
機能・性能試験		3C		○	12	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査		
4 C 復水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		(振動診断・切替毎)	
	分解点検		39M	○	12			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4 A 復水ブースタポンプ		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		26M	○	13		
		機能・性能試験		2C	○	13	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 A 復水ブースタポンプ用電動機		分解点検	低	39M	—	13		(振動診断・切替毎)
4 B 復水ブースタポンプ		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		26M	—	14		
		機能・性能試験		2C	—	14	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 B 復水ブースタポンプ用電動機		分解点検	低	39M	○	11		(振動診断・切替毎)
4 C 復水ブースタポンプ		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		26M	○	13		
		機能・性能試験		2C	○	13	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 C 復水ブースタポンプ用電動機		分解点検	低	39M	○	12		(振動診断・切替毎)
4 A 復水器真空ポンプ		簡易点検(グランドパッキン取替他)	低	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		26M	○	13		
		機能・性能試験		2C	○	13	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 A 復水器真空ポンプ用電動機		分解点検	低	52M	—	13		(振動診断・切替毎)
4 B 復水器真空ポンプ		簡易点検(グランドパッキン取替他)	低	13M	○	14		(振動診断・切替毎)
		分解点検		26M	—	14		
		機能・性能試験		2C	—	14	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 B 復水器真空ポンプ用電動機		分解点検	低	52M	—	14		(振動診断・切替毎)
4 A 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	13M	○	14	GN4-125 2次系容器検査	
4 B 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	13M	○	14	GN4-125 2次系容器検査	
4 C 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	13M	○	14	GN4-125 2次系容器検査	
4 D 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	13M	○	14	GN4-125 2次系容器検査	
4 E 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	13M	○	14	GN4-125 2次系容器検査	
4 F 復水脱塩装置脱塩塔		開放点検	低	13M	○	14	GN4-125 2次系容器検査	
復水フィルタ		開放点検	低	130M	—	13		
4号 脱気器		開放点検	高	13M	○	14	GN4-125 2次系容器検査	
4号 電動主給水ポンプ		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		(振動診断・1ヶ月)
		分解点検		39M	—	13	GN4-121 2次系ポンプ分解検査	
4号 電動主給水ポンプ用電動機		分解点検	低	52M	—	13		(振動診断・1ヶ月)
4 A タービン動主給水ポンプ		分解点検	低	13M	○	14		(振動診断・1ヶ月)
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 B タービン動主給水ポンプ		分解点検	低	13M	○	14		(振動診断・1ヶ月)
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4 A タービン動主給水ポンプ駆動タービン		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		26M	○	13	GN4-121 2次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-122 2次系ポンプ機能検査	
4 B タービン動主給水ポンプ駆動タービン		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		26M	—	14	GN4-121 2次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-122 2次系ポンプ機能検査	
4号 電動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ		簡易点検(グランドパッキン取替他)	低	13M	○	14		
		分解点検		39M	—	13	GN4-121 2次系ポンプ分解検査	
4号 電動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		39M	—	13		
4 A タービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ		分解点検	低	26M	○	13		
		機能・性能試験		2C	○	13	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 A タービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52M	○	11		
4 B タービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ		分解点検	低	26M	—	14		
		機能・性能試験		2C	—	14	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 B タービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52M	—	14		
4 A 循環水ポンプ		簡易点検(グランドパッキン取替他)	低	13M	○	14		
		分解点検		26M	○	13		
		機能・性能試験		2C	○	13	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 A 循環水ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52M	—	13		
4 B 循環水ポンプ		簡易点検(グランドパッキン取替他)	低	13M	○	14		
		分解点検		26M	—	14		
		機能・性能試験		2C	—	14	GN4-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 B 循環水ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52M	—	14		
4 A 湿分分離加熱器第1段ドレンタンク		開放点検	低	26M	○	13		
4 B 湿分分離加熱器第1段ドレンタンク		開放点検	低	26M	—	14		
4 C 湿分分離加熱器第1段ドレンタンク		開放点検	低	26M	○	13		
4 D 湿分分離加熱器第1段ドレンタンク		開放点検	低	26M	—	14		
4 A 湿分分離加熱器第2段ドレンタンク		開放点検	低	26M	○	13		
4 B 湿分分離加熱器第2段ドレンタンク		開放点検	低	26M	—	14		
4 C 湿分分離加熱器第2段ドレンタンク		開放点検	低	26M	○	13		
4 D 湿分分離加熱器第2段ドレンタンク		開放点検	低	26M	—	14		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4 A 湿分分離器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	14		
	4 B 湿分分離器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	14		
	4 A 低圧給水加熱器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	14		
	4 B 低圧給水加熱器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	14		
4V-AS-006 4号 脱気器加熱蒸気逃がし弁	分解点検	低	26M	○	13			
	機能・性能試験		2C	○	13	GN4-124 2次系安全弁検査		
4V-AS-007 4号 脱気器加熱蒸気逃がし弁	分解点検	低	26M	—	14			
	機能・性能試験		2C	—	14	GN4-124 2次系安全弁検査		
4V-CW-027A 4 A C P吸込ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	○	13			
	機能・性能試験		2C	○	13	GN4-124 2次系安全弁検査		
4V-CW-027B 4 B C P吸込ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	—	14			
	機能・性能試験		2C	—	14	GN4-124 2次系安全弁検査		
4V-CW-027C 4 C C P吸込ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	○	13			
	機能・性能試験		2C	○	13	GN4-124 2次系安全弁検査		
4V-CW-028A 4 A 低圧第1ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	○	13			
	機能・性能試験		2C	○	13	GN4-124 2次系安全弁検査		
4V-CW-028B 4 B 低圧第1ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	—	14			
	機能・性能試験		2C	—	14	GN4-124 2次系安全弁検査		
4V-CW-028C 4 C 低圧第1ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	—	14			
	機能・性能試験		2C	—	14	GN4-124 2次系安全弁検査		
4V-CW-029A 4 A 低圧第3ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	○	13			
	機能・性能試験		2C	○	13	GN4-124 2次系安全弁検査		
4V-CW-029B 4 B 低圧第3ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	—	14			
	機能・性能試験		2C	—	14	GN4-124 2次系安全弁検査		
4V-FW-013A 4 A 高圧第7ヒータ入口給水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	○	13			
	機能・性能試験		2C	○	13	GN4-124 2次系安全弁検査		
4V-FW-013B 4 B 高圧第7ヒータ入口給水ライン逃がし弁	分解点検	低	26M	—	14			
	機能・性能試験		2C	—	14	GN4-124 2次系安全弁検査		
4V-RS-121 4号 湿分分離加熱器逃がし弁	分解点検	低	26M	—	14			
	機能・性能試験		2C	—	14	GN4-124 2次系安全弁検査		
4V-RS-122 4 A 湿分分離加熱器リリーフ弁	分解点検	低	26M	—	14			
	機能・性能試験		2C	—	14	GN4-124 2次系安全弁検査		
4V-RS-123 4 B 湿分分離加熱器リリーフ弁	分解点検	低	26M	—	14			
	機能・性能試験		2C	—	14	GN4-124 2次系安全弁検査		
4V-RS-124 4 C 湿分分離加熱器リリーフ弁	分解点検	低	26M	—	14			
	機能・性能試験		2C	—	14	GN4-124 2次系安全弁検査		



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-RS-125 4 D 湿分分離加熱器リリー弁		分解点検	低	26M	—	14		
		機能・性能試験		2C	—	14		
4V-RS-126 4 E 湿分分離加熱器リリー弁		分解点検	低	26M	—	14		
		機能・性能試験		2C	—	14		
4V-RS-127 4 F 湿分分離加熱器リリー弁		分解点検	低	26M	—	14		
		機能・性能試験		2C	—	14		
4V-RS-128 4 G 湿分分離加熱器リリー弁		分解点検	低	26M	○	13		
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-RS-129 4 H 湿分分離加熱器リリー弁		分解点検	低	26M	○	13		
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-RS-130 4 J 湿分分離加熱器リリー弁		分解点検	低	26M	○	13		
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-RS-131 4 K 湿分分離加熱器リリー弁		分解点検	低	26M	○	13		
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-RS-132 4 L 湿分分離加熱器リリー弁		分解点検	低	26M	○	13		
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-RS-133 4 M 湿分分離加熱器リリー弁		分解点検	低	26M	○	13		
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-RS-134 4 N 湿分分離加熱器リリー弁		分解点検	低	26M	○	13		
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-BS-771A 4 A 低圧第3給水加熱器逃がし弁		分解点検	低	26M	○	13		
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-BS-771B 4 B 低圧第3給水加熱器逃がし弁		分解点検	低	26M	—	14		
		機能・性能試験		2C	—	14		
4V-BS-781A 4 A 低圧第4給水加熱器逃がし弁		分解点検	低	26M	○	13		
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-BS-781B 4 B 低圧第4給水加熱器逃がし弁		分解点検	低	26M	—	14		
		機能・性能試験		2C	—	14		
4V-BS-801A 4 A 低圧第5給水加熱器逃がし弁		分解点検	低	26M	○	13		
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-BS-801B 4 B 低圧第5給水加熱器逃がし弁		分解点検	低	26M	—	14		
		機能・性能試験		2C	—	14		
4V-BS-821A 4 A 高圧第7給水加熱器逃がし弁		分解点検	低	26M	○	13		
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-BS-821B 4 B 高圧第7給水加熱器逃がし弁		分解点検	低	26M	—	14		
		機能・性能試験		2C	—	14		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査者	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4V-SC-501 4号 スチームコンバータ安全弁		分解点検	低	26M	○	13		
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-AS-637 4号 ほう酸補給タンク加熱器入口安全弁		分解点検	低	10Y	—	2021年度	GN4-86 1次系安全弁検査	ブランド運転中
		漏えい試験		10F	—	2021年度		
		機能・性能試験		10F	—	2021年度		
補助給水系		機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-23 補助給水系機能検査	
4 A 電動補助給水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14	GN4-24 補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52M	○	11		
4 A 電動補助給水ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52M	○	10		
4 B 電動補助給水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14	GN4-24 補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52M	—	13		
4 B 電動補助給水ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52M	—	13		
4号 タービン動補助給水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14	GN4-24 補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52M	—	12		
4号 タービン動補助給水ポンプタービン		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14	GN4-24 補助給水系ポンプ分解検査 GN4-84 1次系ポンプ機能検査	(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52M	—	12		
		機能・性能試験		4C	—	12		
4号 復水ピット		開放点検	高	26M	—	14		
4RCV-3715 4号 T/D AFWP出口流量設定弁A		駆動部点検	高	130M	○	5	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	○	5		
		機能・性能試験		10C	○	5		
4RCV-3725 4号 T/D AFWP出口流量設定弁B		駆動部点検	高	130M	—	6	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12		
4RCV-3735 4号 T/D AFWP出口流量設定弁C		駆動部点検	高	130M	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13		
4RCV-3745 4号 T/D AFWP出口流量設定弁D		駆動部点検	高	130M	—	8	GN4-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	14		
		機能・性能試験		10C	—	14		
4V-FW-553A 4 A M/D AFWP出口逆止弁		分解点検	高	39M	○	12		
4V-FW-553B 4 B M/D AFWP出口逆止弁		分解点検	高	39M	—	14		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術	
	4V-FW-557A 4 A M/D AFWP出口流量設定弁A	駆動部点検	高	130M	—	11			
		分解点検		130M	—	11			
		機能・性能試験		10C	—	11	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	11			
	4V-FW-557B 4 A M/D AFWP出口流量設定弁B	駆動部点検	高	130M	—	13			
		分解点検		130M	—	13			
		機能・性能試験		10C	—	13	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	13			
	4V-FW-557C 4 B M/D AFWP出口流量設定弁C	駆動部点検	高	130M	—	14			
		分解点検		130M	—	14			
		機能・性能試験		10C	—	14	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	10			
	4V-FW-557D 4 B M/D AFWP出口流量設定弁D	駆動部点検	高	130M	—	14			
		分解点検		130M	—	14			
		機能・性能試験		10C	—	14	GN4-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検		130M	—	7			
	4V-FW-559A 4 A M/D AFWP出口流量設定弁後逆止弁A	分解点検	高	39M	—	14			
	4V-FW-559B 4 A M/D AFWP出口流量設定弁後逆止弁B	分解点検	高	39M	○	12			
	4V-FW-559C 4 B M/D AFWP出口流量設定弁後逆止弁C	分解点検	高	39M	—	14			
	4V-FW-559D 4 B M/D AFWP出口流量設定弁後逆止弁D	分解点検	高	39M	—	14			
4V-FW-568A 4号 T/D AFWP出口流量設定弁後逆止弁A	分解点検	高	39M	—	14				
4V-FW-568B 4号 T/D AFWP出口流量設定弁後逆止弁B	分解点検	高	39M	—	14				
4V-FW-568C 4号 T/D AFWP出口流量設定弁後逆止弁C	分解点検	高	39M	○	12				
4V-FW-568D 4号 T/D AFWP出口流量設定弁後逆止弁D	分解点検	高	39M	○	12				
4V-FW-573A 4 A 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M	—	14				
4V-FW-573B 4 B 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M	—	14				
4V-FW-573C 4 C 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M	○	12				
4V-FW-573D 4 D 補助給水逆止弁	分解点検	高	39M	○	12				
4V-FW-574A 4 A 補助給水隔離弁	簡易点検(グラッドパッキン取替)	高	65M	—	12				
	駆動部点検		130M	—	12				
	分解点検		130M	—	12				
	機能・性能試験		10C	—	12	GN4-85 1次系弁検査			
	電動機分解点検		130M	—	12				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-FW-574B 4 B 補助給水隔離弁	簡易点検(グラウンドパッキン取替)	高	65M	—	13		
		駆動部点検		130M	—	13		
		分解点検		130M	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	13		
	4V-FW-574C 4 C 補助給水隔離弁	簡易点検(グラウンドパッキン取替)	高	65M	—	14		
		駆動部点検		130M	—	14		
		分解点検		130M	—	14		
		機能・性能試験		10C	—	14	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	14		
	4V-FW-574D 4 D 補助給水隔離弁	簡易点検(グラウンドパッキン取替)	高	65M	○	10		
		駆動部点検		130M	○	11		
		分解点検		130M	○	5		
		機能・性能試験		10C	○	11	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	○	5		
	4V-FW-580 4号 復水ビットM/D AFWP 側止弁	駆動部点検	高	130M	○	5		
		分解点検		130M	○	5		
		機能・性能試験		10C	○	5	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	○	5		
	4V-FW-581 4号 復水ビットT/D AFWP 側止弁	駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7	GN4-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
	4V-FW-587 4号 T/D AFWP 2次系純水タンク側入口弁	駆動部点検	高	130M	—	7		
分解点検		130M		—	7			
電動機分解点検		130M		—	7			
4V-FW-589 4号 T/D AFWP 2次系純水タンク側逆止弁	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加	
スチームコンバータ	開放点検	低	13M	○	14			
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する管等)	主蒸気管	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	14		
	低温再熟蒸気管(A湿分離器左側)	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	11		
	低温再熟蒸気管(A湿分離器右側)	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	○	9		
	低温再熟蒸気管(A湿分離器上側)	開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	13		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
低温再熟蒸気管(D湿分離器左側)		開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	12		
低温再熟蒸気管(D湿分離器右側)		開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	10		
低温再熟蒸気管(D湿分離器上側)		開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	14		
高温再熟蒸気管(LP-1)		開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	13		
高温再熟蒸気管(LP-2)		開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	14		
高温再熟蒸気管(LP-3)		開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	12		
第7抽気管		開放点検(目視)	低	39M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
		外観点検		1C	○	14		
第6抽気管		開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
		外観点検		1C	○	14		
第5抽気管		開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
		外観点検		1C	○	14		
第4抽気管		開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
		外観点検		1C	○	14		
第3抽気管		開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
		外観点検		1C	○	14		
第2抽気管		開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
		外観点検		1C	○	14		
第1抽気管		開放点検(目視)	低	13M	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
		外観点検		1C	○	14		
湿分離加熱器第1段加熱蒸気管		開放点検(目視)	低	39M	—	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
		外観点検		1C	○	14		
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備)	1. ディーゼル発電機 2台 2. 安全注入信号及び格納容器スプレイ信号発信時、非常用ディーゼル発電機に電源を求めめる機器 50台	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-53 非常用予備発電装置機能検査	
		非常用ディーゼル発電機保護装置(継電器)	特性試験	高	13M	○	14	
	4A ディーゼル発電機	発電機分解点検	高	78M	—	13		(振動診断:1ヶ月)
		普通点検(軸受点検)		26M	○	13		
		簡易点検		13M	○	14		
	4A ディーゼル発電機NGR断路器	外観点検	高	1C	○	14		
	4A ディーゼル発電機接地変圧器	外観点検	高	1C	○	14		
	4A ディーゼル発電機CT取納盤	外観点検	高	1C	○	14		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4 B ディーゼル発電機		発電機分解点検	高	78M	○	11		(振動診断:1ヶ月)
		普通点検(軸受点検)		26M	○	14		
		簡易点検		13M	○	14		
4 B ディーゼル発電機NGR断路器		外観点検	高	1C	○	14		
4 B ディーゼル発電機接地変圧器		外観点検	高	1C	○	14		
4 B ディーゼル発電機CT取締盤		外観点検	高	1C	○	14		
4 A No1,9シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No2,10シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	12	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No3,11シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	13	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No4,12シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	14	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No5,13シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	○	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No6,14シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No7,15シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No8,16シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No1,9シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No2,10シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No3,11シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No4,12シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	○	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No5,13シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	14	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No6,14シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	13	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No7,15シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	12	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No8,16シリンダ・ピストン・ピストン連接棒・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A 吸気弁 (32台) 開放シリンダのみ実施		分解点検	高	104M	○	14	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B 吸気弁 (32台) 開放シリンダのみ実施		分解点検	高	104M	○	14	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A 排気弁 (32台)		分解点検	高	13M	○	14	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B 排気弁 (32台)		分解点検	高	13M	○	14	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A 燃料噴射弁 (16台)		分解点検	高	13M	○	14	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B 燃料噴射弁 (16台)		分解点検	高	13M	○	14	GN4-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A 非常用ディーゼル発電機系統		外観点検	高	1C	○	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
4 A 非常用ディーゼル発電機燃料油配管		外観点検	高	4C	—	12		屋外保温材施工部
4 B 非常用ディーゼル発電機系統		外観点検	高	1C	○	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
4 B 非常用ディーゼル発電機燃料油配管		外観点検	高	4C	—	12		屋外保温材施工部
4 A 潤滑油プライミングポンプ		分解点検	高	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
4 A 潤滑油プライミングポンプ用電動機		分解点検	高	26M	—	14		(振動診断:1ヶ月)
4 B 潤滑油プライミングポンプ		分解点検	高	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
4 B 潤滑油プライミングポンプ用電動機		分解点検	高	26M	—	14		(振動診断:1ヶ月)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
4 A 温水循環ポンプ		分解点検	高	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
4 A 温水循環ポンプ用電動機		分解点検	高	26M	—	14		(振動診断:1ヶ月)
4 B 温水循環ポンプ		分解点検	高	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
4 B 温水循環ポンプ用電動機		分解点検	高	26M	—	14		(振動診断:1ヶ月)
4 A シリダ冷却水ポンプ(機付)		分解点検	高	26M	○	13		
4 B シリダ冷却水ポンプ(機付)		分解点検	高	26M	—	14		
4 A 燃料弁冷却水ポンプ		簡易点検(グラッドパッキン取替他)	高	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
	分解点検	39M		—	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査		
4 A 燃料弁冷却水ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	○	12		(振動診断:1ヶ月)
4 B 燃料弁冷却水ポンプ		簡易点検(グラッドパッキン取替他)	高	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
	分解点検	39M		—	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査		
4 B 燃料弁冷却水ポンプ用電動機		分解点検	高	39M	○	12		(振動診断:1ヶ月)
4 A 燃料油供給ポンプ(機付)		分解点検	高	39M	—	14		
4 B 燃料油供給ポンプ(機付)		分解点検	高	39M	—	13		
4 A 潤滑油ポンプ(機付)		分解点検	高	52M	—	14		
4 B 潤滑油ポンプ(機付)		分解点検	高	52M	○	11		
4 A 燃料油移送ポンプ		簡易点検(センターリング他)	高	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
	分解点検	65M		—	11	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査		
4 A 燃料油移送ポンプ用電動機		分解点検	高	65M	○	11		(振動診断:1ヶ月)
4 B 燃料油移送ポンプ		簡易点検(センターリング他)	高	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
	分解点検	65M		—	12	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査		
4 B 燃料油移送ポンプ用電動機		分解点検	高	65M	—	12		(振動診断:1ヶ月)
4 A 過給機(左, 右)		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		
	分解点検	130M		—	11			
4 B 過給機(左, 右)		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	14		
	分解点検	130M		—	11			
4 A 潤滑油冷却器		開放点検	高	13M	○	14		
	非破壊試験	13M		○	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査		
4 B 潤滑油冷却器		開放点検	高	13M	○	14		
	非破壊試験	13M		○	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査		
4 A 清水冷却器		開放点検	高	13M	○	14		
	非破壊試験	13M		○	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査		
4 B 清水冷却器		開放点検	高	13M	○	14		
	非破壊試験	13M		○	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
4 A 燃料弁冷却水冷却器		開放点検	高	13M	○	14		
		非破壊試験		13M	○	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
4 B 燃料弁冷却水冷却器		開放点検	高	13M	○	14		
		非破壊試験		13M	○	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
4 A-1 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	14		
		非破壊試験		13M	○	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
4 A-2 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	14		
		非破壊試験		13M	○	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
4 B-1 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	14		
		非破壊試験		13M	○	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
4 B-2 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	14		
		非破壊試験		13M	○	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
4 A-1 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	14		
4 A-1 清水加熱器ヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	14		
4 A-2 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	14		
4 A-2 清水加熱器ヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	14		
4 B-1 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	14		
4 B-1 清水加熱器ヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	14		
4 B-2 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	14		
4 B-2 清水加熱器ヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	14		
4 A シリンダ冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	14		
4 B シリンダ冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	14		
4 A-1 空気だめ		開放点検	高	13M	○	14		
4 A-2 空気だめ		開放点検	高	13M	○	14		
4 B-1 空気だめ		開放点検	高	13M	○	14		
4 B-2 空気だめ		開放点検	高	13M	○	14		
4 A 燃料弁冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	14		
4 B 燃料弁冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	14		
4 A 潤滑油タンク		開放点検	高	65M	○	11		
4 A 潤滑油タンクヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	14		
4 B 潤滑油タンク		開放点検	高	65M	○	11		
4 B 潤滑油タンクヒータ		機能・性能試験	高	1C	○	14		
4 A 燃料油サービスタンク		開放点検	高	130M	—	11		
4 B 燃料油サービスタンク		開放点検	高	130M	—	11		
4 A 潤滑油逆洗こし器		開放点検	低	13M	○	14		
4 B 潤滑油逆洗こし器		開放点検	低	13M	○	14		



機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4 A 潤滑油主こし器(右)	開放点検	高	13M	○	14		
	4 A 潤滑油主こし器(左)	開放点検	高	13M	○	14		
	4 B 潤滑油主こし器(右)	開放点検	高	13M	○	14		
	4 B 潤滑油主こし器(左)	開放点検	高	13M	○	14		
	4 A 燃料油第 1 こし器 1	開放点検	高	13M	○	14		
	4 A 燃料油第 1 こし器 2	開放点検	高	13M	○	14		
	4 B 燃料油第 1 こし器 1	開放点検	高	13M	○	14		
	4 B 燃料油第 1 こし器 2	開放点検	高	13M	○	14		
	4 A 燃料油第 2 こし器 1	開放点検	高	13M	○	14		
	4 A 燃料油第 2 こし器 2	開放点検	高	13M	○	14		
	4 B 燃料油第 2 こし器 1	開放点検	高	13M	○	14		
	4 B 燃料油第 2 こし器 2	開放点検	高	13M	○	14		
	4 A シリンド安全弁 (16台)	分解点検	高	130M	○	10		
		機能・性能試験		10C	○	10	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 B シリンド安全弁 (16台)	分解点検	高	130M	○	10		
		機能・性能試験		10C	○	10	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 A クランク室安全弁 (4台)	分解点検	高	130M	—	14		
		機能・性能試験		10C	—	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		漏えい試験		10C	—	14		
	4 B クランク室安全弁 (4台)	分解点検	高	130M	—	14		
		機能・性能試験		10C	—	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
		漏えい試験		10C	—	14		
	4 A 空気圧縮機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		26M	○	13		
	4 A 空気圧縮機用電動機	分解点検	低	78M	—	12		
	4 B 空気圧縮機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		26M	—	14		
	4 B 空気圧縮機用電動機	分解点検	低	78M	—	12		
	4 A 非常調速装置	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 B 非常調速装置	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 A 調速装置	分解点検	高	52M	—	12		
	4 B 調速装置	分解点検	高	52M	—	13		
	4 A 計測装置	特性試験	高	13M	○	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 B 計測装置	特性試験	高	13M	○	14	GN4-134 非常用予備発電機付属設備検査	
	4 A 1 主始動弁	分解点検	高	13M	○	14		
	4 A 2 主始動弁	分解点検	高	13M	○	14		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査者	備考 ( )内は適用する設備診断技術
	4 B 1 主始動弁	分解点検	高	13M	○	14		
	4 B 2 主始動弁	分解点検	高	13M	○	14		
	4 A 非常用ディーゼル発電機 機関本体	分解点検	高	13M	○	14		
	4 B 非常用ディーゼル発電機 機関本体	分解点検	高	13M	○	14		
	4 A 燃料油貯油そう (重大事故等時のみ3,4号機共用)	開放点検	高	130M	—	14		
		気密試験		2C	—	14		
	4 A 燃料油貯油そう基礎 (土木建築設備)	外観点検	高	1C	○	14		
	4 A 燃料油貯蔵タンク (重大事故等時のみ3,4号機共用)	開放点検	高	130M	—	—		第11回定検より追加
		気密試験		2C	—	14		
	4 A 燃料油貯蔵タンク基礎 (土木建築設備)	外観点検	高	1C	○	14		
	4 B 燃料油貯油そう (重大事故等時のみ3,4号機共用)	開放点検	高	130M	○	10		
		気密試験		2C	—	14		
	4 B 燃料油貯油そう基礎 (土木建築設備)	外観点検	高	1C	○	14		
	4 B 燃料油貯蔵タンク (重大事故等時のみ3,4号機共用)	開放点検	高	130M	—	—		第11回定検より追加
		気密試験		2C	—	14		
	4 B 燃料油貯蔵タンク基礎 (土木建築設備)	外観点検	高	1C	○	14		
	4V-DG-613A 4 A 空気だめ安全弁(A)	分解点検	高	130M	—	13		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13		
	4V-DG-613B 4 B 空気だめ安全弁(A)	分解点検	高	130M	—	13		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13		
	4V-DG-614A 4 A 空気だめ安全弁(B)	分解点検	高	130M	—	11		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
	4V-DG-614B 4 B 空気だめ安全弁(B)	分解点検	高	130M	—	11		GN4-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
	4V-DG-627A 4 A 空気圧縮機1段安全弁	分解点検	低	130M	—	6		GN4-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		10C	—	6		
		漏えい試験		10C	—	6		
		外観点検		10C	—	6		
	4V-DG-627B 4 B 空気圧縮機1段安全弁	分解点検	低	130M	—	7		GN4-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験		10C	—	7		
		漏えい試験		10C	—	7		
		外観点検		10C	—	7		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
	4V-DG-630A 4 A 空気圧縮機 2 段安全弁	分解点検	低	130M	—	6	GN4-86 1 次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	6		
		漏えい試験		10C	—	6		
		外観点検		10C	—	6		
	4V-DG-630B 4 B 空気圧縮機 2 段安全弁	分解点検	低	130M	—	7	GN4-86 1 次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	7		
		漏えい試験		10C	—	7		
		外観点検		10C	—	7		
	4V-DG-633A 4 A 空気圧縮機 3 段安全弁	分解点検	低	130M	—	6	GN4-86 1 次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	6		
		漏えい試験		10C	—	6		
		外観点検		10C	—	6		
	4V-DG-633B 4 B 空気圧縮機 3 段安全弁	分解点検	低	130M	—	7	GN4-86 1 次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	7		
		漏えい試験		10C	—	7		
		外観点検		10C	—	7		
4V-DG-015A 4 A 温水循環ポンプ出口逆止弁	取替	高	65M	—	13			
	4V-DG-015B 4 B 温水循環ポンプ出口逆止弁	取替	高	65M	—	13		
その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他)	発電機	普通点検(軸受点検)	低	26M	○	13		
		分解点検		78M	○	13		
		機能・性能試験 (組立状況)		1C	○	14	GN4-129 蒸気タービン開放検査	
	励磁機	普通点検(軸受点検他)	低	26M	○	13		
		分解点検		78M	○	13		
	発電機保護装置(継電器)	特性試験	低	26M	—	14		
	主変圧器	普通点検(特性試験他)	高	13M	○	14		
		分解点検		195M	○	—		
	所内変圧器	普通点検(特性試験他)	高	13M	○	14		
		分解点検		195M	—	12		
	主変圧器・所内変圧器保護装置(継電器)	特性試験	低	26M	—	14		
	2Lユニット	普通点検(特性試験他)	低	13M	○	14		
		分解点検		156M	—	8		
	4MT rユニット	普通点検(特性試験他)	高	13M	○	14		
		分解点検		156M	—	10		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	BUS TIEユニット	普通点検(特性試験他)	低	13M	○	14		
		分解点検		150M	—	11		
	4C 充電器盤	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	4C ドロップ盤	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	4C 蓄電池	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	母線保護装置(継電器)	特性試験	低	78M	—	11		
	送電線保護装置(継電器)	特性試験	低	78M	—	14		
	電流計(500kV 玄海幹線2L北線) (3,4号機共用)	特性試験	低	26M	○	13		
その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置)	遮断器 4-4 AEG	機能・性能試験	高	2C	○	13		
		内部点検		130M	—	13		
	遮断器 4-4 BEG	機能・性能試験	高	2C	—	14		
		内部点検		130M	—	12		
	6.6kV 4-4C母線	機能・性能試験	高	4C	—	13		
	6.6kV 4-4C母線PT-1	機能・性能試験	高	4C	○	11		
	6.6kV 4-4C母線PT-2	機能・性能試験	高	4C	○	11		
	6.6kV 4-4D母線	機能・性能試験	高	4C	—	12		
	6.6kV 4-4D母線PT-1	機能・性能試験	高	4C	—	14		
	6.6kV 4-4D母線PT-2	機能・性能試験	高	4C	—	14		
	受電遮断器 4-4 EC	機能・性能試験	高	2C	○	13		
		内部点検		130M	—	13		
	受電遮断器 4-4 ED	機能・性能試験	高	2C	—	14		
		内部点検		130M	—	12		
	受電遮断器 4-4 HC	機能・性能試験	高	2C	○	13		
		内部点検		130M	—	13		
	受電遮断器 4-4 HD	機能・性能試験	高	2C	—	14		
		内部点検		130M	—	12		
	遮断器 3-4 C1H	機能・性能試験	高	2C	○	13		
		内部点検		130M	—	13		
	遮断器 3-4 C2H	機能・性能試験	高	2C	○	13		
		内部点検		130M	—	13		
	遮断器 3-4 D1H	機能・性能試験	高	2C	—	14		
		内部点検		130M	—	12		
	遮断器 3-4 D2H	機能・性能試験	高	2C	—	14		
		内部点検		130M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4-4C 6、6kVメタクラ(安全系遮断器)	機能・性能試験	高	2C	○	13		
		内部点検		130M	—	13		
	4-4D 6、6kVメタクラ(安全系遮断器)	機能・性能試験	高	2C	—	14		
		内部点検		130M	—	12		
	所内電源保護装置(継電器)	特性試験	高	26M	—	14		
	440V 3-4C1母線	機能・性能試験	高	4C	○	11		
	遮断器 3-4C1L	機能・性能試験	高	2C	○	13		
		蓄勢部点検		78M	—	11		
	440V 3-4C1母線PT-1	機能・性能試験	高	4C	○	11		
	440V 3-4C1母線PT-2	機能・性能試験	高	4C	○	11		
	4C1 動力変圧器	機能・性能試験	高	2C	○	13		
	440V 3-4C2母線	機能・性能試験	高	4C	○	11		
	遮断器 3-4C2L	機能・性能試験	高	2C	○	13		
		蓄勢部点検		78M	—	11		
	440V 3-4C2母線PT-1	機能・性能試験	高	4C	○	11		
	440V 3-4C2母線PT-2	機能・性能試験	高	4C	○	11		
	4C2 動力変圧器	機能・性能試験	高	2C	○	13		
	440V 3-4C2母線	機能・性能試験	高	4C	○	11		
	遮断器 3-4D1L	機能・性能試験	高	2C	—	14		
		蓄勢部点検		78M	—	12		
	440V 3-4D1母線PT-1	機能・性能試験	高	4C	—	14		
	440V 3-4D1母線PT-2	機能・性能試験	高	4C	—	14		
	4D1 動力変圧器	機能・性能試験	高	2C	—	14		
	440V 3-4D2母線	機能・性能試験	高	4C	—	14		
	遮断器 3-4D2L	機能・性能試験	高	2C	—	14		
		蓄勢部点検		78M	—	12		
	440V 3-4D2母線PT-1	機能・性能試験	高	4C	—	14		
	440V 3-4D2母線PT-2	機能・性能試験	高	4C	—	14		
	4D2 動力変圧器	機能・性能試験	高	2C	—	14		
	3-4C 440Vパワーセンタ(安全系遮断器)	機能・性能試験	高	2C	○	13		
蓄勢部点検		78M		—	11			
3-4D 440Vパワーセンタ(安全系遮断器)	機能・性能試験	高	2C	—	14			
	蓄勢部点検		78M	—	12			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査者	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
	4 C 1 原子炉コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	—	13		
	4 C 2 原子炉コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	—	13		
	4 C 3 原子炉コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	○	11		
	4 C 4 原子炉コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	—	11		
	4 D 1 原子炉コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	—	14		
	4 D 2 原子炉コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	—	14		
	4 D 3 原子炉コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	○	11		
	4 D 4 原子炉コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	—	11		
	4 A ディーゼル発電機コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	—	11		
	4 B ディーゼル発電機コントロールセンタ	機能・性能試験	高	6C	—	10		
	4 A 直流コントロールセンタ	機能・性能試験	高	16C	—	11		
	4 A 充電器盤	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	4 A ドロッパ盤	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	4 A 蓄電池 (安全防護系用)	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-222 直流電源系機能検査	
		機能・性能試験		1C				
	4 B 直流コントロールセンタ	機能・性能試験	高	16C	—	11		
	4 B 充電器盤	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	4 B ドロッパ盤	機能・性能試験	高	1C	○	14		
	4 B 蓄電池 (安全防護系用)	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-222 直流電源系機能検査	
		機能・性能試験		1C				
	直流分電盤(安全系)	機能・性能試験	高	16C	○	—		
	タービン動補給水ポンプ盤	機能・性能試験	高	16C	—	12		
	計装用インバータ 4台	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-112 インバータ機能検査	
火災防護設備 (消火設備)	ハロン消火設備 (4号本館建屋)	機能・性能試験	低	1C	○	14		
	ハロン消火設備 (雑固体溶融処理建屋)	機能・性能試験	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	二酸化炭素自動消火設備 (D/G)	機能・性能試験	低	1C	○	14		
	水噴霧消火設備 (WM/B) (3,4号機共用)	分解点検		低	10Y	—	—	
機能・性能試験				1F	○	2021年度		
火災防護設備 (その他設備)	防火ダンバ 1台	機能点検	高	13M	○	14		
	防火ダンバ 3台	機能点検	高	26M	—	14		
	防火ダンバ 32台	機能点検	低	26M	—	14		
	防火兼ハロン運動ダンバ 4台	機能点検	高	26M	—	14		
	防火兼ハロン運動ダンバ 4台	機能点検	低	26M	—	14		
	ハロン運動ダンバ 38台	機能点検	高	26M	—	14		
	ハロン運動ダンバ 19台	機能点検	低	26M	—	14		
	原子炉補助建屋 防火扉 12箇所	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉周辺建屋 防火扉 80箇所	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
浸水防護設備 (外郭浸水防護設備) (内郭浸水防護設備)	原子炉周辺建屋水密扉 5箇所	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	海水ポンプエリア水密扉 2箇所	外観点検	低	1F	○	2022年度		定検停止中又はプラント運転中
	取水ビット搬入口蓋 (3,4号機共用)	外観点検	低	1F	○	2022年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉周辺建屋渠 15箇所	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉周辺建屋管理区域外伝ば防止堰 9箇所	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
浸水防護施設 (その他設備)	床ドレンライン逆止弁 70台	分解点検	低	10Y	—	—		定検停止中又はプラント運転中 第11回定検より追加
非常用取水設備 (取水設備)	取水口 (重大事故等時のみ3,4号機共用)	外観点検	高	1C	○	14		
	取水管路 (重大事故等時のみ3,4号機共用)	外観点検	高	1C	○	14		
	取水ビット (重大事故等時のみ3,4号機共用)	外観点検	高	1C	○	14		
土木建築設備	原子炉格納容器	外観点検	高	1C	○	14		
	原子炉周辺建屋	外観点検	高	1C	○	14		
	罐固体溶融処理建屋	外観点検	低	1C	○	14		
プラント総合全般機器	発電用原子炉及びその附属施設(非常用電源設備を除く)	総合性能試験	高	1C	○	14	GN4-55 総合負荷性能検査	定検起動後
電巻防護設備	ディーゼル発電機室水密扉 2箇所	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	ディーゼル発電機室給気塔入口扉 2箇所	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	蓄電池室(安全系)排気塔入口扉	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	ディーゼル発電機室給気塔防護鋼板 1式	外観点検	低	1C	○	14		
	蓄電池室(安全系)排気塔防護鋼板 1式	外観点検	低	1C	○	14		

## 2. 点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( ) 内は適用する設備診断技術
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵設備)	使用済燃料ビット水位 (SA) 1台	特性試験	高	13M	○	14	GM4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	使用済燃料ビット水位 (広域) 2台	特性試験	高	13M	○	14	GM4-73 計測制御系監視機能検査	
	使用済燃料ビット温度 (SA) 1台	特性試験	高	13M	○	14	GM4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	使用済燃料ビット状態監視カメラ 1台	特性試験	低	13M	○	14		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備)	使用済燃料ビットスプレイレイン 集水分岐管送水用 2.0 mホース 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	使用済燃料ビットスプレイレイン 集水分岐管送水用 3.0 mホース 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	使用済燃料ビットスプレイレイン 集水分岐管送水用 4.0 mホース 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	使用済燃料ビットスプレイレイン 使用済燃料ビットスプレイレインヘッド送水用 1.0 mホース 3本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備)	1. 高圧注入系 ・高圧注入ポンプ : 2台 ・モード切替弁 : 14個 2. 低圧注入系 ・余熱除去ポンプ : 2台 ・モード切替弁 : 8個 3. 原子炉格納容器スプレイ系 ・B格納容器スプレイポンプ ・モード切替弁 : 4個 4. 充てん注入系 ・充てんポンプ : 3台 ・モード切替弁 : 4個 5. 蓄圧注入系 ・蓄圧タンク : 4基 ・蓄圧タンク出口弁 : 4個 6. 常設電動注入ポンプ : 1台	機能・性能試験	高	1C	○	14	GM4-205 その他原子炉注水系機能検査	
原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却設備)	原子炉補機冷却水サージタンク用窒素ボンベ 7本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2022年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン窒素供給用 3.8 mフレキシブルホース 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉補機海水冷却ライン排水用 3mフレキシブルホース (オス型継手) 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉補機海水冷却ライン排水用 4mフレキシブルホース (メス型継手) 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	4V-CC-241 4A C/CW冷却器海水供給ライン第二止弁	分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
	4V-CC-246 4B S1Pポンプ・モータ冷却水戻りライン海水排水ライン止弁	分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
	4V-CC-247 4B 制御用空気圧縮装置冷却水戻りライン海水排水止弁	分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
	4V-CC-248A 4A C/V再循環ユニット冷却水戻りライン海水排水第一止弁	分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
	4V-CC-248B 4B C/V再循環ユニット冷却水戻りライン海水排水第一止弁	分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
	4V-CC-251 4B C/H P自己冷却水供給ライン第二止弁	分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加
	4V-CC-252 4B C/H P自己冷却水戻りライン第一止弁	分解点検	高	195M	—	—		第1.4回定検より追加



機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
計測制御系統施設 (計測装置)	AM用消火水積算流量	特性試験	高	13M	○	14	GM4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	4 B格納容器スプレイ流量積算流量	特性試験	高	13M	○	14	GM4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	格納容器内温度(SA)	特性試験	高	13M	○	14	GM4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	原子炉下部キャビティ水位	特性試験	高	13M	○	14	GM4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	原子炉格納容器水位	特性試験	高	13M	○	14	GM4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	AM用格納容器圧力	特性試験	高	13M	○	14	GM4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	原子炉容器水位	特性試験	高	13M	○	14	GM4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	アニュラス水素濃度 2 個	特性試験	高	13M	○	14	GM4-35 プラント状態監視設備機能検査	
	重大事故等対処用入出力盤	特性試験	高	13M	○	14		
	重大事故等対処用制御盤	特性試験	高	13M	○	14		
計測制御系統施設 (工学的安全施設等の作動信号)	多様化自動作動設備	特性試験	高	13M	○	14	GM4-207 重大事故時安全停止回路機能検査	
		機能・性能試験		1C	○	14		
計測制御系統施設 (制御用空気設備)	加圧器逃がし弁用窒素ボンベ 6 本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	アニュラス空気浄化ファン弁用窒素ボンベ 2 本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	事故時試料採取設備弁用窒素ボンベ 2 本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	4V-NM-208 加圧器逃がし弁 A 窒素供給ライン安全弁	分解点検又は取替	低	130M	—	13	GM4-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13		
	4V-NM-218 加圧器逃がし弁 B 窒素供給ライン安全弁	分解点検又は取替	低	130M	—	13	GM4-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13		
	4V-NM-248 加圧器逃がし弁窒素供給ライン安全弁	分解点検又は取替	低	130M	—	13	GM4-86 1 次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13		
	4V-1A-713 4 B アニュラス空気浄化系弁用窒素供給ライン安全弁	分解点検又は取替	低	130M	○	—	GM4-86 1 次系安全弁検査	第11回定検より追加
		漏えい試験		10C	○	—		
機能・性能試験		10C		○	—			
4V-1A-654 格納容器空気サンプル取出及び格納容器雰囲気ガスサンプル戻りライン外 隔離弁事故時制御用窒素供給ライン安全弁	分解点検又は取替	低	130M	—	14	GM4-86 1 次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C	—	14			
	機能・性能試験		10C	—	14			
加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用 2.5 mフレキシブルホース 3 本 (予備含む)	外観点検	高	1C	○	14			
アニュラス空気浄化ファン弁用制御用空気ライン窒素供給用 6 mフレキシブルホース 2 本 (予備含む)	外観点検	高	1C	○	14			
事故時試料採取設備弁用制御用空気ライン窒素供給用 3 mフレキシブルホース 2 本 (予備含む)	外観点検	高	1C	○	14			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( )内は適用する設備診断技術
計測制御系統施設 (その他設備)	可搬型計測器 (3,4号機共用) 41台	特性試験	低	1Y	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (SA)用) (3,4号機共用) 4台	特性試験	低	1Y	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (SA) (3,4号機共用)	特性試験	低	1Y	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
放射線管理施設 (放射線管理用計測装置)	使用済燃料ピット周辺線量率 (低レンジ) (3,4号機共用) 1台	特性試験	低	13M	○	14	GN4-77 放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット周辺線量率 (中間レンジ) (3,4号機共用) 1台	特性試験	低	13M	○	14	GN4-77 放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット周辺線量率 (高レンジ) (3,4号機共用) 1台	特性試験	低	13M	○	14	GN4-77 放射線監視装置機能検査	
原子炉格納施設 (圧力低減設備)	常設電動注入ポンプ	簡易点検 (油入替他)	高	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52M	—	14	GN4-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 GN4-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
	常設電動注入ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C	○	14		(振動診断:1ヶ月) 第11回定検より追加
		分解点検		52M	○	—		
	4 A 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	14		
		機能・性能試験		3C	—	14	GN4-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	4 B 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	14		
		機能・性能試験		3C	—	14	GN4-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	4 C 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	14		
		機能・性能試験		3C	—	14	GN4-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	4 D 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	14		
		機能・性能試験		3C	—	14	GN4-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	4 E 静的触媒式水素再結合装置	外観点検	高	1C	○	14		
		機能・性能試験		3C	—	14	GN4-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
	電気式水素燃焼装置 14個 (予備含む)	普通点検 (絶縁抵抗測定他)	高	1C	○	14		
機能・性能試験		1C		○	14	GN4-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査		
静的触媒式水素再結合装置動作監視装置	特性試験	低	13M	○	14	GN4-73 計測制御系監視機能検査		
電気式水素燃焼装置動作監視装置	特性試験	低	13M	○	14	GN4-73 計測制御系監視機能検査		
原子炉施設 (その他設備)	重大事故等クラス2機器 (供用期間中検査対象) 1式	非破壊試験	高	10年間	○	14	GN4-201 重大事故等クラス2機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。[別紙-4]
		漏えい試験			○	14		
		非破壊試験		5年間	—	14	GN4-201 重大事故等クラス2機器供用期間中検査	
	重大事故等クラス3機器 (供用期間中検査対象) 1式	漏えい試験	高	10年間	—	13	GN4-228 重大事故等クラス3機器漏えい検査	ISIプログラムによる。[別紙-5]

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ( ) 内は適用する設備診断技術	
非常用電源設備	大容量空冷式発電機ガスタービン	簡易点検	高	1C	○	14		第11回定検より追加	
		普通点検		39M	○	12			
		精密点検		130M	—	—			GN4-220 その他非常用発電装置の分解検査
		機能・性能試験		1C	○	14			GN4-221 その他非常用発電装置の機能検査
	大容量空冷式発電機	簡易点検	高	1C	○	14		第11回定検より追加	
		普通点検		65M	—	—			
		精密点検		130M	—	—			
		機能・性能試験		1C	○	14			GN4-221 その他非常用発電装置の機能検査
	大容量空冷式発電機用燃料タンク	開放点検	高	130M	—	—		第11回定検より追加	
		気密試験		2C	○	13			
	大容量空冷式発電機用給油ポンプ	簡易点検	高	13M	○	14		(振動診断:1ヶ月) 第11回定検より追加	
		分解点検		65M	○	—			
	大容量空冷式発電機用給油ポンプ電動機	分解点検	高	130M	—	—		(振動診断:1ヶ月) 第11回定検より追加	
	可搬型直流変換器 (3,4号機共用) 3台 (予備含む)	普通点検	高	1Y	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中	
	蓄電池 (重大事故等対処用) 2組	機能・性能試験	高	1C	○	14	GN4-222 直流通源系機能検査		
		機能・性能試験		1C	○	14	GN4-223 直流通源系作動検査		
	可搬型バッテリー (加圧器逃がし弁用) (3,4号機共用) 3個 (予備含む)	簡易点検	高	1F	○	2021年度			
	重大事故等対処用変圧器盤	普通点検	高	1C	○	14			
	重大事故等対処用変圧器受電盤	普通点検	高	1C	○	14			
	重大事故等対処用分電盤	普通点検	高	1C	○	14			
	常設電動注入ポンプ電源切替盤	普通点検	高	1C	○	14			
	計装用電源切替盤 2台	普通点検	高	1C	○	14			
	号炉間電力融通電路 (3,4号機共用、3号機に設置)	普通点検 (絶縁抵抗測定他)	高	1C	○	14			
号炉間電力融通電路 (3,4号機共用)	普通点検 (絶縁抵抗測定他)	高	1C	○	14				
予備ケーブル (号炉間電力融通用) (3,4号機共用) 12本	普通点検 (絶縁抵抗測定他)	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中		
代替電源接続盤1	普通点検	高	1C	○	14				
代替電源接続盤2 (3,4号機共用)	普通点検	高	1C	○	14				
重大事故等対処用直流コントロールセンタ	普通点検	高	65M	—	—		第11回定検より追加		

3. 原子力規制委員会の内規に従い実施する点検計画

なし

4. 長期施設管理方針に基づく点検計画

なし

クラス1機器供用期間中検査GN4-1 (保全重要度：高)  
1. 原子炉容器(1/2)

項目番号	カテゴリ	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回	第12回		第13回	第14回	第15回
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	100%	1ヶ所	水中UT (内面)	100%							100%	亀裂検出修正に伴う検査範囲 5%→100%→変更(第13回定検以降)
		下部胴とフランジジョイントとの周溶接継手	体積	100%	1ヶ所	水中UT (内面)	100%							100%	
B3.105	B-C	フランジジョイントと下部胴との周溶接継手	体積	100%	1ヶ所	水中UT (内面)	100%							100%	亀裂検出修正に伴う検査範囲 5%→100%→変更(第13回定検以降)
		上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	100%	1ヶ所	水中UT (内面)	100%							100%	
B3.106	B-C	上部鋼板と上部蓋フランジとの溶接継手	体積	100%	1ヶ所	UT	100%	15%	15%			15%	15%	10%	亀裂検出修正に伴う検査範囲 5%→100%→変更(第13回定検以降)
		冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100%							100%	
B3.10	B-D	冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100%							100%	亀裂検出修正に伴う検査範囲 5%→100%→変更(第13回定検以降)
		冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100%							100%	
B3.20	B-D	冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100%							100%	亀裂検出修正に伴う検査範囲 5%→100%→変更(第13回定検以降)
		冷却材入口管台とe-フェットとの溶接継手	体積及び表面	100%	4箇所	水中UT (内面) PT	100%							4箇所	
B5.10	B-F	冷却材出口管台とe-フェットとの溶接継手	体積及び表面	100%	4箇所	水中UT (内面) PT	100%	A	C		B			D	UT及びPTについてはNI基合金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※2)対応)
		冷却材出口管台とe-フェットとの溶接継手	体積及び表面	100%	4箇所	水中UT (内面) PT	100%	D				B	A	4箇所	
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	54個	VT-1	100%	7個	10個		7個	10個	7個	7個	
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	54本	UT	100%	7本	10本		7本	10本	7本	7本	
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	54箇所	UT	100%	7箇所	10箇所		7箇所	10箇所	7箇所	7箇所	近傍は検査不可能。
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャー	VT-1	100%	54個	VT-1	100%	7個	10個		7個	10個	7個	7個	
B7.10	B-G-2	T/Cハウジングのマーマーンカップリング	VT-1	25%	4箇所	VT-1	25%						1箇所		

※1 第13回定検以降は維持規格(JSME S NAI-2012 (2013, 2014年追補含む))を適用  
 ※2 平成26年8月以降は「実用発電用原子炉及びその附属施設における廃棄物引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈(平成26年8月6日 原規技発第1408063号)」を適用









クラス1機器供用期間中検査GN4-1 (保全重要度：高)

3. 蒸気発生器(L1)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S-N1-2008、2012 (※1)										玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)					備考	
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査頻度	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	SA77A
B2.40	B-B	管板と水室鏡との間溶接継手	体積	代表1基の25%	16本×4基	UT	代表1基の25%	A:5%				A:5%	A:5%	A:5%	A:5%	SA2
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面丸みの部分	体積	代表1基の25%	2箇所/基×4基	UT	代表1基の25%					A人口1箇所			A人口1箇所	SA2
B5.70	B-F	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の25%	2箇所/基×4基	UT・PT	代表1基の25%					A人口1箇所				SA2
B7.30	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	代表1基の25%	16本×2箇所/基×4基	VT-1	代表1基の25%		A人口2本			A人口2本			A人口2本	SA2
B8.30	B-H	一体溶接された容器支持部	表面	代表1基の7.5%	4箇所×4基	PT	代表1基の7.5%								A:1箇所	SA2
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	-
B16.20	B-Q	伝熱管(コア690)	体積	100%	4基	ECT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	SA2
F1.41	F-A	支持構造物(サポートプレート、基礎)	VT-3	代表1基の25%	4箇所/基×4基	VT-3	代表1基の25%							C:1箇所		SA2

・UT及びPTについてはN1基金金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※2)対応)  
 ・超音波探傷試験の代替試験必要箇所  
 ・漏えい検査時実施  
 ・別添書類により実施。

加圧水型軽水炉の原子炉冷却材圧力バウンダリにおけるN1基金金使用部位に係る検査計画

玄海原子力発電所4号機検査計画										備考						
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査頻度	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	SA77A
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の25%	2箇所/基×4基	UT (垂直及び縦波斜角)	代表1基の25%	10年間				A人口1箇所				SA2
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の25%	2箇所/基×4基	PT	代表1基の25%	10年間				A人口1箇所				SA2
-	-	ベアリング検査	ベアリング検査	-	2箇所/基×4基	ベアリング検査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	SA2

・S/G出入口管台  
 については、  
 ECTによりき裂が確認された後  
 にUTを施工した部位として、1検出  
 個所のき裂を想定した上で底力検査  
 防止の有効性が検証された射撃を  
 部位に該当すると認められた。  
 (10回を越え)

構造上接近又は検査が困難であるとして試験が行われていない箇所の代替試験計画

玄海原子力発電所4号機検査計画										備考						
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査頻度	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	SA77A
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積	UT実施箇所100%	2箇所/基×4基	ECT	UT実施箇所100%	UT実施時				A人口1箇所				SA2

・超音波探傷試験の代替措置計画に  
 基づく検査対象箇所  
 (亀裂の解釈(※2)対応)

クラス I 機器供用期間中検査 GN 4-1 (保全重要度：高)  
4. 配置 (1/5)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA-2008, 2012 (※1)										SM7ス	備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回	第12回			第13回	第14回	第15回	
B7.50	B-G-2	封水注入ライン	VT-1	25%	4箇所	VT-1	25% (1箇所)		1箇所						SA2		
		一次冷却材管	体積	25%	48箇所	UT	25% (12箇所)	2箇所	2箇所		1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	SA2		
		加圧器サージライン	体積	25%	6箇所	UT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所			SA2		
		加圧器安全弁ライン	体積	25%	24箇所	UT	25% (6箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2		
		加圧器迷がしライン	体積	25%	5箇所	UT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所		1箇所				SA2		
		加圧器スプレイレイン	体積	25%	55箇所	UT	25% (14箇所)	2箇所	2箇所		2箇所	3箇所	1箇所	2箇所	—		
		加圧器補助スプレイレイン	体積	25%	1箇所	UT	25% (1箇所)				1箇所					—	
		余熱除去ポンプ入口ライン(1)	体積	25%	49箇所	UT	25% (13箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	SA2	・RCPB範囲拡大に伴う名称の変更 ・第11回配管工事に伴う変更
		余熱除去ポンプ入口ライン(2)	体積	25%	14箇所	UT	25% (4箇所)	—	—	14箇所				1箇所	1箇所	SA2	・RCPB範囲拡大に伴う追加 ・12回以降は維持規格を適用
		B9.11	B-J	蓄圧注入ライン	体積	25%	66箇所	UT	25% (17箇所)	2箇所	3箇所		2箇所	2箇所	3箇所	2箇所	SA2
高温側低圧注入ライン	体積			25%	33箇所	UT	25% (9箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	SA2	・第11回配管工事に伴う変更	
低温側低圧注入ライン	体積			25%	18箇所	UT	25% (5箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2		
加圧器迷がしライン	表面			25%	12箇所	PT	25% (3箇所)		1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2		
加圧器補助スプレイレイン	表面			25%	30箇所	PT	25% (8箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	—		
クォータパレットラック、抽出アーク、 余剰抽出アーク	表面			25%	34箇所	PT	25% (9箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	SA2	
充てんライン	表面			25%	12箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所		1箇所		1箇所	1箇所	SA2		
封水注入アーク	表面			25%	5箇所	PT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所		1箇所			1箇所	SA2		
余熱除去ポンプ入口ライン(2)	表面			25%	3箇所	PT	25% (1箇所)	—	—	3箇所					1箇所	SA2	・RCPB範囲拡大に伴う追加 ・12回以降は維持規格を適用





クラス1機器供用期間中検査 GN 4-1 (保全重要度：高)  
 4. 配管(4/5)

項目 番号	発電用原子力設備規格「JSM S NA1-2008」, 2012 (※1)			立海原子力発電所 4号機検査計画 (10年間)										備考					
	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数		検査方法		検査範囲		第9回	第10回	第11回			第12回	第13回	第14回	第15回	SA77s
F1.10 F-A	充てんライン	VT-3	25%	4箇所	RH	2箇所	VT-3	25% (1箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	・第11回配管工事に伴う変更
					MS	2箇所													
					AN	0箇所													
					RH	13箇所													
封水注入ライン	VT-3	25%	18箇所	MS	5箇所	VT-3	25% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2		
				AN	0箇所														
				RH	6箇所														
余熱除去ポンプ入口ライン(1)	VT-3	25%	18箇所	MS	10箇所	VT-3	25% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	・RCPB絶頂拡大に伴う名称の変更 ・第11回配管工事に伴う変更	
				SH	2箇所														
				RH	8箇所														
余熱除去ポンプ入口ライン(2)	VT-3	25%	10箇所	HS	0箇所	VT-3	25% (3箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	SA2	・RCPB絶頂拡大に伴う追加 ・12回以降は維持規格を適用	
				MS	2箇所														
				RH	17箇所														
蓄圧注入ライン	VT-3	25%	28箇所	MS	8箇所	VT-3	25% (7箇所)	1箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2		
				HS	3箇所														
				RH	10箇所														
高温側低圧注入ライン	VT-3	25%	18箇所	MS	4箇所	VT-3	25% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	・第11回配管工事に伴う変更	
				SH	2箇所														
				AN	2箇所														
				RH	10箇所														

クラス1機器供用期間中検査 GN 4-1 (保全重要度：高)  
 4. 配置(5/5)

項目番号	発電用原子力設備規格「SME S NA1-2008, 2012 (※1)」		立海原子力発電所-4号機検査計画(10年間)										SA77s	備考
	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回		
FL10 F-A	低温側低圧注入ライン	VT-3	25%	14箇所	RH	7箇所	25% (4箇所)	1箇所			1箇所			
				MS	7箇所									
				30箇所	RH	30箇所		1箇所						
	高温側高圧補助注入ライン	VT-3	25%	0箇所	AN	0箇所	25% (8箇所)				1箇所	2箇所	1箇所	1箇所
				6箇所	RH	6箇所								
	低温側高圧補助注入ライン	VT-3	25%		AN	0箇所	25% (2箇所)	1箇所			1箇所			



クラス1機器供用期間中検査 GN4-1 (保全重要度：高)  
6. 弁 (1/3)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)										備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回	第12回		第13回	第14回	第15回	SM775
B6.210	B-6-1	圧力保持用ボルト締付部(ボルト)														
		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420, 430)	体積	代表1台の25%	2台	UT	代表1台の100%								1台(430)	
B6.220	B-6-1	余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4V-RH-002A, B)	体積	代表1台の25%	2台	UT	代表1台の100%				2台(002A, B)				1台(002A)	
		圧力保持用ボルト締付部(フランジ表面)														
B6.230	B-6-1	余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420, 430)	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%								1台(430)	
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4V-RH-002A, B)	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%				2台(002A, B)				1台(002A)	
B7.70	B-6-2	圧力保持用ボルト締付部(ナット、ワッシャー)														
		加圧器安全弁ライン (4V-RC-055, 056, 057)	VT-1	代表1台の25%	3台	VT-1	代表1台の100%		1台(057)							
		加圧器速がしライン (4V-RC-054A, 054B)	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%							1台(054A)		
		加圧器速がしライン (4PCV-452A, 452B)	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%		1台(452A)							
		加圧器スプレイレイン (4PCV-451A, 451B)	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%									
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	1台	VT-1	代表1台の100%							1台		
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	4台	VT-1	代表1台の100%					1台(019A)				
		加圧器補助スプレイレイン (4V-RC-019A~D)	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%									
		加圧器補助スプレイレイン (4LCV-451, 452)	VT-1	代表1台の25%	1台	VT-1	代表1台の100%									
		加圧器補助スプレイレイン (4V-RC-017)	VT-1	代表1台の25%	1台	VT-1	代表1台の100%								1台	
		充てんライン (4V-CS-233, 235)	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1	代表1台の100%							1台(235)		

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)





クラス1機器供用期間中検査 GN4-1 (保全重要度：高)  
6. 弁(3/3)

項目 番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		亙海原原子力発電所4号機検査計画(10年間)										SM77ス	備 考					
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回			第15回				
F1.41	F-A	加圧器安全弁ライン (4V-RC-055, 056, 057)	VT-3	代表1台の 25% ×3台	3箇所	AN	1箇所 ×3台	VT-3	代表1台の 25% (1箇所)						1箇所 (055)		SA2			
			VT-3	代表1台の 25% ×2台	4箇所	MS	2箇所 ×2台	VT-3	代表1台の 25% (1箇所)	1箇所 (054A)								SA2		
		加圧器遮がしライン (4V-RC-054A, B)	VT-3	代表1台の 25% ×2台	4箇所	MS	2箇所 ×2台	VT-3	代表1台の 25% (1箇所)				1箇所 (452A)					SA2		
			VT-3	代表1台の 25% ×2台	4箇所	MS	2箇所 ×2台	VT-3	代表1台の 25% (1箇所)									—		
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-3	代表1台の 25% ×1台	1箇所	RH	1箇所 ×1台	VT-3	代表1台の 25% (1箇所)				1箇所 (451A)			1箇所		—		
			VT-3	代表1台の 25% ×2台	4箇所	RH	1箇所 ×2台	VT-3	代表1台の 25% (1箇所)				1箇所 (451)					SA2		
		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420, 430)	VT-3	代表1台の 25% ×2台	4箇所	MS	1箇所 ×2台	VT-3	代表1台の 25% (1箇所)										SA2	・第11回配管工事に伴う変更
			VT-3	代表1台の 25% ×2台	4箇所	MS	2箇所 ×2台	VT-3	代表1台の 25% (1箇所)										SA2	・RCPB補修拡大に伴う追加 ・12回以降は維持規格を適用
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4V-RH-002A, B)	VT-3	代表1台の 25% ×2台	4箇所	HS	1箇所 ×2台	VT-3	代表1台の 25% (1箇所)				2箇所 (002A, B)						SA2	
			VT-3	代表1台の 25% ×2台	4箇所	MS	1箇所 ×2台	VT-3	代表1台の 25% (1箇所)				2箇所 (002A, B)						SA2	

クラス2機器供用期間中検査 GN 4-5 (保全重要度：高)

1. 余熱除去冷却器 (1/1)

余熱除去冷却器 (管側)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	女海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
							第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	SA77s					
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との間溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1基/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%									SA2	
C1.30	C-A	管側胴と管側管板との間溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1基/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%						B:7.5%			SA2	
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	2箇所×2基	UT・PT	代表1基の管台数の7.5% (1箇所)								B入口1箇所	SA2	

クラス2機器供用期間中検査GN4-5 (保全重要度：高)  
2. 配管(1/4)

項目番号	養電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8										玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	SA/7s		
C3.20	C-C	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所							SA2		
		余熱除去冷却器出口ライン	表面	7.5%	5箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所							SA2		
		高温側低圧注入ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所							SA2		
		低温側低圧注入ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所		1箇所					SA2		
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	6箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所				SA2	
		格納容器再循環サブ出口ライン	表面	7.5%	12箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所		SA2	
		余熱除去ポンプ入口ライン	体積及び表面	7.5%	17箇所	UT・PT	7.5% (2箇所)				1箇所			1箇所		SA2	
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	50箇所	PT	7.5% (4箇所)	1箇所	1箇所			1箇所				SA2	
		余熱除去ポンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所								SA2	
		余熱除去冷却器出口ライン	体積及び表面	7.5%	67箇所	UT・PT	7.5% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所				1箇所	SA2	
C5.11	C-F	高温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%	12箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)				1箇所				SA2		
		低温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%	44箇所	UT・PT	7.5% (4箇所)	1箇所		1箇所				1箇所	SA2		
		高圧注入ポンプ出口ライン	体積及び表面	7.5%	49箇所	UT・PT	7.5% (4箇所)	1箇所	1箇所			1箇所			SA2		
		燃料取替用水ピット出口ライン	表面	7.5%	7箇所	PT	7.5% (1箇所)				1箇所					SA2	
		格納容器再循環サブ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)				1箇所					SA2	
																SA2	・“検証不可”のため検査は実施不可となるが個別評価フローに基づき問題ないことを確認している。

クラス2機器供用期間中検査GN4-5 (保全重要度：高)  
2. 配管(2/4)

項目番号	養電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考		
	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		第18回	SA77s
C5.12	C-F	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	7箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所						SA2	
		高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	72箇所	PT	7.5% (6箇所)	2箇所	1箇所					SA2	1箇所
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	6箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所				SA2	
C5.21	C-F	低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	77箇所	PT	7.5% (6箇所)	2箇所		1箇所				SA2	1箇所
		高圧補助注入ライン連絡管	表面	7.5%	9箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所	SA2	
		高圧補助注入ライン	表面	7.5%	12箇所	PT	7.5% (1箇所)							SA2	
		封水注入ライン	表面	7.5%	17箇所	PT	7.5% (2箇所)		1箇所					SA2	
C5.30	C-F	高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	26箇所	PT	7.5% (2箇所)	1箇所		1箇所				SA2	
		低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	28箇所	PT	7.5% (3箇所)	1箇所					1箇所	SA2	
		封水注入ライン	表面	7.5%	22箇所	PT	7.5% (2箇所)	1箇所						SA2	
C5.41	C-F	格納容器再循環サンブ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所	SA2	
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所	SA2	

クラス2機器供用期間中検査 GN4-5 (保全重要度:高)

2. 配管(3/4)

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)											備考											
			検査範囲	検査方法	検査範囲	検査方法	検査範囲	検査方法	検査範囲	検査方法	検査範囲	検査方法	検査範囲		検査方法										
F1.21	F-A	余熱除去ポンプ入ロライン	46箇所	7.5%	VT-3	RH	21箇所	7.5%(4箇所)	VT-3	第12回	2箇所	第13回		第14回	1箇所	第15回		第16回		第17回	1箇所	第18回		SA2	
						MS	9箇所			第12回		第13回		第14回		第15回		第16回		第17回		第18回			
						HS	11箇所			第12回		第13回		第14回		第15回		第16回		第17回		第18回			
						SH	5箇所			第12回		第13回		第14回		第15回		第16回		第17回		第18回			
						SA2				第12回		第13回		第14回		第15回		第16回		第17回		第18回			
		余熱除去ポンプ出ロライン	30箇所	7.5%	VT-3	RH	17箇所	7.5%(3箇所)	VT-3	第12回	1箇所	第13回	1箇所	第14回		第15回		第16回	1箇所	第17回		第18回		SA2	
						HS	11箇所			第12回		第13回		第14回		第15回		第16回		第17回		第18回			
						SH	2箇所			第12回		第13回		第14回		第15回		第16回		第17回		第18回			
						SA2				第12回		第13回		第14回		第15回		第16回		第17回		第18回			
						SA2				第12回		第13回		第14回		第15回		第16回		第17回		第18回			
		余熱除去冷却器出入ロライン	16箇所	7.5%	VT-3	RH	8箇所	7.5%(2箇所)	VT-3	第12回	1箇所	第13回		第14回		第15回		第16回	1箇所	第17回		第18回		SA2	
						HS	8箇所			第12回		第13回		第14回		第15回		第16回		第17回		第18回			
						SA2				第12回		第13回		第14回		第15回		第16回		第17回		第18回			
						SA2				第12回		第13回		第14回		第15回		第16回		第17回		第18回			
						SA2				第12回		第13回		第14回		第15回		第16回		第17回		第18回			
		余熱除去冷却器出入ロライン	49箇所	7.5%	VT-3	RH	30箇所	7.5%(4箇所)	VT-3	第12回	1箇所	第13回		第14回		第15回	1箇所	第16回		第17回	1箇所	第18回		SA2	
						MS	7箇所			第12回		第13回		第14回		第15回		第16回		第17回		第18回			
						HS	7箇所			第12回		第13回		第14回		第15回		第16回		第17回		第18回			
						SH	2箇所			第12回		第13回		第14回		第15回		第16回		第17回		第18回			
						AN	3箇所			第12回		第13回		第14回		第15回		第16回		第17回		第18回			
		高温側高圧補助注入ライン	56箇所	7.5%	VT-3	RH	56箇所	7.5%(5箇所)	VT-3	第12回	1箇所	第13回	1箇所	第14回		第15回	1箇所	第16回	1箇所	第17回		第18回	1箇所	SA2	
						SA2				第12回		第13回		第14回		第15回		第16回		第17回		第18回			



クラス2機器供用期間中検査GN4-5 (保全重要度:高)  
3. ボンプ(1/1)

赤てんボンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	J S M E S N A I - 2 0 0 8			玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										SA775	備考	
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回				
C3.30	C-C	ボンプ支持脚部材取付け溶接継手	表面	7.5%	16箇所×3台	PT	7.5% (4箇所)	A:1箇所	A:1箇所		B:1箇所				B:1箇所		SA2	
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%	16本×3台	UT	代表1台の7.5% (2本)	B:2本									SA2	
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	1箇所×3台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)						B:1箇所				SA2	
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×3台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)		B:1箇所								SA2	

余熱除去ボンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	J S M E S N A I - 2 0 0 8			玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										SA775	備考	
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回				
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	2箇所×2台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)	A:1箇所									SA2	
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)						B:1箇所				SA2	



クラス2機器供用期間中検査 GN4-5 (保全重要度:高)  
4. 弁(1/1)

項目 番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A 1-2 0 0 8		北海道原子力発電所 4号機検査計画(10年間)										備考		
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		第18回	SAマックス
FI.43	F-A	余熱除去冷却器出入口ライン (4HCY-603, 613)	VT-3	代表1台の 7.5%	4箇所 HS	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)	1箇所 (603)							SA2	
			VT-3	代表1台の 7.5%	4箇所 HS	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)						1箇所 (604)		SA2	
		高温側高圧補助注入ライン (4V-SI-067A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%	3箇所 RH	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)			1箇所 (067A)						SA2
			VT-3	代表1台の 7.5%	1箇所 HS	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)									SA2
		高圧補助注入ライン連絡管 (4V-SI-066A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%	2箇所 RH 1箇所 HS	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)						1箇所 (066A)		SA2	
		封水注入ライン (4V-SI-026A, 026B)	VT-3	代表1台の 7.5%	4箇所 RH	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)							1箇所 (026A)	SA2	

クラス2機器供用期間中検査 GN 4-5 (保全重要度：高)

5. クラス2機器漏えい検査(1/4)

項目番号	カテゴリ	系統名	検査対象箇所 ライン名称	検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考	
						第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		第18回
C7.10, C7.30 C7.70	C-H	化学体積制御系統	体積制御タンク及び出入口ライン	定常運転圧力 (0.11MPa) 以上	VT-2					○			
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			A 充てんポンプ出口ライン	定常運転圧力 (17.5MPa) 以上	VT-2	●							
C7.30, C7.50 C7.70			B 充てんポンプ出口ライン	定常運転圧力 (17.5MPa) 以上	VT-2		●						
C7.30, C7.50 C7.70			C 充てんポンプ出口及び封水注入ライン	定常運転圧力 (17.5MPa) 以上	VT-2			●					
C7.10, C7.30 C7.70			抽出ライン (1)	定常運転圧力 (15.0MPa) 以上	VT-2				○				
C7.10, C7.30 C7.70			抽出ライン (2)	定常運転圧力 (2.1MPa) 以上	VT-2				○				
C7.30, C7.70			抽出ライン (3)	定常運転圧力 (0.45MPa) 以上	VT-2			●					
C7.30, C7.70			体積制御タンク入口ライン	定常運転圧力 (0.24MPa) 以上	VT-2			●					
C7.10, C7.30 C7.70			A ほう酸ポンプ入口ライン	定常運転圧力 (0.007MPa) 以上	VT-2			●					
C7.10, C7.30 C7.70			B ほう酸ポンプ入口ライン	定常運転圧力 (0.007MPa) 以上	VT-2			●					
C7.30, C7.50 C7.70			A ほう酸ポンプ出口ライン	機能試験圧力 (0.787MPa) 以上	VT-2				○				
C7.30, C7.50 C7.70			B ほう酸ポンプ出口ライン	機能試験圧力 (0.787MPa) 以上	VT-2				○				
C7.30, C7.70			ほう酸混合器及び出入口ライン	機能試験圧力 (0.788MPa) 以上	VT-2						○		
C7.30, C7.70	RCP 封水注入戻りライン	定常運転圧力 (0.10MPa) 以上	VT-2							○			
C7.30, C7.50 C7.70	A, B 高压注入ポンプ入口ライン	定常運転圧力 燃料取替用水セット水位 96%以上(水張り)	VT-2			●							
C7.30, C7.50 C7.70	A 高压注入ポンプ出口ライン (1)	機能試験圧力 (9.47MPa) 以上	VT-2				○						
C7.30, C7.70	A 高压注入ポンプ出口ライン (2)	機能試験圧力 (9.47MPa) 以上	VT-2				○						
C7.30, C7.50 C7.70	B 高压注入ポンプ出口ライン (1)	機能試験圧力 (9.47MPa) 以上	VT-2					○					
C7.30, C7.70	B 高压注入ポンプ出口ライン (2)	機能試験圧力 (9.47MPa) 以上	VT-2					○					
C7.30, C7.70	A 格納容器再循環サンプ出口ライン	最高使用圧力 (0.393MPa) 以上	VT-2				○						
C7.30, C7.70	B 格納容器再循環サンプ出口ライン	最高使用圧力 (0.393MPa) 以上	VT-2				○						
C7.10, C7.30 C7.70	A 蓄圧タンク及び出入口ライン	定常運転圧力 (4.4MPa) 以上	VT-2			●							
C7.10, C7.30 C7.70	B 蓄圧タンク及び出入口ライン	定常運転圧力 (4.4MPa) 以上	VT-2			●							
C7.10, C7.30 C7.70	C 蓄圧タンク及び出入口ライン	定常運転圧力 (4.4MPa) 以上	VT-2			●							
C7.10, C7.30 C7.70	D 蓄圧タンク及び出入口ライン	定常運転圧力 (4.4MPa) 以上	VT-2			●							
C7.30, C7.70	蓄圧タンクテストライン	機能試験圧力 (9.47MPa) 以上	VT-2					●					
C7.30, C7.70	蓄圧タンクN <sub>2</sub> 供給ライン	定常運転圧力 (4.4MPa) 以上	VT-2				○						









重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 1. 原子炉容器(1/2)

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
発電用原子炉設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)					
				検査方法	検査範囲
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	100%	
		下部胴とトランジションとの周溶接継手	体積	100%	
		トランジションと下部胴との周溶接継手	体積	100%	
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	100%	
B3.106	B-C	上部鏡板と上部蓋フランジとの溶接継手	体積	100%	
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%	
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%	
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	100%	
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	100%	
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフティとの溶接継手	体積及び表面	100%	
		冷却材出口管台とセーフティとの溶接継手	体積及び表面	100%	
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	100%	
B7.10	B-G-2	T/Cハウジングのマーマーンカップリング	VT-1	25%	
クラス1機器供用期間中検査で管理					

※1 第13回定検以降は維持規格JSME S NAI-2012 (2013, 2014年追加含む) を適用

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 1. 原子炉容器(2/2)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
B1.10	B-0	制御駆動装置の溶接継手及びVT/Cの溶接継手	視視 又は表面	最外周の25%	
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%	
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	100%	
G1.40	G-P-1	炉心領域外の炉心支持金物	VT-3	100%	
G1.50	G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	100%	
		下部炉心支持構造物	VT-3	100%	

クラス1 機器供用期間中検査で管理

加圧水型軽水炉の原子炉冷却材圧力バウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
		冷却材入口管台とセーフエントとの溶接継手	視視及び表面 ベアメタル検査	100%	
		冷却材出口管台とセーフエントとの溶接継手	視視及び表面 ベアメタル検査	100%	
		原子炉容器上蓋の表面	ベアメタル検査	定検毎に100% (可能範囲)	
		原子炉容器底部の表面	ベアメタル検査	5年毎に100% (可能範囲)	

クラス1 機器供用期間中検査で管理



重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 2. 加圧器 (1/2)

項目番号	カテゴリ	添電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
		検査の対象箇所	検査方法				
B2.11	B-B	上部胴と上部鏡との周溶接継手	体積	5%	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)           クラス1機器供用期間中検査で管理		
		下部胴と下部鏡との周溶接継手	体積	5%			
B2.12	B-B	上部胴の長手溶接継手	体積	10%			
		中間胴の長手溶接継手	体積	10%			
		下部胴の長手溶接継手	体積	10%			
B2.13	B-B	上部胴と中間胴との周溶接継手	体積	5%			
		中間胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%			
B3.30	B-D	サージ用管台と容器との溶接継手	体積	管台数の25%			
		スプレインライイン用管台と容器との溶接継手					
		安全弁用管台と容器との溶接継手					
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手					
B3.40	B-D	サージ用管台内面の丸みの部分	体積	管台数の25%			
		スプレインライイン用管台内面の丸みの部分					
		安全弁用管台内面の丸みの部分					
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分					

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 2. 加圧器 (2/2)

項目番号	カテゴリ	検査の対 象 箇 所		検査方法	検査範囲	備 考
		検査の対 象 箇 所	検査方法			
B5.40	B-F	サージ用管台とセメントとの溶接継手	体 積 及び表面	溶接継手 (管台) 数の25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
		スプレイン用管台とセメントとの溶接継手				
		安全弁用管台とセメントとの溶接継手				
		逃がし弁用管台とセメントとの溶接継手				
B7.20	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	25%		
B8.20	B-H	スカート取付溶接継手	体 積	7.5%		
F1.41	F-A	支持構造物 (スカート、基礎等を含む。)	VT-3	25%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 3. 蒸気発生器 (1/1)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		検査範囲	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所		
B2.40	B-B	管板と水室籠との周溶接継手	体積 代表1基の25%	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)  クラス1機器供用期間中検査で管理
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内丸み部分	体積 代表1基の25%	
B5.70	B-F	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面 代表1基の溶接継手数の25%	
B7.30	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1 代表1基の25%	
B8.30	B-H	一体溶接された容器支持部	表面 代表1基の7.5%	
B16.20	B-Q	伝熱管(レコパ6890)	体積 100%	
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚ボルト、基礎、ボルト含む)	VT-3 代表1基の25%	

加圧水型軽水炉の原子炉冷却材圧力パウンダリにおけるNi基金金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面 代表1基の溶接継手数の25%(1箇所) 代表1基の溶接継手数の25%(1箇所)	代表1基の溶接継手数の25%(1箇所) 代表1基の溶接継手数の25%(1箇所)	玄海原子力発電所4号機検査計画  クラス1機器供用期間中検査で管理

構造上接近又は検査が困難であるとして試験が行われていない箇所の代替試験計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積	UT実施箇所100%	玄海原子力発電所4号機検査計画  クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度:高)  
 4. クラス1配管 (1/3)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAL-2008, 2012 (※1)		検査方法	検査の対 象 箇 所	玄海原子力発電所 4号機 検査計画 (10年間)		備 考
		検査の対 象 箇 所	検査方法			検査頻度	検査頻度	
B7.50	B-G-2	封水注入ライン	VT-1	体積	25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理		
		一次冷却材管	体積	25%				
		加圧器サージライン	体積	25%				
		加圧器安全弁ライン	体積	25%				
		加圧器遮がしライン	体積	25%				
		B9.11	B-J	余熱除去ポンプ入口ライン(1)	体積		25%	
				余熱除去ポンプ入口ライン(2)	体積		25%	
				蓄圧注入ライン	体積		25%	
				高温側低圧注入ライン	体積		25%	
		B9.21	B-J	低温側低圧注入ライン	体積		25%	
加圧器遮がしライン	表面			25%				
クロスバレットレゾナンス抽出ライン, 余剰抽出ライン	表面			25%				
充てんライン	表面			25%				
封水注入ライン	表面			25%				
余熱除去ポンプ入口ライン(2)	表面			25%				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN4-201(保全重要度:高)  
4.クラス1配管(2/3)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		検査方法	検査範囲	備考
		検査の対象箇所	検査面			
B9.21	B-J	高温側高圧補助注入ライン	表面	25%	玄海原子力発電所 4号機検査計画(10年間)  クラス1機器供用期間中検査で管理	
		低温側高圧補助注入ライン	表面	25%		
B9.31	B-J	一次冷却材管	体積	25%		
		一次冷却材管	表面	25%		
B9.32	B-J	余熱除去ポンプ入口ライン(2)	表面	25%		
		蓄圧注入ライン	表面	25%		
		高温側低圧注入ライン	表面	25%		
		一次冷却材管	表面	25%		
B9.40	B-J	クロスベリタドレイン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン	表面	25%		
		封水注入ライン	表面	25%		
		高温側高圧補助注入ライン	表面	25%		
		低温側高圧補助注入ライン	表面	25%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 4. クラス1配管(3/3)

項目 番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S MA1-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所 4号機検査計画 (10年間)		備考
	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
F1.10 F-A	加圧器サージライン	VT-3	25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
	加圧器逃がしライン	VT-3	25%		
	クロスバードレフトレライク、抽出7分、 余剰抽出7分	VT-3	25%		
	充てんライン	VT-3	25%		
	封水注入ライン	VT-3	25%		
	余熱除去ポンプ入口ロライン(1)	VT-3	25%		
	余熱除去ポンプ入口ロライン(2)	VT-3	25%		
	蓄圧注入ライン	VT-3	25%		
	高温側低圧注入ライン	VT-3	25%		
	低温側低圧注入ライン	VT-3	25%		
	高温側高圧補助注入ライン	VT-3	25%		
	低温側高圧補助注入ライン	VT-3	25%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 5.1 次冷却材ポンプ(1/1)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)			検査範囲	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法		
B6.180	B-G-1	ケーシングボルト	体 積	代表1台の 25%	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)  クラス1機器供用期間中検査で管理
B6.190	B-G-1	フランジ表面	VT-1	代表1台の 25%	
B6.200	B-G-1	ケーシングボルト用ナット及びワッシャー	VT-1	代表1台の 25%	
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	代表1台の 100%	
F1.41	F-A	支持構造物 ( 支持脚、スラブ、基礎、ボルト含む。)	VT-3	代表1台の 25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN4-201(保全重要度：高)  
6.クラスI 表(17/3)

項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
	圧力保持用ボルト締付け部(ボルト)			
B6.210	余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420,430)	体積	代表1台の25%	
	余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4W-RH-002A,B)	体積	代表1台の25%	
	圧力保持用ボルト締付け部(フランジ表面)			
B6.220	余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420,430)	VT-1	代表1台の25%	
	余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4W-RH-002A,B)	VT-1	代表1台の25%	
	圧力保持用ボルト締付け部(ナット、ワッシャー)			
B6.230	余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420,430)	VT-1	代表1台の25%	
	余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4W-RH-002A,B)	VT-1	代表1台の25%	
	圧力保持用ボルト締付け部(ボルト、種込みボルト、ナット)			
	加圧器安全弁ライン	VT-1	代表1台の25%	
	加圧器遮断ライン	VT-1	代表1台の25%	
	加圧器遮断ライン (4W-RC-054A,054B)	VT-1	代表1台の25%	
	加圧器遮断ライン (4PCV-452A,452B)	VT-1	代表1台の25%	
B7.70	加圧器・レグド・ワッシャー、抽出ワッシャー、 余剰抽出ワッシャー (4W-RC-019A~D)	VT-1	代表1台の25%	
	加圧器・レグド・ワッシャー、抽出ワッシャー、 余剰抽出ワッシャー (4LCV-451,452)	VT-1	代表1台の25%	
	加圧器・レグド・ワッシャー、抽出ワッシャー、 余剰抽出ワッシャー (4W-RC-017)	VT-1	代表1台の25%	
	充電ライン (4W-CS-233,235)	VT-1	代表1台の25%	
クラス1機器供用期間中検査で管理				





重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 6. クラス1弁 (3/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)	備考
F1.41	F-A	加圧器安全弁ライン (4V-RC-055, 056, 057) 加圧器逃がしライン (4V-RC-054A, B) 加圧器逃がしライン (4PCV-452A, B) クラス1ドラフトライン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン (4LCV-451, 452) 余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420, 430) 余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4V-RH-002A, B)	VT-3 VT-3 VT-3 VT-3 VT-3 VT-3 VT-3 VT-3	代表1台の 25% 代表1台の 25% 代表1台の 25% 代表1台の 25% 代表1台の 25% 代表1台の 25%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)

7. 容器(I/1)

余熱除去冷却器 (管側)

項目番号	発電用原子力設備規格 J-SME-S-NAI-2008		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回			
C1.20	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%				7.5%						
C1.30	管側胴と管側管板との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%										
C2.21	管側出入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%										

クラス2機器供用期間中検査で管理

原子炉補機冷却水冷却器 (胴側)

項目番号	発電用原子力設備規格 J-SME-S-NAI-2008		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回			
C1.10	胴側胴と胴側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	UT			7.5%						
C1.10	胴側胴の周継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	UT					7.5%				
C2.21	胴側出入口管台と胴側胴との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	UT・PT					1箇所				
C2.22	胴側出入口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の管台数の7.5%	UT						1箇所			
C3.10	胴と当板との溶接継手	表面	代表1基の溶接継手数の7.5%	PT						1箇所			
F1.43	支持脚	VT-3	代表1基の7.5%	VT-3			1箇所						

格納容器スプレイ冷却器 (管側)

項目番号	発電用原子力設備規格 J-SME-S-NAI-2008		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回			
C1.10	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	UT						A:7.5%			
C1.20	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	UT				A:7.5%					
C4.10	カラーボルト	体積	代表1基の7.5%	UT			A:1本			A:1本			
C4.10	全ネジボルト	体積	代表1基の7.5%	UT			A:1本			A:1本			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN4-201 (保全重要度：高)  
8. 配管(1/6)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A I - 2 0 0 8 玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回		第15回	第16回	第17回	
C3.20	C-C	原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所				
		原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所			
		原子炉補機冷却器入口ライン	表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)								1箇所	
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%												
		余熱除去冷却器出口ライン	表面	7.5%												
		高温側低圧注入ライン	表面	7.5%												
C5.11	C-F	低温側低圧注入ライン	表面	7.5%												
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%												
		格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	7.5%												
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	表面	7.5%	8箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所							
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	3箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所						
A原子炉補機冷却水冷却器入口ライン	表面	7.5%	9箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所					
主蒸気逃がしライン	表面	7.5%	8箇所	PT	7.5% (1箇所)								1箇所			

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
8. 配管(2/6)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A I - 2 0 0 8		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)											備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回				
C5.11	C-F	余熱除去ポンプ入口ライン	積体及び表面	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理													
		余熱除去ポンプ出口ライン	表面	7.5%														
		余熱除去ポンプ出口ライン	表面	7.5%														
		余熱除去冷却器出口ライン	積体及び表面	7.5%														
		高温側低圧注入ライン	積体及び表面	7.5%														
		低温側低圧注入ライン	積体及び表面	7.5%														
		高圧注入ポンプ出口ライン	積体及び表面	7.5%														
		燃料取替用水ピット出口ライン	表面	7.5%														
格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	7.5%																
C5.12	C-F	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	クラス2機器供用期間中検査で管理			
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	表面	7.5%	11箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所									
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	5箇所	PT	7.5% (1箇所)				1箇所							
		A原子炉補機冷却水冷却器入口ライン	表面	7.5%	11箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所				
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%														

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN4-201 (保全重要度：高)  
8. 配管(3/6)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A I - 2 0 0 8 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)		備考	
				カテゴリー			
C5.21	C-F	高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理		
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%			
		低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%			
		高圧補助注入ライン連絡管	表面	7.5%			
		高圧補助注入ライン	表面	7.5%			
		封水注入ライン	表面	7.5%			
		高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%			
C5.30	C-F	低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%			
		封水注入ライン	表面	7.5%			
		格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	7.5%			
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%			
C5.41	C-F						

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 8. 配管(4/6)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S.NA1-2008				玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		
F1.21	F-A	格納容器再循環ユニット 入ロライン	VT-3	7.5%	55箇所	RH 54箇所	VT-3	7.5% (5箇所)	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	
					AN 1箇所											
					74箇所	RH 71箇所			2箇所	1箇所						
		格納容器再循環ユニット 出ロライン	VT-3	7.5%	AN 3箇所	VT-3	7.5% (6箇所)	1箇所								
		格納容器再循環ユニット出口 海水放出ライン	VT-3	7.5%	59箇所	RH 48箇所	VT-3	7.5% (5箇所)	1箇所			1箇所				
					MS 4箇所											
					AN 7箇所											
		原子炉補機冷却水ポンプ 入ロライン	VT-3	7.5%	15箇所	RH 11箇所	VT-3	7.5% (2箇所)	1箇所			1箇所				
AN 4箇所																
原子炉補機冷却水ポンプ 出ロライン	VT-3	7.5%	9箇所	RH 7箇所	VT-3	7.5% (1箇所)					1箇所					
			AN 2箇所													
原子炉補機冷却水冷却器 入ロライン	VT-3	7.5%	4箇所	RH 4箇所	VT-3	7.5% (1箇所)						1箇所				
格納容器スプレイポンプ 入ロライン	VT-3	7.5%	16箇所	RH 13箇所	VT-3	7.5% (2箇所)			1箇所							
			HS 1箇所													
			SH 2箇所													





重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
 8. 配管(6/6)

項目番号	発電原子力設備規格 維持規格 JSME S_NA1-2008 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)		備考
				カテゴリー		
F1.21	F-A	余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	
		余熱除去ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%		
		余熱除去冷却器出入口ライン	VT-3	7.5%		
		余熱除去冷却器出口ライン	VT-3	7.5%		
		高温側高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%		
		低温側低圧注入ライン	VT-3	7.5%		
		高圧注入ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%		
		低温側高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%		
		高圧補助注入ライン連絡管	VT-3	7.5%		
		高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%		
		格納容器再循環サンプ出口ライン	VT-3	7.5%		
燃料取替用水ビット出口ライン	VT-3	7.5%				
封水注入ライン	VT-3	7.5%				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
9. ボンプ(1/1)

充てんボンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A I - 2 0 0 8		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考		
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲											
C3.30	ボンプ支持脚部材取付け溶接継手	表面	7.5%											
C4.30	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%											
C6.10	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%											
F1.43	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%											

クラス2機器供用期間中検査で管理

余熱除去ボンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A I - 2 0 0 8		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考		
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲											
C6.10	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%											
F1.43	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%											

クラス2機器供用期間中検査で管理

原子炉補機冷却水ボンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A I - 2 0 0 8		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考		
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回		第16回	第17回
F1.43	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	4箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)								

格納容器スプレイボンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A I - 2 0 0 8		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考	
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回		第16回
F1.43	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)							

常設電動注入ボンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A I - 2 0 0 8		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考	
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回		第16回
F1.43	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×1台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)						1箇所	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)  
10. 弁(1/1)

項目番号	カテゴリー	検査の対 象 箇 所		検査方法		検査範囲		玄海原子力設備規格 維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8										備 考		
		検査の対 象 箇 所	検査の対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回					
F1.43	F-A	A, B格納容器再循環ユニット 出口ライン (4TCV-2430, 2431)	VT-3	7.5%	4 箇 所	VT-3	7.5%	4 箇 所	VT-3	7.5%	(1箇所) (2430)									
					RH															
		主蒸気逃がしライン (4PCV-3610, 3620, 3630, 3640)	VT-3	7.5%	8 箇 所	VT-3	7.5%	4 箇 所	VT-3	7.5%	(1箇所)									1箇所 (3610)
					RH															

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)

1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(1/4)

項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考		
		系統名	ライン名称			第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回	
B15.10	B-P	一次冷却材系統	原子炉容器	SA時の使用圧力	VT-2	●	●	●	●	○	○	○		
B15.20			加圧器	SA時の使用圧力	VT-2	●	●	●	●	○	○	○		
B15.30			蒸気発生器	SA時の使用圧力	VT-2	●	●	●	●	○	○	○		
B15.50			クラス1配管	SA時の使用圧力	VT-2	●	●	●	●	○	○	○		
B15.60			一次冷却材ポンプ	SA時の使用圧力	VT-2	●	●	●	●	○	○	○		
B15.70			クラス1弁	SA時の使用圧力	VT-2	●	●	●	●	○	○	○		
C7.30, C7.70			C-H	化学体積制御系統	B 充てんポンプ自己冷却水供給ライン	SA時の使用圧力	VT-2					○		
C7.30, C7.70	B 充てんポンプ自己冷却水戻りライン	SA時の使用圧力			VT-2						○			
C7.30, C7.70	体積制御タンク及びび出入口ライン	SA時の使用圧力			VT-2							○		
C7.10, C7.30	A 充てんポンプ出口ライン	SA時の使用圧力			VT-2	●								
C7.50, C7.70	B 充てんポンプ出口ライン	SA時の使用圧力			VT-2			●						
C7.30, C7.50	C 充てんポンプ出口及び封水注入ライン	SA時の使用圧力			VT-2				●					
C7.10, C7.30	A ほう酸ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力			VT-2		●							
C7.10, C7.30	B ほう酸ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力			VT-2		●							
C7.30, C7.50	A ほう酸ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力			VT-2					○				
C7.30, C7.50	B ほう酸ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力			VT-2					○				
C7.30, C7.70	B 高压注入ポンプ海水排水ライン	SA時の使用圧力			VT-2				●					
C7.30, C7.70	A, B 高压注入ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力			VT-2				●					
C7.30, C7.50	A 高压注入ポンプ出口ライン (1)	SA時の使用圧力			VT-2					○				
C7.30, C7.70	A 高压注入ポンプ出口ライン (2)	SA時の使用圧力			VT-2					○				
C7.30, C7.50	B 高压注入ポンプ出口ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2						○					
C7.30, C7.70	B 高压注入ポンプ出口ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2							○				
C7.30, C7.70	安全注入系統		A 格納容器再循環サンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2					○				
C7.30, C7.70			B 格納容器再循環サンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○			
C7.10, C7.30			A 蓄圧タンク及びび出入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2			●						
C7.10, C7.30			B 蓄圧タンク及びび出入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2			●						
C7.10, C7.30			C 蓄圧タンク及びび出入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2			●						
C7.10, C7.30			D 蓄圧タンク及びび出入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2			●						

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)

1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(2/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考	
		系統名	ライン名称			第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回
C7.30, C7.70			格納容器スプレイ系統～余熱除去系統間のタ イライン	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.70			A 余熱除去ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.30, C7.70			B 余熱除去ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2		●						
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70	C-H	余熱除去系統	A 余熱除去ポンプ出口ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.30, C7.70			A 余熱除去ポンプ出口ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			B 余熱除去ポンプ出口ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2		●						
C7.30, C7.70			B 余熱除去ポンプ出口ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.70			可搬型ポンプ用送水ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.70			可搬型ポンプ用送水ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.70			A 格納容器スプレイポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.30, C7.70			B 格納容器スプレイポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70	C-H	格納容器スプレイ系統	A 格納容器スプレイポンプ出口ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2		●						
C7.30, C7.70			A 格納容器スプレイポンプ出口ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			B 格納容器スプレイポンプ出口ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2							○	
C7.30, C7.70			B 格納容器スプレイポンプ出口ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.70			使用済燃料ピット浄化 冷却系統	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.30, C7.70			使用済燃料ピット補給用給水ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2								
C7.30, C7.70			使用済燃料ピット補給用給水ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.30, C7.70	C-H	燃料取替用水系統	常設電動注入ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.50 C7.10, C7.30 C7.70			常設電動注入ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2								
C7.10, C7.30 C7.70			燃料取替用水ピット及び出入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2			●					
C7.10, C7.30 C7.70	C-H	給水系統	A 蒸気発生器給水入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○	
C7.10, C7.30 C7.70			B 蒸気発生器給水入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.10, C7.30 C7.70			C 蒸気発生器給水入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2								
C7.10, C7.30 C7.70			D 蒸気発生器給水入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○	
C7.10, C7.30 C7.70			補助給水ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2			●					電縫管含む
C7.30, C7.50 C7.70	C-H	補助給水系統	A 電動補助給水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2								
C7.30, C7.50 C7.70			B 電動補助給水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.50 C7.70			タービン動補助給水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)

1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(3/4)

項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考			
		系統名	ライン名称			第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回		
C7.30, C7.70	C-H	主蒸気系統	A 蒸気発生器蒸気出口ライン B 蒸気発生器蒸気出口ライン C 蒸気発生器蒸気出口ライン D 蒸気発生器蒸気出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○				
C7.30, C7.70				SA時の使用圧力	VT-2	●									
C7.30, C7.70				SA時の使用圧力	VT-2			●							
C7.30, C7.70				SA時の使用圧力	VT-2						○				
C7.30	C-H	換気空調系統	中央制御室換気空調ライン アニュラス空気浄化ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○	技術基準規則第58条第2項の ただし書による「他の方法」 として外観検査を実施		
C7.30, C7.70				SA時の使用圧力	VT-2								○		
C7.30, C7.70				SA時の使用圧力	VT-2			●							
C7.30, C7.70				SA時の使用圧力	VT-2				●						
C7.30, C7.70	C-H	原子炉補機冷却水系統	A 原子炉補機冷却水供給ライン A 格納容器再循環ユニット屋外放出口ライン B 格納容器再循環ユニット屋外放出口ライン A, B 原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン A, B 原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン C, D 原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン 原子炉補機冷却水サージタンク及びび出入りライン	SA時の使用圧力	VT-2										
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70				SA時の使用圧力	VT-2			●							
C7.30, C7.70				SA時の使用圧力	VT-2							○			
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70				SA時の使用圧力	VT-2					●					
C7.30, C7.70	C-H	原子炉補機冷却海水系統	A, B 海水ポンプ出口ライン C, D 海水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2										
C7.30, C7.70				SA時の使用圧力	VT-2			●							

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)

1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(4/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考		
		系統名	ライン名称			第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回	
C7.30, C7.70	C-H	制御用空気系統	A 加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2					○				
C7.30, C7.70			B 加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2					○				
C7.30, C7.70			アニュラス空気浄化フアン弁用制御用空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○		
C7.30, C7.70			事故時試料採取設備弁用制御用空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2				●					
C7.30, C7.70			A 制御用空気圧縮機出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2				●					
C7.30, C7.70			B 制御用空気圧縮機出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2								○	
C7.10	C-H	ディーゼル発電機始動用空気系統	A ディーゼル発電機始動用空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○		
C7.10			B ディーゼル発電機始動用空気ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○		
C7.30, C7.70	C-H	一次系サンプリング系統	事故時サンプリングライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2			●						
C7.30, C7.70			事故時サンプリングライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2			●						
C7.30, C7.70			事故時サンプリングライン (3)	SA時の使用圧力	VT-2				●					

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN4-201 (保全重要度：高)  
 1.2. クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査(1/1)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)	備考
-	-	配管の円周方向溶接継手			クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査で管理	
		充てんライン	体積	25%		
		再生熱交換器連絡管				
		充てんライン連絡管	体積	25%		



重大事故等クラス3機器漏えい検査 GN4-228-N1 (保全重要度：高)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	設備数	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年)							備考				
		ライン(設備)名	機器名			2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024		2025	2026	2027	2028
D2.30	D-B	原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン	窒素ポンベ(原子炉補機冷却水サージタンク用)～原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン窒素供給用3.8mフレキシブルホース入口接続口	VT-2	2				●								
D2.30	D-B	A, B加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	窒素ポンベ(加圧器逃がし弁用)～加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用2.5mフレキシブルホース入口接続口	VT-2	3							○					

添付書類四 定期事業者検査の判定方法（一定の期間を含む）

## 1. 定期事業者検査の判定方法

### (1) 定期事業者検査の実施における考え方

定期事業者検査の実施にあたっては、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第1項において検査の方法が規定されており、これに従い表-1に記載する方法に基づき、対象設備に対して定期事業者検査を実施する。

また、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第2項では、定期事業者検査においては、一定の期間を設定し、その期間において技術基準に適合する状態を維持するかどうかを判定する方法で行うことが規定されている。

表-1のうち、①、②の検査は、設備の点検にあわせて、または点検の完了後に実施するものであり、その実施頻度は設備の点検頻度や原子炉を停止する頻度に基づいている。(添付書類三 別紙1 点検計画(計画期間中における点検の実施状況等) 参照)

定期事業者検査の対象となる設備については、技術基準への適合維持が要求されていることから、その実施頻度の設定においては、所定の機能を発揮できなくなる前、すなわち技術基準に適合する状態を維持すると考えられる段階に点検を行うように考慮しており、その実施頻度を定期事業者検査の一定の期間とみなすことができる。この実施頻度から設定した定期事業者検査の一定の期間の最短は、原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月※(定期事業者検査終了からの期間)である。

※：使用の状況等から別途点検を行う時期を評価し、定期事業者検査を実施すべき時期について原子力規制委員会の承認を受ける場合を除く。

なお、定期事業者検査の実施頻度の前提となるこれらの点検にあたっては、その対象設備が技術基準に適合する状態を維持するため、その点検頻度の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実に行う。

また、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する検査については、上記に係わらず、当該評価で判定に考慮する期間を一定の期間とする。これに該当する検査を(2)に示す。

(2) 一定の期間を考慮する定期事業者検査の判定について

定期事業者検査においては、(1)のとおり設定された頻度に基づき、設備が技術基準に適合していることを確認するが、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する以下の検査については、その判定に一定の期間を考慮する。

○原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月(定期事業者検査終了からの期間)以上を一定の期間として判定に考慮する検査

- ・原子炉格納容器全体漏えい率検査
- ・原子炉格納容器局部漏えい率検査
- ・クラス1機器供用期間中検査
- ・クラス2機器供用期間中検査
- ・クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査
- ・重大事故等クラス2機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス3機器漏えい検査
- ・構造健全性検査
- ・炉内計装用シングルチューブ体積検査
- ・蒸気タービン開放検査
- ・2次系配管検査
- ・主蒸気・主給水配管検査
- ・1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査

○また、第16サイクルの炉心設計に係わる以下の検査については、実運転期間(13ヶ月)に調整運転期間等を踏まえ、これに基づき判定を行う。

- ・原子炉停止余裕検査
- ・炉物理検査
- ・燃料集合体外観検査

なお、上記以外の検査については、その対象設備が技術基準に適合している状態を維持するため、その点検間隔の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実にを行う。

表－1 検査の方法の考え方について

実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条	検査の方法	
① 開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法	分解検査及び開放検査	機器等を分解、開放した状態で、き裂、変形及び摩耗等の有無を目視等により確認する。
	外観検査	機器等を分解又は開放しない状態で漏えい又はその形跡、き裂、変形等の有無を目視等により確認する。
	非破壊検査	一般社団法人日本機械学会「発電用原子力設備規格維持規格」(JSME S NA-1-2008/2012/2013 追補/2014 追補)に規定されている超音波探傷試験、渦流探傷試験、浸透探傷試験、目視試験等により、機器等の内外表面及び内部欠陥の有無等を確認する。
	漏えい(率)検査	系統及び機器等の点検完了後、所定の圧力において、漏えいの有無又は漏えい率*を確認する。
② 試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法	特性検査	電気設備及び計測制御設備について絶縁抵抗測定**、校正、設定値確認検査などを行い、機器等の特性を確認する。
	機能・性能検査	系統及び機器等の点検完了後、作動試験、試運転、インターロック試験等を行い、機器単体又は系統の機能・性能等を確認する。
	総合性能検査	各設備の点検完了後に、定格出力近傍で原子力発電所の運転を行い、発電用原子炉施設の運転状態が正常であること及び各種パラメータが妥当な値であることを確認する。

※：漏えい率の確認には、「②試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

※※：絶縁抵抗測定には、「①開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

上表の検査の方法にて実施する具体的な定期事業者検査は点検計画（添付書類三 別紙1）のとおり。なお、当該点検計画に含まれる簡易点検は定期事業者検査として実施しないが、部品の定期的な取替え、運転経験・劣化の進展予測、使用環境及び設置環境等を考慮して実施内容、頻度を定めている。

添付書類五 前回の定期事業者検査報告内容（添付書類二、三、四）からの変更内容

1. 添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標の変更

なし

2. 添付書類三 施設管理の実施に関する計画の変更

別紙－1のとおり

3. 添付書類四 定期事業者検査の判定方法に関する変更（一定の期間を含む）

なし

## 添付書類三 施設管理の実施に関する計画の変更箇所

## 1. 点検計画 重大事故等対処設備

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
1	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵設備) 使用済燃料ピット状態監視カメラ	保全計画の最適化として点検頻度見直しの検討を行った結果、過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、特性試験の頻度を「1Y」から「13M」に変更する。	1/4

添付書類六 前回の定期事業者検査報告内容（添付書類二及び三）についての評価結果

## 玄海原子力発電所 第4号機

### 保全の有効性評価の結果に関する説明書

これまでの保全活動で得られた情報をもとに継続的な改善につなげるよう、保全の有効性評価を実施した。

前保全サイクルにおける保全の有効性評価の結果については添付－1のとおり。

また、これら評価の結果等を踏まえ、保全内容の変更を行ったものは添付－2のとおり。

添付－1 保全の有効性評価結果

添付－2 保全の有効性評価の結果等より保全へ反映した事項

参 考 保全活動管理指標の実績



## 保全の有効性評価結果

保安規定、保修基準、土木建築基準に基づき、有効性評価を実施。

定期的な評価のインプット			総合評価
分類 1	分類 2	対象期間	
a. 保全活動管理指標の監視結果	①プラントレベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	2022. 1. 1 ～ 2022. 4. 30	プラントレベルの保全活動管理指標は全て目標値以内であることから、保全は有効に機能していると評価した。
	②系統レベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	MPPF: 2022. 1. 1 ～ 2022. 4. 30 UA: 2020. 8. 1 ～ 2022. 4. 30	系統レベルの保全活動管理指標は全て目標値以内であることから、保全は有効に機能していると評価した。
b. 保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績	③点検状況記録シート、工事記録（特記事項・気付き事項）、点検・検査報告書、回転機器振動診断（定期診断）工事記録	2022. 1. 1 ～ 2022. 4. 30	点検状況記録シート、工事記録（特記事項、気付き事項）、点検・検査報告書、回転機器振動診断（定期診断）工事記録の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなく、保全は有効に機能していると評価した。
c. トラブルなど運転経験	④当該プラントのトラブル及び不適合	2022. 1. 1 ～ 2022. 4. 30	不適合報告書、是正処置報告書の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
d. 高経年化技術評価及び安全性向上評価結果	⑤自社他プラントの高経年化技術評価及び安全性向上評価結果	2022. 1. 1 ～ 2022. 4. 30	保全へ反映すべき情報はなかった。
e. 他プラントのトラブル及び経年劣化に係るデータ	⑥社内他プラントの不適合情報	2022. 1. 1 ～ 2022. 4. 30	未然防止処置対策実施確認票の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
	⑦国内情報（NUCIA情報）		
	⑧海外情報		通達等の文書の内容を確認し評価を行った結果、特定重大事故等対処施設設置工事等を設計及び工事の計画へ反映する。
f. リスク情報、科学的知見	⑨通達等の文書	2022. 1. 1 ～ 2022. 4. 30	保全へ反映すべき情報はなかった。
	⑩リスク情報		保全へ反映すべき情報はなかった。
g. その他	⑪電力共同研究・技術開発	2022. 1. 1 ～ 2022. 4. 30	保全へ反映すべき情報はなかった。
	⑫以上に該当しない情報		社内方針決定文書等の内容を確認し評価を行った結果、使用済燃料ピット状態監視カメラの点検頻度の変更を点検計画に反映する。また、充てん・抽出ライン取替工事、海水ポンプ取替工事等について、設計及び工事の計画へ反映する。

## 保全の有効性評価の結果等より保全へ反映した事項

### 1. 保全活動管理指標への反映

No.	系統・機器名	保全活動管理指標への反映			インプット情報の項目※	事象の概要	評価	備考 (関連する定期事業者検査等)
		項目	変更前	変更後				
—	なし							

### 2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット情報の項目	事象の概要	評価	4つの評価項目※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更							
		項目	変更前	変更後					
1	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵設備) 使用済燃料ピット状態監視カメラ	特性試験 頻度	1Y	13M	「その他」	保全計画の最適化として点検頻度見直しの検討を行った。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、特性試験の頻度を「1Y」から「13M」に変更する。	①	

※点検頻度の変更に適用した評価方法  
 ①点検及び取替結果の評価  
 ②劣化トレンドによる評価  
 ③類似機器等のベンチマークによる評価

### 3. 設計及び工事の計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容		インプット情報の項目	事象の概要	評価	備考 (関連する定期事業者検査等)
		設計及び工事の計画 (設計及び工事の計画の認可又は届出対象工事又はその他主要工事)					
1	特定重大事故等対処施設	特定重大事故等対処施設設置工事		「通達等の文書」	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則第53条に規定される特定重大事故等対処施設を設置する。	第15回定期事業者検査において、特定重大事故等対処施設を設置工事を実施する。	
2	重大事故等対処設備 非常用電源設備	常設直流電源設備（3系統目）設置工事		「通達等の文書」	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則第72条第2項に規定される常設の直流電源設備を設置する。	第15回定期事業者検査において、常設直流電源設備（3系統目）を設置工事を実施する。	
3	重大事故等対処設備 緊急時対策棟	緊急時対策棟設置工事		「通達等の文書」	緊急時対策所機能について、現在運用中の代替緊急時対策所から緊急時対策所（緊急時対策棟内）に移行する。 上記に合わせて、竜巻防護対策の固縛として、既に適用しているたるみ巻取装置に加え、余長を有する固縛を新たな固縛装置として追加する。	第15回定期事業者検査において、緊急時対策棟を設置する。	
4	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却海水設備) 海水ポンプ	海水ポンプ取替工事		「その他」	事故時におけるポンプ再起動時の信頼性向上を目的として、軸保護管及び軸受潤滑水供給設備が不要な無給水軸受を採用した海水ポンプへの取替を実施する。	第15回定期事業者検査において、無給水軸受を採用した海水ポンプへの取替を実施する。	GN4-121 2次系ポンプ分解検査 GN4-122 2次系ポンプ機能検査
5	蒸気タービン附属設備 高pH運転対応設備	高pH運転対応設備導入		「その他」	蒸気発生器長期信頼性向上の観点から、蒸気発生器への鉄持込みを抑制する目的で、高pH運転を導入するための設備工事を実施する。	第15回定期事業者検査において、高pH運転を導入するための設備工事を実施する。	
6	蒸気タービン附属設備 高pH運転対応設備	SGBD熱回収設備設置工事		「その他」	高pH運転対応として設置したSGBD熱回収設備を既設配管に接続する。	第15回定期事業者検査において、SGBD熱回収設備を既設配管に接続する。	
7	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する熱交換器) 第1段 湿分分離加熱器 (A),(B),(C),(D) 第2段 湿分分離加熱器 (A),(B),(C),(D)	湿分分離加熱器管束取替工事		その他	蒸気発生器2次側への鉄持込みの低減等を目的として高pH運転の導入を図る。	第15回定検において、ステンレス製の管束へ取替を実施する。	GN4-129 蒸気タービン開放検査
8	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する管等) 低温再熱蒸気管	低温再熱蒸気管取替工事		「その他」	配管の減肉が確認されたため、減肉箇所の配管の取替を実施する。	第15回定期事業者検査において、減肉箇所の配管の取替を実施する。	GN4-127 2次系配管検査
9	原子炉冷却系統施設 化学体積制御設備	充てん・抽出ライン取替工事		「その他」	充てんライン及び抽出ラインの一部に残留応力が比較的大きいと考えられる冷間曲げ管を使用している箇所が存在することから、予防保全の観点より同一仕様（主要寸法、材料）の熱間曲げ管への取替を実施する。	第15回定期事業者検査において、充てん・抽出ラインのうち、残留応力が比較的大きいと考えられる冷間曲げ管について、取替工事を実施する。	GN4-5 772機器供用期間中検査 GN4-201 SA772機器供用期間中検査
10	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4A、4B 原子炉補機冷却水冷却器	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管取替		「その他」	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管について、予防保全の観点から非破壊検査（ECT）を行い、施されている伝熱管、外面・内面減肉信号が確認された全ての伝熱管及び外面減肉の兆候が見られる伝熱管について取替を行う。	第15回定期事業者検査において、施されている伝熱管、外面・内面減肉信号が確認された全ての伝熱管及び外面減肉の兆候が見られる伝熱管について取替を実施する。	GN4-92 1次系熱交換器検査
11	計測制御系統施設 (その他設備) 原子炉安全保護計装盤等	原子炉安全保護計装盤等更新工事		その他	原子炉安全保護計装盤及び原子炉安全保護ロジック盤を保守向上の観点から、アナログ制御設備よりデジタル制御設備への更新を実施する。	第15回定期事業者検査において、原子炉安全保護計装盤及び原子炉安全保護ロジック盤の更新工事を実施する。	GN4-33 安全保護系機能検査 GN4-34 安全保護系設定値確認検査 GN4-35 プラント状態監視設備機能検査
12	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) 遮断器	玄海3/4号機 母線保護盤更新工事		「その他」	予防保全の観点から、系統保護装置のうち母線保護盤の取替を実施する。	第15回定期事業者検査において、母線保護盤の更新を実施する。	

13	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) 発電機	発電機変圧器保護盤更新工事	「その他」	既設の構成部品が製造中止となつているため、既設アナログ設備から、設備の信頼性向上を図るため、運用・保守性に優れたデジタル設備への更新を実施する。	第15回定期事業者検査において、発電機変圧器保護盤の更新を実施する。	
14	計測制御系統施設 (その他設備) 計測装置	1次系温度検出器修繕工事	「その他」	1次冷却材温度等の計測装置の検出器について予防保全の観点から取替えを実施する。	第15回定期事業者検査において、1次系温度検出器の取替えを実施する。	
15	計測制御系統施設 (その他設備) 計測装置	R C P S 伝送器修繕工事	「その他」	1次冷却材圧力等の計測装置の検出器について予防保全の観点から取替えを実施する。	第15回定期事業者検査において、R C P S 伝送器の取替えを実施する。	GM-34 安全保護系設定値確認検査 GN3-35 フロント状態監視設備機能検査
16	計測制御系統施設 (その他設備) 炉外核計測装置	炉外中性子束検出器修繕工事	「その他」	炉外中性子束検出器について予防保全の観点から取替えを実施する。	第15回定期事業者検査において、炉外中性子束検出器の取替えを実施する。	GN4-106 核計装設備検査
17	放射線管理施設 (放射線管理用計測装置) エリア・プロセスモニタ	放射線監視装置点検	「その他」	復水器排気ガスモニタの検出器について予防保全の観点から取替えを実施する。	第15回定検において、復水器排気ガスモニタ検出器の取替えを実施する。	GN4-77 放射線監視装置機能検査

## 保全活動管理指標の実績

### 1. プラントレベル（評価対象期間：2022年1月1日～2022年4月30日）

項目	目標値	実績値
計画外自動・手動トリップ回数	1回／7000臨界時間未満	0回
計画外出力変動回数	2回／7000臨界時間未満	0回
工学的安全施設の 計画外作動回数	1回未満	0回

2. 系統レベル (MPFF回数評価対象期間：2022年1月1日～2022年4月30日、UA時間評価対象期間：2020年8月1日～2022年4月30日)

※評価対象期間で変更があった系統については、備考欄に示す。

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (UA時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
1次冷却材系統	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
	原子炉圧力上昇の緩和機能 (MS-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
	安全弁及び逃がし弁の吹きまり機能 (PS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
化学体積制御系統	未臨界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	系統共通箇所以外 <240時間/2サイクル	系統共通箇所以外 0時間/2サイクル	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
安全注入系統	炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【高圧注入系】 Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル 【常圧注入系】 <1時間/2サイクル/基	【高圧注入系】 Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル 【常圧注入系】 0時間/2サイクル/基	
	未臨界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
	原子炉停止後の除熱機能、炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
余熱除去系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
	炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
原子炉格納容器スプレイ系統	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル 【よう素除去薬品タンク】 <72時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル 【よう素除去薬品タンク】 0時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
原子炉補機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (直接関連系) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
制御用空気系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <1時間/2サイクル Bトレイン <1時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
燃料取替用水系統	未臨界維持機能(MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<1時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	炉心冷却機能、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)					
	燃料プール水の補給機能(MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	【燃料取替用水ピット】 <1時間/2サイクル 【燃料取替用水ピット以外】 <240時間/2サイクル	【燃料取替用水ピット】 0時間/2サイクル 【燃料取替用水ピット以外】 0時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能(PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
燃料取扱設備	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
燃料取扱設備構築物	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能 (放射性物質を貯蔵する機能) (PS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
換気空調設備 (格納容器給排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
換気空調設備 (アニュラス空気浄化系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
換気空調設備 (排気筒)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
換気空調設備 (安全補機室空気浄化系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <72時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 0時間/2サイクル	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
換気空調設備 (安全補機室冷却系)	炉心冷却機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
	未臨界維持機能 (直接関連系) (MS-1)					
	原子炉停止後の除熱機能 (直接関連系) (MS-1)					
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)					
換気空調設備 (安全補機室閉器室空調系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <8時間/2サイクル Bトレイン <8時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (中間補機室空調系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
	原子炉停止後の除熱機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (ディーゼル発電機室換気系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非 待 機 時 間 ( U A 時 間 )		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
換気空調設備 (補助建屋給排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
換気空調設備 (ほう酸ポンプ室空調系)	未臨界維持機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (中央制御室空調系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <720時間/2サイクル Bトレイン <720時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)		0回/サイクル	トレイン共通、2トレイン同時故障 <240時間/2サイクル	トレイン共通、2トレイン同時故障 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (中央制御室非常用循環系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <720時間/2サイクル Bトレイン <720時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 0時間/2サイクル	
空調用冷水系統	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
炉内構造物	炉心形状の維持機能 (炉心支持機能) (PS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
	原子炉の緊急停止機能 (制御棒クラスタ案内機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
燃料集合体及び非核燃料炉心構成品	炉心形状の維持機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
	未臨界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
原子炉格納容器	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (原子炉格納容器バウンダリ機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<4時間/2サイクル/弁 <24時間/2サイクル/エアロック	0時間/2サイクル/弁 0時間/2サイクル/エアロック	
1次系サンプリング系統	事故時のプラント状態の把握機能 (1次冷却材ほう素濃度サンプリング機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
主蒸気及び再熱蒸気系統 (SG～高圧タービン)	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【主蒸気安全弁】 <6時間/2サイクル/基 【主蒸気隔離弁】 <8時間/2サイクル/基 【主蒸気逃がし弁】 <168時間/2サイクル/基	【主蒸気安全弁】 0時間/2サイクル/基 【主蒸気隔離弁】 0時間/2サイクル/基 【主蒸気逃がし弁】 0時間/2サイクル/基	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
給水系統 (HPHtr～SG)	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
補助給水系統	原子炉停止後の除熱機能 (補助給水による除熱機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【T/D補助給水ポンプ】 <240時間/2サイクル 【M/D補助給水ポンプAトレイン】 <240時間/2サイクル 【M/D補助給水ポンプBトレイン】 <240時間/2サイクル 【復水ピット1】 <168時間/2サイクル	【T/D補助給水ポンプ】 0時間/2サイクル 【M/D補助給水ポンプAトレイン】 0時間/2サイクル 【M/D補助給水ポンプBトレイン】 0時間/2サイクル 【復水ピット1】 0時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
SGブローダウン及びサンプリング系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非 待 機 時 間 ( U A 時 間 )		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
海水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能 (間接関連系) (MS-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
非常用ディーゼル発電機設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
主単線結線図 (M/C、P/C)	安全上特に重要な関連機能 (非常用母線) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
	母線の保護・計量機能 (非常用母線計器用変圧器・変流器) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間/2サイクル/チャンネル	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
主単線結線図 (R C / C)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
計装用電源系統	安全上特に重要な関連機能 (安全系への無停電交流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
直流電源系統	安全上特に重要な関連機能 (安全系への直流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【直流母線】 <2時間/2サイクル/母線 【蓄電池】 <240時間/2サイクル/基 【蓄電池・充電器同時故障】 <2時間/2サイクル/基	【直流母線】 0時間/2サイクル/母線 【蓄電池】 0時間/2サイクル/基 【蓄電池・充電器同時故障】 0時間/2サイクル/基	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
電磁弁用電源系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
所内保護・計量設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間/2サイクル/チャンネル	
	工学的安全施設及び原子炉停止系の作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間/2サイクル/チャンネル	
制御棒駆動装置 (機械系)	過剰反応度の印加防止機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
	未臨界維持機能 (原子炉停止系のうち制御棒による系の直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
制御棒駆動装置 (電気系)	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【原子炉トリップ遮断器】 <1時間/2サイクル/トレイン	【原子炉トリップ遮断器】 0時間/2サイクル/トレイン	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
ディーゼル発電機始動用空気系統	安全上特に重要な関連機能 (ディーゼル機関の始動用空気系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機燃料油系統	安全上特に重要な関連機能 (ディーゼル機関の燃料油系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機潤滑油系統	安全上特に重要な関連機能 (ディーゼル機関の潤滑油系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能 (ディーゼル機関の冷却水系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	



系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非 待 機 時 間 ( U A 時 間 )		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
原子炉保護制御装置	工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【原子炉保護系論理回路】 <6時間/2サイクル/トレイン 【原子炉保護系信号部】 <48時間/2サイクル/チャンネル (手動トリップ) <6時間/2サイクル/チャンネル (自動トリップ) (ただし、中間領域による自動トリップは <2時間/2サイクル/チャンネル) <1時間/2サイクル/チャンネル (バクアップ)	【原子炉保護系論理回路】 0時間/2サイクル/トレイン 【原子炉保護系信号部】 0時間/2サイクル/チャンネル (手動トリップ) 0時間/2サイクル/チャンネル (自動トリップ) (ただし、中間領域による自動トリップは 0時間/2サイクル/チャンネル) 0時間/2サイクル/チャンネル (バクアップ)	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【工学的安全施設等作動論理回路】 <6時間/2サイクル/トレイン 【工学的安全施設等作動信号部】 <48時間/2サイクル/チャンネル (手動起動) <6時間/2サイクル/チャンネル (自動起動) <1時間/2サイクル/チャンネル (バクアップ) 【ディーゼル発電機起動論理回路への信号発信】 <6時間/2サイクル/チャンネル 【中央制御室非常用循環系作動論理回路への信号発信】 <720時間/2サイクル/チャンネル	【工学的安全施設等作動論理回路】 0時間/2サイクル/トレイン 【工学的安全施設等作動信号部】 0時間/2サイクル/チャンネル (手動起動) 0時間/2サイクル/チャンネル (自動起動) 0時間/2サイクル/チャンネル (バクアップ) 【ディーゼル発電機起動論理回路への信号発信】 0時間/2サイクル/チャンネル 【中央制御室非常用循環系作動論理回路への信号発信】 0時間/2サイクル/チャンネル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
炉外核計装装置	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
エリア・プロセスモニタ装置	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
中央制御室退避時制御盤	制御室外からの安全停止機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<720時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
原子炉周辺建屋	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (アニュラス部を構成する機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
原子炉補助建屋	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
取水路設備	安全上特に重要な関連機能 (海水供給機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
重大事故等対処設備	緊急停止失敗時に原子炉を未臨界にするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<720時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	1次系のフィードアンドブリードをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	高圧注入ポンプ <240時間/2サイクル 加圧器逃がし弁 <72時間/2サイクル	高圧注入ポンプ 0時間/2サイクル 加圧器逃がし弁 0時間/2サイクル	
	炉心注入をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	炉心注入 代替炉心注入 (B売てんポンプ(自己冷却)) <720時間/2サイクル 代替炉心注入 (可搬型ディーゼル注入ポンプ) <720時間/2サイクル 代替再循環運転 (B格納容器スプレイポンプ) <72時間/2サイクル	炉心注入 代替炉心注入 (B売てんポンプ(自己冷却)) 0時間/2サイクル 代替炉心注入 (可搬型ディーゼル注入ポンプ) 0時間/2サイクル 代替再循環運転 (B格納容器スプレイポンプ) 0時間/2サイクル	
	1次冷却系統の減圧をするための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	加圧器逃がし弁による減圧 <240時間/2サイクル	加圧器逃がし弁による減圧 0時間/2サイクル	
	原子炉格納容器スプレイをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	原子炉格納容器スプレイ 代替原子炉格納容器スプレイ <720時間/2サイクル	原子炉格納容器スプレイ 0時間/2サイクル 代替原子炉格納容器スプレイ 0時間/2サイクル	
	原子炉格納容器内自然対流冷却をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル 移動式大容量ポンプ車による 原子炉格納容器内自然対流冷却及び代替補機冷却 <720時間/2サイクル	原子炉格納容器内自然対流冷却 0時間/2サイクル 移動式大容量ポンプ車による 原子炉格納容器内自然対流冷却及び代替補機冷却 0時間/2サイクル	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
重大事故等対処設備	蒸気発生器 2 次側による炉心冷却(注水)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
	蒸気発生器 2 次側による炉心冷却(蒸気放出)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	水素濃度低減 <72時間/2サイクル 水素濃度監視 <720時間/2サイクル	水素濃度低減 0時間/2サイクル 水素濃度監視 0時間/2サイクル	
	水素爆発による原子炉周辺建屋等の損傷を防止する等のための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	使用済燃料ピットの冷却等のための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	—	—	
	発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	重大事故等の取束に必要な水の供給設備 (SA-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	中間受槽、取水用水中ポンプ、 復水タンク(ピット) 補給用水中ポンプ <720時間/2サイクル 燃料取替用水ピット、復水ピット <72時間/2サイクル	中間受槽、取水用水中ポンプ、 復水タンク(ピット) 補給用水中ポンプ 0時間/2サイクル 燃料取替用水ピット、復水ピット 0時間/2サイクル	
	電源設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	電源設備 <720時間/2サイクル 重大事故等対処用変圧器受電盤 重大事故等対処用変圧器盤 <240時間/2サイクル 燃料油貯蔵タンク、タンクローリ <48時間/2サイクル	電源設備 0時間/2サイクル 重大事故等対処用変圧器受電盤 重大事故等対処用変圧器盤 0時間/2サイクル 燃料油貯蔵タンク、タンクローリ 0時間/2サイクル	
	計測設備	<1回/サイクル	0回/サイクル	<720時間/2サイクル 記録機能 —	0時間/2サイクル 記録機能 —	
	中央制御室	<1回/サイクル	0回/サイクル	中央制御室非常用循環系 <72時間/2サイクル 可搬型照明、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計 <240時間/2サイクル	中央制御室非常用循環系 0時間/2サイクル 可搬型照明、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計 0時間/2サイクル	
通信連絡を行うために必要な設備	<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル		

添付書類七 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)を変更した場合の実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第五十六条第三項各号の事項について

1. 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)の変更

なし